

## 別冊

〔議案第 34 号 平成 28 年度教育行政事務の管理及び執行状況に関する点検及び評価の結果について〕

平成 28 年度  
教育に関する事務の点検・評価  
報 告 書

平成 29 年 9 月

寝屋川市教育委員会

## は じ め に

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され（平成 20 年 4 月 1 日施行）、教育委員会において、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、公表しております。

寝屋川市教育委員会においては、「寝屋川市教育大綱」の実現に向け、計画的に施策・事業の取組を推進するために平成 27 年度に策定した「寝屋川市教育大綱実施計画」に基づいた主な事業を点検・評価の対象とし、学識経験者から御意見をいただきながら、本報告書を作成しました。

平成28年度は、次なる小中一貫教育を目指した「寝屋川市小中一貫校設置実施計画」の策定に向けて取り組んだほか、英語村の対象者拡充、中学校休業日等学習支援、少人数学級の推進等により、児童生徒の学力向上を図った一方、学校施設の経年化対策を行い、教育環境の整備に取り組むことができました。

また、社会教育団体等の活動場所及び市民の自主学習・自主活動の場とした学び館を開設、留守家庭児童会における高学年の受入れ拡充、青少年の居場所「スマイル」のフルオープン化及び新たに青少年の居場所「ハピネス」を開設したほか、文化活動を行うための環境づくりの推進や市民がスポーツに親しむ機会を充実し、文化・スポーツの振興を図ることができました。

この点検・評価を今後にかし、未来の宝である子どもたちが夢と希望をもって力強く将来へ歩を進めることができるよう、教育改革を進めるとともに、学校、家庭、地域はもとより、関係機関、関係団体等との連携を深め、市民に信頼され、期待される教育の実現を目指します。

寝屋川市教育委員会

教育長 高須郁夫

# 目 次

|      |                                |     |
|------|--------------------------------|-----|
| I    | 点検・評価方法                        | P1  |
| II   | 点検・評価結果                        |     |
| 1    | 小中一貫教育の推進（特色ある中学校区づくり）         |     |
|      | 重点取組項目（小中一貫教育の推進（特色ある中学校区づくり）） | P3  |
| (1)  | 小中一貫教育推進事業                     | P4  |
| (2)  | 小中一貫校の設置事務                     | P6  |
| (3)  | 寝屋川教育フォーラム開催事業                 | P7  |
| (4)  | 教育関係職員研修事業                     | P9  |
| (5)  | ドリームプラン推進事業                    | P14 |
| 2    | 自ら学ぶ力の育成                       |     |
|      | 重点取組項目（自ら学ぶ力の育成）               | P21 |
| (1)  | 英検受検料補助事業                      | P22 |
| (2)  | 外国人英語講師派遣事業                    | P24 |
| (3)  | イングリッシュプレゼンテーションコンテスト          | P25 |
| (4)  | 英語村（英語力向上プラン）事業                | P27 |
| (5)  | 学園 ICT 化構想事業                   | P29 |
| (6)  | 中学校休業日等学習支援事業                  | P31 |
| (7)  | 少人数教育推進事業                      | P32 |
| (8)  | 少人数学級推進事業                      | P33 |
| (9)  | 学力向上支援人材事業                     | P34 |
| (10) | 学習到達度調査事業                      | P35 |
| (11) | 教育相談事業                         | P37 |
| (12) | 教育活動支援人材活用事業                   | P39 |
| (13) | 児童生徒支援人材派遣事業                   | P41 |
| (14) | スクールソーシャルワーカー配置事業              | P43 |
| (15) | スクールカウンセラー配置事業                 | P45 |
| 3    | 特色ある就学前教育の推進                   |     |
|      | 重点取組項目（特色ある就学前教育の推進）           | P48 |
| (1)  | 特色ある幼稚園づくり事業                   | P49 |

|                 |     |
|-----------------|-----|
| (2) 子育てステップ活用事業 | P51 |
| (3) 地域人材活用事業    | P52 |

#### 4 教育環境の支援・充実

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 重点取組項目（教育環境の支援・充実）    | P55 |
| (1) 小学校給食運営事業         | P56 |
| (2) 小学校調理業務委託事業       | P57 |
| (3) 中学校給食運営事業         | P59 |
| (4) 義務教育就学援助事業        | P60 |
| (5) 私立幼稚園就園奨励費補助金支給事業 | P62 |
| (6) 通学路安全対策事業         | P64 |

#### 5 教育環境の整備

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 重点取組項目（教育環境の整備） | P67 |
| (1) プール改修事業     | P68 |
| (2) 屋内運動場改修事業   | P69 |
| (3) 小中学校施設改修事業  | P70 |

#### 6 地域教育力の活性化

|                     |     |
|---------------------|-----|
| 重点取組項目（地域教育力の活性化）   | P72 |
| (1) 地域教育協議会活動推進事業   | P73 |
| (2) 学校安全体制整備推進事業    | P75 |
| (3) ねやがわ子どもフォーラム事業  | P77 |
| (4) 家庭教育サポートチーム派遣事業 | P79 |
| (5) 家庭教育学級事業        | P81 |
| (6) 子どもへの暴力防止プログラム  | P83 |
| (7) 学校支援地域本部事業      | P85 |

#### 7 青少年の健全育成

|                     |     |
|---------------------|-----|
| 重点取組項目（青少年の健全育成）    | P87 |
| (1) 放課後子供教室推進事業     | P88 |
| (2) 留守家庭児童会児童健全育成事業 | P90 |
| (3) 青少年リーダー育成事業     | P92 |
| (4) 青少年の居場所づくり事業    | P94 |
| (5) 成人式事業           | P96 |
| (6) 青少年健全育成事業       | P98 |

## 8 文化芸術の振興

|                 |      |
|-----------------|------|
| 重点取組項目（文化芸術の振興） | P101 |
| (1) アルカスホール管理   | P102 |
| (2) 文化施策振興事業    | P104 |

## 9 スポーツ活動の振興

|                   |      |
|-------------------|------|
| 重点取組項目（スポーツ活動の振興） | P107 |
| (1) 生涯スポーツ事業      | P108 |
| (2) 競技スポーツ事業      | P110 |
| (3) 市民体育館管理運営事業   | P112 |

## 10 学習活動の充実

|                        |      |
|------------------------|------|
| 重点取組項目（学習活動の充実）        | P115 |
| (1) 日本語よみかき促進事業        | P116 |
| (2) 成人教育講座事業           | P118 |
| (3) まちのせんせい活用事業        | P120 |
| (4) 生涯学習推進調整事務         | P122 |
| (5) 学び館管理事業            | P124 |
| (6) 利用者サービス事業          | P126 |
| (7) ICT化推進事業           | P128 |
| (8) 子ども読書活動推進事業        | P130 |
| (9) 読書普及啓発事業           | P132 |
| (10) 障害者・高齢者・多文化サービス事業 | P134 |

# I 点検・評価方法

# 点検・評価方法

## 1 趣旨

効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、教育に関する事務の点検・評価を行うものです。

### 【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検・評価の対象

点検評価の対象は、『寝屋川市教育大綱実施計画』の推進体制に基づいて実施した、平成28年度の主な事業としており、実施計画の進行管理を意識した取組とします。

### 【参考】 教育大綱実施計画（H27～H30）

教育大綱が示す基本理念の実現に向け、施策・事務事業等を戦略かつ総合的に示した実施計画であり、第五次寝屋川市総合計画との整合を意識した取組としている。

## 3 点検・評価の方法

- (1) 点検・評価に当たっては、教育大綱重点取組を構成する具体的な取組内容ごとの取組実績等を分析し、教育大綱重点取組における取組指標の達成度を明らかにするとともに、評価を示すこととします。
- (2) 点検・評価に当たっては、教育委員会に「教育行政事務の点検及び評価に関する会議」を設け、点検・評価を行いました。また、客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方にも会議に入ってください、御意見や御助言をいただきました。

### 【学識経験者】

|        |       |     |
|--------|-------|-----|
| 大阪国際大学 | 田中 優  | 教授  |
| 兵庫県立大学 | 竹内 和雄 | 准教授 |



## 4 点検・評価結果の構成

- 教育大綱重点取組  
『寝屋川市教育大綱実施計画』における「教育大綱重点取組」ごとに評価シートを作成し、点検・評価を行いました。
- 教育大綱重点取組を推進する体制(構成取組)  
重点取組を構成する構成取組を記載しています。
- 平成 28 年度決算（見込み）  
平成 28 年度の人件費等を除く事業費の決算額(見込み)を記載しています。
- 教育大綱実施計画における取組概要(平成 27 年度～平成 30 年度)  
教育大綱期間に行う取組概要を記載しています。
- 教育大綱実施計画における取組の方向性(目標)（平成 27 年度～平成 30 年度）  
教育大綱重点取組の目的を踏まえ、現在の状態からどのような状態にするのか、また、どのような方針で進めるのか等を記載しています。
- 成果・効果等を表す取組指標  
成果・効果等を表す取組指標の平成 28 年度の目標値と実績を記載し、その達成できた（達成できなかった）要因を記載しています。
- 構成取組  
各重点取組を構成する構成取組（体系）を記載しております。
- 計画（P l a n）  
重点取組シートの「計画期間の具体的な取組内容」から平成 28 年度に計画した実施内容（新規・拡充が中心）を記載しています。
- 取組内容（D o）  
計画に対して、具体的に実施した内容及び活動状況を記載しています。
- 活動指標等  
活動の状況がわかる活動指標・社会指標を記載しています。
- 取組内容（活動状況）  
取組内容の活動状況が分かる表等（回数、人数等）を掲載しています。
- 評価（C h e c k）  
実施による効果、進捗を踏まえた評価を記載しています。
- 評定  
達成度に応じた評定を記載しています。
- 今後の方向性  
評価を受け、今後の方向性を記載しています。
- 評定平均  
構成取組の評定を点数化し、平均点から総合評価を記載しています。
- アドバイザーからの意見  
重点取組を構成する構成取組の評定を基にアドバイザーからいただいたコメントを記載しています。
- 総合評価  
重点取組を構成する構成取組の評定を基に総合評価を記載しています。

## Ⅱ 点検・評価結果

# 1 小中一貫教育の推進 (特色ある中学校区づくり)

|                 |                               |
|-----------------|-------------------------------|
| <b>教育大綱重点取組</b> | <b>小中一貫教育の推進(特色ある中学校区づくり)</b> |
|-----------------|-------------------------------|

### 教育大綱重点取組を推進する体制(構成取組)

|             |              |                 |
|-------------|--------------|-----------------|
| ①小中一貫教育推進事業 | ②小中一貫校の設置事務  | ③寝屋川教育フォーラム開催事業 |
| ④教育関係職員研修事業 | ⑤ドリームプラン推進事業 |                 |
|             |              |                 |
|             |              |                 |
|             |              |                 |

### 平成 28 年度決算(見込み)

|         |    |          |
|---------|----|----------|
| 取組に係る費用 | 単位 | 平成 28 年度 |
| 事業費     | 千円 | 18,199   |

### 教育大綱実施計画における取組概要(平成 27 年度～30 年度)

平成17年度から小中一貫教育の下、各中学校区において9年間で目指す子ども像を明確にし、特色ある中学校区づくりを推進する中で、子どもたちの学力、心力、体力の向上を図っている。

これまでの取組の成果や法改正の動き、国における調査報告等を踏まえ、家庭・地域等との連携の下、更なる小中一貫教育の推進を図る。

### 教育大綱実施計画における取組の方向性(目標)(平成 27 年度～30 年度)

これまでの小中一貫教育の取組や成果を踏まえ、家庭や地域とよりつながりを深める中で、小学校と中学校の段差を解消する取組を更に進め、子どもたちが、より円滑かつ効果的に学校生活を送り、学力や社会性を高め、自らの将来や夢を切り開く「生きる力」の育成につなげていく。

### 成果・効果等を表す取組指標

| 指標名                                                   | 単位               |   | 平成 28 年度 |                          |                                                                                   |
|-------------------------------------------------------|------------------|---|----------|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
|                                                       |                  |   | 目標値      | 実績値                      | 達成度コメント                                                                           |
| <b>小・中学校全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国比</b>                     | (全国平均を1とした場合の数値) | 小 | 1.037    | 0.975                    | いずれも目標値を下回っているが、昨年度よりも全国値との差を縮めた。<br>特に、数学のA問題においては、全国と同じ値を示しており、基礎・基本の習得が顕著であった。 |
|                                                       |                  | 中 | 0.979    | 0.971                    |                                                                                   |
| <b>中学生の不登校率</b><br>※H28年度の全国平均は集計中のため、H27年度の全国平均を使用する | 全国平均を1とした場合の数値   |   | 0.896    | 0.871<br>参考:小学生<br>0.605 | 全国値と比較すると大きな成果が見られる。今後も各関係機関との連携を更に推進し、課題の解決を図っていく必要がある。                          |

## 平成 28 年度における取組状況

|       |            |
|-------|------------|
| 構成取組① | 小中一貫教育推進事業 |
|-------|------------|

| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |    |                |                |                |                |                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 12 中学校区において、学力・心力・体力の更なる向上を目指した取組を行う。また、小中一貫教育推進委員会を開催し、小中一貫教育のこれまでの成果と課題について再検証を行い、新たなステージに向けた、今後の方向性を模索する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |    |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |    |                |                |                |                |                |
| <div>「小中一貫教育アクションプラン」の作成</div> <p>「小中一貫教育アクションプラン」については、内容を精査し、データ等も新しいものに更新し、冊子としてまとめた。</p> <div>小中一貫教育推進委員会</div> <p>校長会課題別研修部会と指導主事ワーキンググループの、6 部会（学力・心力・体力・英語・生徒指導・支援教育）で「寝屋川市小中一貫教育アクションプラン」に基づき、各中学校区で目標と課題を共有し、系統性のある取組を推進した。それぞれの取組について、進捗状況を共有した。</p>                                                                                                                                                                     |    |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| 小中一貫教育推進委員会の開催<br>(準備委員会を含む)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 回  | 1              | 3              | 3              | 6              | 9              |
| 学校自己診断アンケートにおける、小中一貫教育に関する保護者の認知度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | %  | —              | —              | 65.9           | 80             | 90             |
| 評価（Check）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |    |                |                |                |                |                |
| <p>小中一貫教育推進委員会での議論や、学校教育に関する有識者提言に基づき、「寝屋川市小中一貫教育の検証並びに今後について」を策定した。また、各中学校区で目標と課題を共有し、系統性のある取組を進めることができた。</p> <p>今後、次なる小中一貫教育の具現化に向け、小中一貫教育推進委員会でも議論し、検討を行っていく必要がある。</p> <p>&lt;学力&gt;</p> <p>全国学力・学習状況調査については、小学校では、国語 A・算数 A で、中学校では、数学 A で全国値に並ぶ結果となった。小学校における国語 B・算数 B、中学校における国語 A・B・数学 B においても、平成 19 年度の開始以降、着実に成果が上がってきている。市全体として上昇傾向にあり、学力向上の取組が成果となって表れつつある。しかし、全国と比較すると依然として、中低位層が多い状況であり、今後も個に応じたきめ細かな指導を継続して取り組んでい</p> |    |                |                |                |                |                |

く必要がある。

#### <心力>

豊かな人間性を備えた子どもの育成を目指し、道徳の教科化を踏まえた授業を要とした道徳教育を推進した。道徳教育推進教師を対象とした小中合同での研修会・交流会や全中学校区での小中合同道徳研究会等を開催することで、教員の指導力と意識向上が図られた。また、道徳の全体計画及び「道徳の時間」の年間指導計画・別葉を作成するとともに、「道徳ノート」の活用・「生命の尊さ」を重点とした授業を行うなどの取組を推進している。さらに、全市立小中学校における保護者・地域への道徳公開授業の開催、「挨拶・返事・靴揃え」の指導の定着等、心を育てる取組を推進することができた。今後も、学校・家庭・地域が一体となり、心力向上を図っていく必要がある。

#### <体力>

平成 28 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点では、小学 5 年生男子・女子共にほぼ全国平均であった。種目別結果では、男子は上体起こし・50m 走において、女子は長座体前屈において全国平均を上回った。中学 2 年生男子・女子においては、ともに全国平均を上回り、各種目別結果を見ると、男女とも握力、上体起こし、反復横とび、シャトルランにおいて全国平均を上回った。その他の種目においても、ほぼ全国平均と同等の結果となっており、各中学校区において児童生徒の発達段階に応じた指導方法についての授業研究や実技研修を行い、小中一貫した指導体制が根付いてきていると考える。今後も、全ての種目において全国平均を上回ることを目標とし、児童生徒の体力向上を図っていくことが重要である。

| 評定                            |                     | 今後の方向性（Innovation）                                                                                                                                                                            |
|-------------------------------|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載 |                     |                                                                                                                                                                                               |
| B                             | A:達成している            | 12 年間の小中一貫教育の成果のもとに、「指導体制の<br>一体化」や「学びの連続性」の実現に取り組む。また、<br>「就学前教育と小中一貫教育の連携・連動」、「家庭・地<br>域との連携を含めた特色ある中学校区づくり」に取り組<br>む中で、学校を核とし、家庭・地域はもとより、関係機<br>関・関係団体との連携を深める中で、義務教育全体の質<br>の向上を目指す必要がある。 |
|                               | B:おおむね達成して<br>いる    |                                                                                                                                                                                               |
|                               | C:一部達成であり、<br>課題が残る |                                                                                                                                                                                               |
|                               | D:達成できていない          |                                                                                                                                                                                               |

## 平成 28 年度における取組状況

|       |            |
|-------|------------|
| 構成取組② | 小中一貫校の設置事務 |
|-------|------------|

### 計画（Plan）

これまでの本市における小中一貫教育の成果を取りまとめるとともに、国の動向、他市の取組等を踏まえ、本市における今後の小中一貫教育の更なる推進に向け、本市に適した小中一貫校の在り方を検討し、具現化を図る。

### 取組内容（Do）

#### 「小中一貫教育推進方針」の策定

これまでの本市における小中一貫教育の検証を行うとともに、今後の小中一貫教育の方向性を定める「小中一貫教育の検証並びに今後について」を策定し、次なる小中一貫教育の推進を図るため「小中一貫校設置実施計画」（素案）のパブリック・コメント手続を実施し、策定に向けた意見の取りまとめを行った。

#### 市民との意見交換会（説明会を含む。）

懇談の申入れ等を受け、市民団体と意見交換を行うとともに、「小中一貫校設置実施計画」（素案）の公表に合わせて、説明会を実施した。

| 活動指標等              | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
|--------------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 市民との意見交換会（説明会を含む。） | 回  | -              | 6              | 8              | 15             | 20             |

### 評価（Check）

これまでの本市における小中一貫教育の検証、今後の小中一貫教育の方向性を定める「小中一貫教育の検証並びに今後について」を予定通りに策定・公表を行えた。

また、市民との意見交換について、随時申入れを受け、施設一体型小中一貫校の設置についての説明会を実施し、市民の理解を深めることができた。

| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載 |                 | 今後の方向性（Innovation）                                                                                                                                           |
|--------------------------------------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>A</b>                                   | A:達成している        | 施設一体型小中一貫校の設置について、その詳細を定める「（仮称）第四中学校区小中一貫校建設計画」の策定に向け、寝屋川市第四中学校区小中一貫校建設内容検討ワークショップを開催するほか、引き続き地域住民・保護者からの理解を得るよう説明会等を実施するとともに、全市的な小中一貫校への移行を目指すための取組を推進していく。 |
|                                            | B:おおむね達成している    |                                                                                                                                                              |
|                                            | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                                                                                              |
|                                            | D:達成できていない      |                                                                                                                                                              |

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                                                                                   |                |                |                |                |                |                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 構成取組③                                                                                                                                                                             | 寝屋川教育フォーラム開催事業 |                |                |                |                |                |
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                          |                |                |                |                |                |                |
| <p>取組報告や講演会を通して、これまでの小中一貫教育 11 年間の歩みの検証と成果・課題の共有を図り、職員・保護者・市民が一体となって今後の寝屋川市の教育について考える。</p> <p>義務教育 9 年間を見通した継続性、系統性、計画性のある教育を実践する「小中一貫教育」の更なる推進を目指し、子どもたちの学力・心力・体力の向上に努める。</p>    |                |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                          |                |                |                |                |                |                |
| <div>寝屋川教育フォーラムの開催</div> <p>平成 28 年 8 月 30 日（火）に「未来につなぐ寝屋川市小中一貫教育～11 年間の歩みと今後の展望～」をテーマに、取組報告・講演会を実施。</p> <p>これからの小中一貫教育について、義務教育学校や小中一貫型小・中学校の法制化の意味について学び、今後の寝屋川市の教育について考えた。</p> |                |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                             | 単位             | 26 年度<br>（実績値） | 27 年度<br>（実績値） | 28 年度<br>（実績値） | 29 年度<br>（見込値） | 30 年度<br>（見込値） |
| フォーラムへの参加者数                                                                                                                                                                       | 人              | 1, 095         | 998            | 1, 131         | 1, 150         | 1, 200         |
| アンケートにおける開催内容の満足度                                                                                                                                                                 | %              | 82. 1          | 78. 7          | 83. 0          | 83. 5          | 84. 0          |



| 取組内容（活動状況）                                                                                                                                                                                                                   |                                                  |                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ＜教育フォーラム参加人数＞                                                                                                                                                                                                                |                                                  |                                                                                                            |
|                                                                                                                                                                                                                              | テーマ                                              | 参加人数                                                                                                       |
| 平成 26 年度                                                                                                                                                                                                                     | 学校教育のユニバーサルデザイン化<br>～すべての子どもが分かる授業づくり・学級経営をめざして～ | 1,095 人                                                                                                    |
| 平成 27 年度                                                                                                                                                                                                                     | 学力向上をめざす、その先にあるもの<br>～未来を担う子どもたち～                | 998 人                                                                                                      |
| 平成 28 年度                                                                                                                                                                                                                     | 未来につなぐ寝屋川市小中一貫教育～11 年間の歩みと今後の展望～                 | 1,131 人                                                                                                    |
| ※H27 年度は、会場定員の関係から主な対象を教職員とした。                                                                                                                                                                                               |                                                  |                                                                                                            |
| 評価（Check）                                                                                                                                                                                                                    |                                                  |                                                                                                            |
| <p>寝屋川教育フォーラム 2016 では、これからの小中一貫教育について、義務教育学校や小中一貫型小・中学校の法制化の意味も踏まえて、講演いただき、今後の本市における次なる小中一貫教育について考えることができた。</p> <p>参加者からは、「小中一貫教育というのは大切であると思った。今後もより一層力を入れていきたい。」等の前向きな感想を得た。参加者のニーズも踏まえ、テーマや内容を引き続き検討・工夫していく必要があると考える。</p> |                                                  |                                                                                                            |
| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載                                                                                                                                                                                       |                                                  | 今後の方向性（Innovation）                                                                                         |
| <b>B</b>                                                                                                                                                                                                                     | A:達成している                                         | 最新の教育動向を見越したテーマ設定を行うとともに、より多くの参加を求め、これからの市の教育の方向性等を教職員・保護者・市民が共有し、学校・家庭・地域が相互に協力して、子どもの育成につながる様に、内容の充実を図る。 |
|                                                                                                                                                                                                                              | B:おおむね達成している                                     |                                                                                                            |
|                                                                                                                                                                                                                              | C:一部達成であり、課題が残る                                  |                                                                                                            |
|                                                                                                                                                                                                                              | D:達成できていない                                       |                                                                                                            |

## 平成 28 年度における取組状況

|       |            |
|-------|------------|
| 構成取組④ | 教育関係職員研修事業 |
|-------|------------|

| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                               |                                                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------------------------|
| <p>市立幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒の学力・心力・体力を更に高めていくために、教職員研修を実施し、教職員の資質・能力の向上を図る。</p> <p>今後、新学習指導要領の実施に向け、新たな教育課題に対応できる指導力を養う研修を実施する。また、教職員研修の更なる充実を図るとともに、教育研修センターの在り方について検討する。</p> <p>市立学校園の教職員のより一層の資質向上につなげ、学び続ける教職員を育成するための研修の設定を行う。</p>                                                          |                               |                                                        |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                               |                                                        |
| <p><b>教職員研修の取組</b></p> <p>初任者から 10 年目までの研修等、教職員としての土台を培う時期の教職員に対し、各キャリアステージに応じた研修を実施した。また、授業づくりや人権教育、生徒指導、支援教育、学校安全など、多様な教育課題に応じた研修を行い、特にメンタルヘルス、防災教育、アクティブ・ラーニング、道徳教育、L G B T 等の新たな課題に対応した研修に取り組んだ。</p>                                                                                      |                               |                                                        |
| <p><b>教育研修センターの在り方についての検討</b></p> <p>教育研修センターの各事業について、その目的や取組内容の見直しを図り、今後の方針について検討を進めている。また、中核市への移行に向けて、大阪府教育センター及び先進の府内中核市より情報を得る中で、移譲事務についての準備を進めている。</p>                                                                                                                                   |                               |                                                        |
| <p><b>小中一貫教育推進教職員による先進校視察</b></p> <p>全国の特徴ある先進的な取組をしている学校に、全ての中学校区から教員 3 人（各校より 1 人ずつ）を 2～3 日間派遣した。</p> <p>児童生徒の学力・心力・体力の向上において特徴ある教育活動を実践している小中学校等に、本市の教職員を 2～3 日間派遣することにより、派遣先の学校の指導体制（組織・指導計画・教科指導法・教材作成等）や保護者・地域・教育委員会等との連携など、全てを学ばせるとともに、視察後も派遣先の学校や当該教育委員会と情報交流できるような、継続的な関係を構築させた。</p> |                               |                                                        |
| 〈小中一貫教育推進教職員短期留学の派遣先と主な研修内容〉                                                                                                                                                                                                                                                                  |                               |                                                        |
| 中学校区                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 派遣先                           | 主な研修内容                                                 |
| 第一中学校区                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 広島県呉市立<br>阿賀小学校<br>警固屋学園（小・中） | 生徒指導の統一化と教員の授業を参観する観点の統一化及び小中 9 年間を通した教育計画             |
| 第二中学校区                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 福井県福井市立<br>日新小学校<br>藤島中学校     | 「クラウド活動（たて割り活動）」や「当たり前の活動」に基づく集団づくりや、「自己肯定感の向上」に向けての取組 |

|         |                                                           |                                         |
|---------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 第三中学校区  | 福井県永平寺町立<br>志比小学校<br>永平寺中学校<br>福井市立和田小学校                  | 学習規律の一貫性、ノートの工夫など学力向上に向けた、学校体制の一貫した取組   |
| 第四中学校区  | 福井県福井市立<br>円山小学校<br>大東中学校                                 | 家庭学習や予習（宿題）を活かした授業や自主学習の充実など、学力向上に向けた取組 |
| 第五中学校区  | 福井県福井市立<br>日新小学校<br>福井県永平寺町立<br>松岡小学校<br>福井県坂井市立<br>三国中学校 | 生活ノートや自主学習ノートの活用など学力・体力向上に向けた取組         |
| 第六中学校区  | 筑波大学付属小学校                                                 | 学び合い学習、言語能力の育成について、学校の一貫した取組            |
| 第七中学校区  | 岐阜県岐阜市立<br>長良西小学校<br>長良東小学校<br>東長良中学校<br>長良中学校            | 掲示物の工夫や、小中一貫のカリキュラムを意識した英語教育の効果や実践方法    |
| 第八中学校区  | 岐阜県岐阜市立<br>長良西小学校<br>東長良中学校<br>青山中学校<br>加納中学校             | 小中一貫した英語教育の実践と、一人一人の学力を高める授業づくり         |
| 第九中学校区  | 埼玉県春日部市立<br>八木崎小学校<br>大沼中学校                               | 「学び合い、伝え合う」活動を意識した授業づくりや、児童生徒主体の「考える授業」 |
| 第十中学校区  | 福井県南越前町立<br>南条小学校<br>南条中学校                                | 「研修体制」、「家庭学習」、「学び合い」について、学力向上に向けた取組     |
| 友呂岐中学校区 | 東京都千代田区立<br>九段小学校<br>神田一橋中学校                              | I C T機器を活用した授業づくりの取組・道徳教育について、学校の一貫した取組 |
| 中木田中学校区 | 茨城県つくば市立<br>春日学園義務教育学校                                    | I C T機器を活用した授業や、学び合い学習の授業づくり            |

| 活動指標等       | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(見込値) | 30年度<br>(見込値) |
|-------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 教職員研修の実施回数  | 回  | 550           | 554           | 519           | 600           | 630           |
| 教職員研修への参加者数 | 人  | 11,794        | 11,839        | 12,379        | 12,900        | 13,500        |

## 評価（Check）

授業づくり研修等の専門性研修や様々な立場に応じた研修の実施により、各分野の専門性を高めることができたほか、最新の国の動向や教育方針について学んだことを各受講者が学校に持ち帰ることで、校内での伝達講習として広めることができた。

研修では受講者に対して、研修の目的を明確にし、振り返りの時間も確保することに特に留意することにより、実施した研修内容が着実な学びとなり、教職員の資質向上につながった。

小中一貫教育推進教職員による先進校視察については、各中学校区の夏季研修会等で、学んできた内容について共有し、教育活動に取り入れることで学校力の向上につながった。また、派遣教職員自身を各学校のリーダーとして育成する場ともなった。

教育研究員研究発表会において短期留学派遣報告を実施し、教育研修センター発行の「研究紀要」にも報告書を掲載することで、各校区の取組について市内教職員にも取組事例の共有ができ、情報の普及に努めることができた。

### <各中学校区における主な成果等>

#### 【一中校区】

- 視察先で学んだことを校区で共有するとともに、生徒指導の統一化と教員の授業を参観する観点の統一化を図り、小中9年間を通した教育計画の作成に役立てた。
- 派遣教員が国語科における提案授業や示範授業を行うことで、言語力を高める指導について普及することができた。

#### 【二中校区】

- 夏季合同研修会にて、「クラウド活動（たて割り活動）」や「当たり前の活動」の報告を通して、より良い集団づくりについての共通認識を図り、2学期からの実践に役立てた。
- 校区で統一した指導体制や「自己肯定感の向上」に向けての取組を行うことを通して「授業のユニバーサルデザイン化」につなげることができた。

#### 【三中校区】

- 夏季合同研究会にて規範意識の醸成と学力向上について共有を図り、2学期の実践につなげた。
- 学習規律の一貫性、ノートの工夫について、校区内の小中学校で公開授業を行うことで、校区に必要な取組について再認識し、職員間の意識を高めることができた。

#### 【四中校区】

- 視察先の取組報告を受けて、各校の家庭学習や予習（宿題）をいかした授業や自主学習の充実についての取組が進んだ。
- 取組を推進することで自分の考えを持てるようになったり学習習慣が身についた児童生徒が増えた。

#### 【五中校区】

- 夏季合同研究会にて視察報告を行い、生活ノートや自主学習ノートの活用法を校区に広めることができた。
- 視察先の取組を積極的に取り入れ、校区において派遣教員による国語科・

体育科の提案授業を行うことで、「全員で子どもを見る」、「当たり前のことを徹底する」という共通認識が進んだ。

**【六中校区】**

- 視察報告を基に、校区において小中授業交流の際に、小中一貫して取り組める内容について意見交流をすることで、更なる小中一貫についての意識が高まった。
- 派遣教員が、校内研究授業者として、社会科と理科の提案授業を行い、学び合い学習について校区で共通認識を図ることができた。

**【七中校区】**

- 視察内容について掲示物や児童生徒の様子も見て分かるように工夫した報告を行い、小中一貫のカリキュラムを意識した英語教育の効果や実践方法を校区で共有し、学ぶことができた。
- 中学校区での授業実践報告会で英語科の提案授業を通じて、各教科での学力向上の取組につなげることができた。

**【八中校区】**

- 小中一貫した英語教育の実践と、一人一人の学力を高める授業づくりの実践例を校区で共有できた。
- 視察校の取組を取り入れることにより、主体的・意欲的に学び続ける児童生徒を育てる実践につなぐことができた。

**【九中校区】**

- 夏季合同研究会の視察報告を基に、校区において「学び合い、伝え合う」活動を意識した授業づくりを行うことができた。
- 視察校の取組を実践することにより、児童生徒主体の「考える授業」が増えた。

**【十中校区】**

- 「研修体制」、「家庭学習」、「学び合い」について、視察先での研修内容を共有することができた。
- 視察校の取組を共有することを通して、改めて校区内での研究の進め方についての認識を高めた。

**【友呂岐中校区】**

- ＩＣＴ機器を活用した授業、道徳教育の授業実践を重点的に学び、校内研修において講師を務め、視察内容を実践にいかす手立てを行うことができた。
- 視察と実践を通して、目指す子ども像を明確に示し、全教育活動と関連付けながら研究を進めることができた。

**【中木田中校区】**

- 思考ツールを活用した授業を意識し、ＩＣＴ機器を活用した授業や、学び合い学習を校区内で取り入れ、実践することができた。
- ＩＣＴ機器の活用を積極的に行うことで、子どもたちが自ら考えて課題を発見する活動が増えた。

| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載 |                 | <b>今後の方向性（Innovation）</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>B</b>                                   | A:達成している        | <p>教育研修センターの在り方として、教職員の更なる指導力向上に向け、課題の分析や研修の方向性を明確にしていく。また、新学習指導要領の実施に向け、研修に必要な内容を精査し検討する。</p> <p>中核市移行に向けて、必要な事務についての準備を進めるため、他中核市及び府教育センターからの更なる情報収集、研修の立案等を行っていく。また、研修数の増加に対応するため、現教育研修センターの旧明德小学校への移転に関する事務についても進めていく。</p> <p>先進校視察については、視察からの学びが、各中学校区での実践にいかされ、児童・生徒の学力・心力・体力の向上につながるよう、派遣前に説明会を開催し、より一層派遣教職員の役割を明確にして PDCI サイクルでの取組を推進していく。</p> |
|                                            | B:おおむね達成している    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|                                            | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|                                            | D:達成できていない      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

## 平成 28 年度における取組状況

|       |             |
|-------|-------------|
| 構成取組⑤ | ドリームプラン推進事業 |
|-------|-------------|

| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |    |               |               |               |               |               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 寝屋川市の各中学校区の小・中学校を活性化するため、特色ある教育・特色ある中学校区づくりを進める中学校区の3校（中学校1校、小学校2校）の研究推進等の計画を支援し、各中学校区として、小・中学校が協力・連携しながら、その推進を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                           |    |               |               |               |               |               |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |    |               |               |               |               |               |
| <div>各中学校区研究推進事業等の開催</div> <p>各分野の専門家や、大学教授、著名な講師を招へいし、各中学校区で合同研修会の開催や、小中一貫教育先進校視察等を通して、学力向上のための授業改善を行うなどの取組を推進した。</p> <div>特色ある中学校区づくりの取組</div> <p>平成28年度からは、各中学校区において、特色ある教育、特色ある中学校区づくりを計画的に推進することができるよう、中学校区に120万円の予算を配当することとした。</p>                                                                                                                                                     |    |               |               |               |               |               |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(見込値) | 30年度<br>(見込値) |
| ドリームプランに関する保護者の認知度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | %  | —             | —             | 41.7          | 70            | 90            |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |    |               |               |               |               |               |
| 取組内容（活動状況）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |    |               |               |               |               |               |
| <p>&lt;中学校区での取組の概要&gt;</p> <div>一中校区</div> <p>【街の学校S N（School Network）】</p> <p>○3UP宣言（レベルアップ・パワーアップ・マナーアップ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各専門部会による実践研究の強化</li> <li>・校内組織の活性化</li> <li>・書写指導の充実</li> <li>・保護者・地域との協働運営</li> </ul> <div>二中校区</div> <p>【双葉学園】</p> <p>○ユニバーサルデザインの学園づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己有用感の醸成</li> <li>・ユニバーサルデザインの授業づくり</li> </ul> |    |               |               |               |               |               |

- ・社会性測定尺度の効果的な活用
- ・自学自習力の育成

### 三中校区

#### 【香里園元気学園】

#### ○地域とともに創造する香里園元気学園

- ・和楽器を通した、自己有用感の育成
- ・道德教育の充実による、道德心と規範意識の醸成
- ・全学年全学級の研究授業
- ・補習指導による学力向上

### 四中校区

#### 【東寝屋川学園（E-Ne 学園）】

#### ○自ら学び 共に創る 学園生の育成

- ・子どもたちの校区連携の強化
- ・言語活動の充実
- ・キャリア教育の推進
- ・基礎的学習・生活習慣の醸成

### 五中校区

#### 【五凜学園】

#### ○和 豊かな心の創造

- ・小中合同部活動の推進
- ・子どもたちの校区連携強化
- ・基礎体力の向上
- ・基礎学力の向上

### 六中校区

#### 【香里かほりまち学園】

#### ○小中一貫教育を進め全国一への挑戦

- ・小学校から中学校への接続強化
- ・教職員研修の充実
- ・ドリーム人材の効果的な活用
- ・豊かな心の育成

### 七中校区

#### 【河内野くすの木学園】

#### ○学力を向上させ、自らの力と意志で進路選択できる子どもを育成する！

- ・基礎体力の向上
- ・自尊感情を高めて夢をかなえる強い心を育成するキャリア教育の推進
- ・体験活動を通した障がい者理解・福祉教育の充実
- ・学校行事の活性化

### 八中校区

#### 【寝屋川西部学園】

#### ○学校力の向上（高い効果を上げる中学校区へ）

- ・学び続ける、学ぶ楽しさを実感できる子の育成
- ・キャリア教育の推進
- ・教職員研修の充実
- ・包括連携校からの支援



#### 九中校区

##### 【梨の木学園】

##### ○ひまわりスマイルプラン

～今年は「P B I S」に校区として取り組みます～

- ・子どもたちの校区連携強化
- ・学び合いを主軸とした授業スタイルの共有化
- ・図書室整備による読書意欲の向上
- ・地域とのつながりを誇りに

#### 十中校区

##### 【寝屋鉢かづき学園】

##### ○想いや考えを伝え合うことのできる子どもの育成

想いや考えを伝え合うことのできる子どもの育成

- ・家庭との連携による学力向上
- ・先進校や視察等による授業力向上
- ・「わくわくプロジェクト」児童理科研究発表会の実施
- ・国際コミュニケーション科を柱とした校内研究の実施

#### 友中校区

##### 【きらりと輝く五つ星学園】

##### ○未来に輝く Tomorogi ワールドシティズンシッププラン

- ・教えられる学びから主体的・創造的な学びへ
- ・道德教科化に向けた多様で効果的な指導法の研究
- ・図書室の充実
- ・家庭学習の習慣化

#### 中木田校区

##### 【NAKAKIDA☆きらら学園】

##### ○きららと輝く子どもの育成 《NAKAKIDA Tsunagaru Project》

- ・主体的に考え、行動できる子どもの育成
- ・「英語でしゃべった DAY」で留学生とオールイングリッシュ
- ・漢字検定を実施し「書く」、「読む」の力を付ける
- ・地域ボランティアとともに創る様々な活動

### 評価 (Check)

配当された予算で各中学校区の課題解決に向け、小中合同での研修会の開催や先進校視察、著名人を招いての講演会や専門家を講師とした体験学習が多数行われるなど、全中学校区において、特色ある教育・特色ある中学校区づくりが進んだ。今後も、先進校視察や多くの外部人材の活用など、各校の学力・心力・体力向上に向け、本プランを有効的に活用していく必要がある。

<各中学校区における主な成果>

##### 【一中校区】

○三校合同での小中一貫教育の先進校視察を通して、生徒指導の工夫、思考力・判断力・表現力を高める指導を学ぶことができた。

○教科指導の交流が推進され、研修会が充実するとともに、校内組織の活性化が図られた。

- 書写指導の充実を図り、全校児童が書写作品展、書き初め大会に参加し、鑑賞力や集中力を身に付けることができた。
- チャレンジクラブや園芸活動・清掃活動等を協働して運営していくことで、地域・保護者との連携を更に強めることができた。

#### 【二中校区】

- 保護者や地域の方を招き、自分たちの取組を発表することで、日頃の姿や活動を認めてもらい、自己有用感を高めることができた。
- 授業の始めに「めあて」、「本時の流れ」カードを掲示し、生徒に意識させることで、学習意欲・集中力を高めることができた。
- 社会性測定尺度を活用し、子どもたちの自己有用感の変化を検証したことで、学級経営と学級指導の改善に効果をもたらすことができた。
- PTA、大学と連携し、学習支援を行うことで、自学自習力が定着するとともに、子ども同士が学び合う力も培うことができた。

#### 【三中校区】

- 3校が和楽器等の表現活動に取り組み、地域の行事でも披露する等、地域貢献を行うことで、子どもたちの自己有用感の育成を図ることができた。
- 地域の独居老人の誕生月に花をプレゼントする「フラワープレゼンター」の取組を毎月行ったことで、ボランティア活動が推進された。
- 研究教科を図画工作とし、全学年全学級の研究授業を通して、教職員の指導力向上につながった。
- 20分休憩及び放課後の補習指導を全学年で徹底したことにより、各種学力調査において、ほぼ全学年で全国平均を上回った。

#### 【四中校区】

- 小学1年生から6年生まで小学校同士交流することで、中学校入学時の校区としての段差の解消を図ることができた。
- 中学1年生が小学生に対して学校紹介のプレゼンテーションを行う等、全学年が、日常的に発表の場面を設定したことで、思考力・判断力・表現力の醸成を図ることができた。
- 福祉、伝統芸能、国際理解等、様々な分野の方々を講師として招き、体験活動を柱としたキャリア教育が進み、自己肯定感を醸成することができた。
- 「ノーチャイム・5分前行動・1分前着席」の定着により、基本的な学習・生活習慣を養うことができた。

#### 【五中校区】

- 小中連携したクラブ活動を行うことで、小中一貫した体力づくりをすることができた。
- 5-Go サミットや子ども議会の開催により、生徒の主体的な活動を充実させることができた。
- 全校外遊びの推奨、遊びを通した運動習慣の定着、元オリンピック選手の招へい等を通して、子どもたちの体力を向上することができた。
- 校内漢検・算検・百マス検定・計算実力テスト等を通して、子どもたちの

基礎学力の定着を図ることができた。

**【六中校区】**

- 小学校から定期テスト、教科担任制・専科制を導入し、中学校への段差解消を図ることができた。
- 「生徒指導」、「授業づくり」等をテーマに外部講師を招いた教職員研修の実施により、教職員の資質向上を図ることができた。
- 教員が専門家に学び、合唱指導・書写指導の力を付けたことで、子どもたちが豊かな感性を身に付け、表現する技能も向上させることができた。
- 地域の方を講師に招いて茶道体験を行い、礼儀や挨拶等とともに、豊かな心の育成を図ることができた。

**【七中校区】**

- 新体力テストの分析結果を各家庭へ返すことで、保護者への啓発につながり、子どもたちの基礎体力の定着につながった。
- 大阪府技能士連合会から職人を招き、ものづくり体験を実施したことで、自分の将来像を描く切っ掛けとすることができた。
- 車いすバスケット体験・アイマスク体験・高齢者疑似体験等、障がい者理解・福祉教育の充実により、自己の生き方を見つめ直すことができた。
- 土曜日に遊び教室・学習教室を実施したことにより、保護者アンケートでは「学校は行事の活性化に努めている」の回答が約9割であった。

**【八中校区】**

- 宇宙航空研究開発機構より講師を招へいし、大きな夢を持つことや夢を叶えるために努力をする大切さを学んだ。
- 「パラリンピックキャラバン」の実施により、前を向いて生きていくことの大切さを知るキャリア教育の推進につなげることができた。
- 教員の積極的な研究参加を通して、学んできたことを全教員へ周知することで、教員間で授業力、指導力を高めることができた。
- 大学生ラグビー部を講師としたタグラグビー学習を通して、体力の向上とともに、認め合える仲間意識の育成を図ることができた。

**【九中校区】**

- 児童会・生徒会が一堂に会した「校区サミット」の開催により、校区の子どもたちもつながりをもつことができた。
- 発表用マイボードを活用したグループ学習により、「主体的・対話的で深い学び」を実現することができた。
- 本の貸し借りをPC管理に移行する等の学校図書館の整備により、今まで以上に利用が進み、読書意欲の向上を図ることができた。
- 児童会の企画で「あいさつ運動」や地域ボランティアの方への「ありがとうの会」の実施を通して、地域とのつながりを深めることができた。

**【十中校区】**

- 校区で家庭教育リーフレットを作成・配付し、家庭学習を習慣付けたこと

- で、学習時間の増加から学力の向上を図ることができた。
- 先進校視察や研修会参加の報告会を行うことで、教員の授業力向上を図ることができた。
  - 理科をベースとした考察力・表現力の育成だけでなく、問題解決能力を育成することができた。
  - 国際コミュニケーション科の研究授業に講師を招へいし、教員の英語指導力の向上から子どもたちの英語スキルの向上につなげることができた。

#### 【友呂岐中校区】

- 校区合同算数・数学科 ICT 活用授業研究によって、系統性を意識した授業と子どもたちの課題の把握、理解力の深化を図ることができた。
- 道徳を通して、規範意識を高めるとともに人を思いやる気持ちを培い、落ち着いた環境で学力の向上につなげることができた。
- 図書室での調べ学習コーナーの充実により、PISA 型読解力の向上を図ることができた。
- 各種学力調査の過去問に取り組むことで、家庭学習の習慣化と反復練習により、基礎的な学力を向上させることができた。

#### 【中木田中校区】

- 校区 3 校で、言語活動を大切にした「学び合い」の授業に取り組み、一斉授業からの脱却を図ることができた。
- 中学校 2 年生全員と留学生 20 人が英語で自己紹介、インタビュー、カルタとり等を通して交流し、英語の楽しさ、難しさを学ぶことができた。
- 校内漢字検定の取組によって、子どもたちの頑張りが形として表れ、自尊感情の高揚、漢字学習への意欲向上を図ることができた。
- 米づくり、味噌づくり等、地域人材活用による食育を通して、子どもたちが地域に誇りを持つことができるようになった。

| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載 |                 | <b>今後の方向性（Innovation）</b>                                                                                  |
|--------------------------------------------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A                                          | A:達成している        | 今後の全市的な小中一貫校への移行を見据え、本事業を活用した、「指導体制の一体化」を更に推進していくとともに、学校・家庭・地域との連携も含めた、特色ある教育、特色ある中学校区づくりをより一層推進していく必要がある。 |
|                                            | B:おおむね達成している    |                                                                                                            |
|                                            | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                                            |
|                                            | D:達成できていない      |                                                                                                            |

## 教育大綱重点取組の総合評価

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |            |                                                                                                  |          |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| ①小中一貫教育推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | B          | ⑨                                                                                                |          |
| ②小中一貫校の設置事務                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | A          | ⑩                                                                                                |          |
| ③寝屋川教育フォーラム開催事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | B          | ⑪                                                                                                |          |
| ④教育関係職員研修事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | B          | ⑫                                                                                                |          |
| ⑤ドリームプラン推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | A          | ⑬                                                                                                |          |
| ⑥                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |            | ⑭                                                                                                |          |
| ⑦                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |            | ⑮                                                                                                |          |
| ⑧                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |            | ⑯                                                                                                |          |
| 上記については、重点取組内の構成取組における評<br>定を記入し、評定平均を計算。<br><b>評定点数</b><br><u>A = 5</u> 、 <u>B = 3</u> 、 <u>C = 2</u> 、 <u>D = 1</u>                                                                                                                                                                                                                       |            | 総合評価基準<br>A：取組評価平均 4.0 以上<br>B：取組評価平均 2.5 以上 4.0 未満<br>C：取組評価平均 1.5 以上 2.5 未満<br>D：取組評価平均 1.5 未満 |          |
| <b>評定平均</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <b>3.8</b> | <b>総合評価</b>                                                                                      | <b>B</b> |
| <b>アドバイザーからの意見</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |            |                                                                                                  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力については、様々な施策によって向上してきているが、そのことを市民や保護者へ広報していくことが重要であるとともに、どの施策が特に効果的であったかを検証することも必要である。</li> <li>・ 教職員研修については、即座に研修結果をシステムで集計するなどの手法を用いて負担感を減らし、効果測定に基づく改善を進めていく必要があり、講師に結果をフィードバックする仕組みも重要である。</li> <li>・ 特色ある中学校づくりは非常に素晴らしい取組であるが、長く続けていくと、行うことが目的化してしまう恐れもあるため、引き続き事業の検証を進めていただきたい。</li> </ul> |            |                                                                                                  |          |
| <b>総 合 評 価</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |            |                                                                                                  |          |
| <p>本市の 11 年間にわたる小中一貫教育の取組についての検証を行うとともに、今後の小中一貫教育の方向性を定めた「小中一貫教育の検証並びに今後について」を策定したほか、小中一貫教育を推進するに当たり、ドリームプラン等の各種取組を引き続き行った。</p> <p>また、教育フォーラムや教職員に対する研修の実施により、本市が目指す小中一貫教育の方針を市全体で共有することができた。</p> <p>今後については、全市的な小中一貫校へ移行し、義務教育全体の質の向上を目指していく。</p>                                                                                          |            |                                                                                                  |          |

## 2 自ら学ぶ力の育成

|                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| <b>教育大綱重点取組</b> | <b>自ら学ぶ力の育成</b> |
|-----------------|-----------------|

### 教育大綱重点取組を推進する体制(構成取組)

|                  |                    |                        |
|------------------|--------------------|------------------------|
| ①英検受検料補助事業       | ②外国人英語講師派遣事業       | ③イングリッシュプレゼンテーションコンテスト |
| ④英語村(英語力向上プラン)事業 | ⑤学園ICT化構想事業        | ⑥中学校休業日等学習支援事業         |
| ⑦少人数教育推進事業       | ⑧少人数学級推進事業         | ⑨学力向上支援人材事業            |
| ⑩学習到達度調査事業       | ⑪教育相談事業            | ⑫教育活動支援人材活用事業          |
| ⑬児童生徒支援人材派遣事業    | ⑭スクールソーシャルワーカー配置事業 | ⑮スクールカウンセラー配置事業        |

### 平成 28 年度決算(見込み)

|         |    |          |
|---------|----|----------|
| 取組に係る費用 | 単位 | 平成 28 年度 |
| 事業費     | 千円 | 357,350  |

### 教育大綱実施計画における取組概要(平成 27 年度～30 年度)

児童生徒の学力向上を図るため、少人数教育の推進、ICTを活用した授業、放課後などの学習の場の充実、生活改善などを通して、きめ細かな指導を実現することで、学ぶ習慣・意欲の向上、学力向上を目指す。また、英語村事業、外国人英語講師の配置、英検受検料の補助、イングリッシュプレゼンテーションコンテスト等により、英語力の向上に努めるとともに、児童生徒の国際理解を深め、コミュニケーション力の育成を図る。さらに、支援人材等を有効活用することで、不登校、いじめ等の問題行動の早期発見・早期対応を図るとともに、未然防止のための開発的生徒指導を推進する。市立学校の教職員の資質向上を図り、学校教育内容の充実に努める。

### 教育大綱実施計画における取組の方向性(目標)(平成 27 年度～30 年度)

ICTを活用した教育をより一層推進するとともに、英語村事業を始めとする英語教育の充実を図るなど、時代に対応した教育を推進する。

### 成果・効果等を表す取組指標

| 指標名                         | 単位 | 平成 28 年度 |      |                                                                                                       |
|-----------------------------|----|----------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                             |    | 目標値      | 実績値  | 達成度コメント                                                                                               |
| これからも英語を続けて勉強したいと思う中学3年生の割合 | %  | 76.0     | 79.9 | ペア等で学習に取り組む場の設定などによりコミュニケーションを重視した授業を行うことができています。その中で外国人英語講師に英語が通じた喜びなどを体験することにより、英語への興味が上昇した生徒が増加した。 |
| 休日に勉強する中学3年生の割合             | %  | 84.0     | 79.0 | 中学校休業日等学習支援等を活用し、自分で学ぶ力の育成に取り組むことができた。また、各中学校での連絡帳の取組や小中学校での生活習慣リーフレットの活用により、家庭学習の意識向上につながった。         |

## 平成 28 年度における取組状況

|       |           |
|-------|-----------|
| 構成取組① | 英検受検料補助事業 |
|-------|-----------|

### 計画（Plan）

中学校 1 年生又は 3 年生で 1,000 円を 1 回、2 年生で 2,100 円を 1 回補助する。小学校 6 年生全員に、英検 Jr. 受検料を全額補助する。

### 取組内容（Do）

#### 英検受検料の補助

英検 Jr. を小学校 6 年生で全員受検し、小学校での英語力を成果測定するとともに、中学校における英検受検につなげた。

中学校では、英検 3 級取得が中学校 3 年生での英語科における目標の一つとなっており、中学校 3 年間で、計 2 回の受検料補助を行った。英検合格には 4 技能（聞く・話す・読む・書く）をバランスよく取り入れた学習が必要であり、特に「話すこと」に重点を置いた授業研究が進んだ。

| 活動指標等                 | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
|-----------------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 英検 3 級以上の受検率<br>(取得率) | %  | 41.9<br>(25.2) | 55.5<br>(26.8) | 60.7<br>(32.4) | 70.0<br>(50.0) | 75.0<br>(60.0) |
|                       |    |                |                |                |                |                |

### 取組内容（活動状況）

< 受検率の推移 >

【英検 Jr.】※小学校

| 平成26年度 |       |      | 平成27年度 |      |      | 平成28年度 |      |      |
|--------|-------|------|--------|------|------|--------|------|------|
| 受検率    |       |      | 受検率    |      |      | 受検率    |      |      |
| ブロンズ   | シルバー  | ゴールド | ブロンズ   | シルバー | ゴールド | ブロンズ   | シルバー | ゴールド |
| 83.3%  | 11.7% | 5.0% | 84.3%  | 9.4% | 6.3% | 82.1%  | 8.9% | 9.0% |



【英検】※中学校

|        | 平成26年度  |        | 平成27年度  |        | 平成28年度  |        |
|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
| 級別     | 受検率     |        | 受検率     |        | 受検率     |        |
|        | 受検者数(人) | 在籍数(人) | 受検者数(人) | 在籍数(人) | 受検者数(人) | 在籍数(人) |
| 2級・準2級 | 6.3%    |        | 9.6%    |        | 13.2%   |        |
|        | 132     | 2112   | 202     | 2106   | 256     | 1936   |
| 3級     | 35.9%   |        | 45.9%   |        | 47.5%   |        |
|        | 758     | 2112   | 967     | 2106   | 919     | 1936   |
| 4級     | 83.8%   |        | 85.8%   |        | 89.7%   |        |
|        | 1773    | 2116   | 1665    | 1940   | 1744    | 1945   |

2級・準2級受検率・・・2級・準2級受検者数／3年在籍数

3級受検率・・・3級受検者数／3年在籍数

4級受検率・・・4級受検者数／2年在籍数

## 評価（Check）

小学校では、英検 Jr. の受検率を受検種別ごとに見ると、年々ゴールドの受検者の割合が上昇しており、小学生の英語力向上につながっている。

中学校では、英検 3 級取得が中学校 3 年生での英語科授業の目標ともなっており、3 級以上受検率は、前年度を上回り 60.7% となった。また、学校別にみると、平成 28 年度の目標値であった 3 級以上受検率 65.0% を超えている学校は 6 校あり、その内 5 校については 70.0% を超えている。今後も全中学校での 3 級以上の受検率の向上を推進・強化していく必要がある。

2 級・準 2 級の受検率については、前年度よりも約 4 % の増加となった。また準 1 級の合格者も出ており、授業力の向上が英検受検・合格にもつながっていることが考えられることから、更なる授業改善に取り組んでいく必要がある。

## 評定

当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載

## 今後の方向性（Innovation）

**B**

A: 達成している

B: おおむね達成している

C: 一部達成であり、課題が残る

D: 達成できていない

平成 29 年度より、大阪府公立高等学校入学者選抜においても、英語検定などの外部テストの取得級等によっては、選抜試験当日の点数との読み替えがなされる制度があり、平成 30 年度選抜においてもその傾向にある。日々の授業改善を行うことで、生徒の英語力向上を目指し、英検受検を更に推進していく。

## 平成 28 年度における取組状況

|       |             |
|-------|-------------|
| 構成取組② | 外国人英語講師派遣事業 |
|-------|-------------|

### 計画（Plan）

外国人英語講師（NET）を 6 人の配置から 12 人に拡充し、1 中学校区（中学校 1 校、小学校 2 校）に 1 人ずつ配置するとともに、英語村の参加を 5 年生全員に加え、6 年生全員とした。

### 取組内容（Do）

#### 外国人英語講師派遣者数の拡充

1 中学校区 1 人の配置となり、児童生徒がネイティブの英語を聞く機会が増えるとともに、英語で会話をするなどのコミュニケーションを図る授業づくりが推進された。小学校においては、文字を「読むこと」、「書くこと」に向けた取組を、外国人英語講師が見本となり教員に示した。

| 活動指標等                                         | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
|-----------------------------------------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 国際コミュニケーション科及び英語科アンケートにおいて、授業が「楽しい」と思う児童生徒の割合 | %  | 83.4           | 85.0           | 85.4           | 89.0           | 90.0           |

### 評価（Check）

外国人英語講師（NET）が各学校や英語村に配置されることで、児童・生徒がネイティブの英語を通してコミュニケーションを図る機会を確保することができた。

また、「これからも続けて英語を勉強したいですか」との質問に対して、小学校 5・6 年生及び中学生で前年度よりも数値が向上していることから、NET との関わりを通して、より一層英語への興味・関心が高まっていることがわかる。

| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載 |                  | 今後の方向性（Innovation）                                                                                                                                     |
|----------------------------------------|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>A</b>                               | A: 達成している        | 外国人英語講師（NET）は引き続き、各中学校区に 1 人配置し、各学校での授業を行うことで、児童・生徒が英語でコミュニケーションを図る機会を充実させていく。<br>また、英語村については、小学校 5・6 年生に加え、就学前児童も対象とすることで、就学前教育と小中一貫教育の連携・連動に取り組んでいく。 |
|                                        | B: おおむね達成している    |                                                                                                                                                        |
|                                        | C: 一部達成であり、課題が残る |                                                                                                                                                        |
|                                        | D: 達成できていない      |                                                                                                                                                        |

## 平成 28 年度における取組状況

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 構成取組③ | イングリッシュプレゼンテーションコンテスト |
|-------|-----------------------|

### 計画 (Plan)

11 月に予選会、1 月に本選を行うことで、よりレベルの高い英語でのプレゼンテーションを目指す。

また、普段の授業から英語の授業は英語で行うことを基本とし、生徒の英語での発話の機会を増やすだけでなく、発信する内容についても日々の学習の成果が出るよう授業改善を行う。

### 取組内容 (Do)

#### イングリッシュプレゼンテーションコンテストの開催

平成 17 年度より進めている小中一貫した英語教育の中で、中学校では小学校で学んだ聞くことを中心とした授業づくりをいかして、より豊かに自分を表現できるよう授業改善に取り組んできた。その中で、日々の授業で身に付けた表現を使って、中学生が自分を表現する場としてイングリッシュプレゼンテーションコンテストを設定した。

各校における予選を経て、平成 28 年 11 月 16 日に市の予選会を行い、平成 29 年 1 月 7 日には、予選通過者 13 人による本選を行った。今年度は、「自分自身に関すること」を大きなテーマとし、各生徒が自分の思いを英語でまとめ、授業で学んできた表現等を有効に活用しながら、会場の人々に伝える場とした。さらに、プレゼンテーションソフトを使って内容を視覚的に表現する生徒も多くいた。また、即興で使える英語力も求められていることから、プレゼンテーションの後には、その内容に関する質問を外国人英語講師から受け、その質問に対して自分の言葉でその場で答えるなど、より実践的な英語活用となるよう設定した。

なお、審査については、大学教授 3 人及び外国人英語講師 3 人が行い、観点は①伝達と表現②内容③英語力④質疑応答の 4 観点とした。

#### 【平成 28 年度】

7 月 12 日 平成 28 年度コンテスト参加者募集  
 10 月 26 日 平成 28 年度コンテスト申込み締切り  
 11 月 17 日 予選審査【教育研修センター】  
 1 月 7 日 本選【アルカスホール】13 人参加

| 活動指標等                       | 単位            | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
|-----------------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 参加生徒の英語力（プレゼンテーションにおける平均得点） | 点<br>(240 満点) | 175            | 180            | 194            | 200            | 205            |
|                             |               |                |                |                |                |                |

| 評価（Check）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                 |                                                                                                                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>年々、イングリッシュ・プレゼンテーション・コンテストに参加する生徒の英語力は向上している。自分を表現し、聞いている人々に思いを伝えるためにはどのような内容にし、どのような表現を使うのかなどを吟味していることから、英語を使うことへの抵抗感が少なくなっていることがうかがえるとともに、舞台に立ち堂々と発表している姿からは、各生徒が英語を使うことに対して自信を持っている様子もうかがえた。</p> <p>また、審査員の質問に対しても、自分の言葉で、即興で答え、プレゼンテーション後の審査員の評価も非常に高かった。出場生徒の平均得点が、当初平成 29 年度の目標としていた 190 点を上回ったことから、生徒の英語力が向上していることがわかる。</p> <p>このような成果は、英語科の教員が日々の授業を改善し、よりコミュニケーションを柱とした授業を実践してきた成果の表れであると考えられる。</p> |                 |                                                                                                                                                                 |
| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                 | 今後の方向性（Innovation）                                                                                                                                              |
| <b>A</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | A:達成している        | <p>生徒の英語力は向上し、質の高いプレゼンテーションを行うことができるようになっている。今後は「聞き手」をより意識した内容や表現を使うよう、日々の授業の取組とより関連性を持たせ、全生徒が参加しやすいコンテストにしていく。</p> <p>本事業を一つの柱として、教員の研修も含めた日々の授業改善につなげていく。</p> |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | B:おおむね達成している    |                                                                                                                                                                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                                                                                                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | D:達成できていない      |                                                                                                                                                                 |

## 平成 28 年度における取組状況

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 構成取組④ | 英語村（英語力向上プラン）事業 |
|-------|-----------------|

### 計画（Plan）

市立小中学校の児童・生徒を対象に、英語を使う必然性のある「英語だけの場」として、「小学校英語村」及び「中学校英語村」を設けている。日頃の授業で学んだことをいかして、英語が通じた喜びを得、学ぶ意欲を高め、コミュニケーション力の向上を図る。また、授業で身に付けてきた英語力の更なる向上を目指す。

### 取組内容（Do）

#### 小学校英語村の実施

平成 26 年度より実施の市立小学 5 年生全員（1,781 人）に加え、平成 28 年度からは、6 年生全員（1,876 人）対象に拡充し、教育研修センターで、9:30 から 14:30 まで、年間 50 回、外国人英語講師 6 人と英語だけで一日活動を行った。

小学生が英語を使う必然性のある場面を体験するとともに、小学校教員が英語村に参加することで、オールイングリッシュの授業を体験し、各校における授業づくりに活用した。

#### 中学校英語村の実施

外国人英語講師 6 人と英語だけで活動を行い、英検の模擬面接練習や英語でのプレゼンテーションの練習等を行うなど、延べ 445 人が参加した。

市立中学 1 年生から 3 年生の希望者を対象に年間 49 回、教育研修センター及びコミュニティセンターで実施した。

| 実施日     | 回数   | 時間          |
|---------|------|-------------|
| 平日（水曜日） | 37 回 | 16:00～17:00 |
| 夏季短縮期間中 | 4 回  | 14:00～17:00 |
| 夏季休業中   | 4 回  | 9:30～16:30  |
| 冬季休業中   | 2 回  | 9:30～16:30  |
| 春季休業中   | 2 回  | 9:30～16:30  |

| 活動指標等                   | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
|-------------------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| アンケートにおける<br>参加児童生徒の満足度 | %  | 91.0           | 92.0           | 91.8           | 93.0           | 93.5           |
|                         |    |                |                |                |                |                |

## 評価 (Check)

小学校英語村では、英語を使う必然性のある場を設定することで、子どもたちにとって、日頃「国際コミュニケーション科」の授業で学習したことを活用してみる機会となり、自分の英語が通じた喜びを得、次への学習の意欲につながった。

参加した児童からは、「自分の英語が伝わった。」、「たくさんの外国人の先生と話ができて、うれしかった。」等の感想があった。

6年生は2回目ということもあり、より慣れ親しんで活動を進めることができた。感想も「自分たちのまちについて紹介できてうれしかった」など、より内容に触れたものになっている。音声と文字の活動を取り入れたことにより、中学校の活動にもつながる橋渡しとなった。

教員にとっては、外国人英語講師の使う英語を「国際コミュニケーション科」の授業に取り入れたり、英語村に参加するための授業を組み立てたりすることにより、授業力向上に役立った。

中学校英語村では、参加した生徒からは、「英語が楽しくなった。」、「外国人英語講師の先生とたくさん話のできたので楽しかった。」等の感想があり、好評を得ている。参加者は英検受検に対して意欲的であり、より高い級に合格した生徒もいた。コミュニティセンターと教育研修センターでの2か所同時開催にしたため、全体での参加者数が増加した。また、参加者のうち、複数回参加している生徒も多いため、新たな参加者を獲得することにより、今後、利用者が増える可能性が大きくなると考えられる。参加のしやすさを考慮すると学校での開催も考えた方がよいとの英語教育推進委員会委員からの意見もいただいている。

英語村は英語を実践的に活用するためには効果的な取組であるので、引き続き、より多くの生徒の積極的な参加が得られるよう働き掛けていくことが必要と考える。

平成28年度も多くの視察や取材を受け、小学5、6年生全員が日頃の授業と連動した内容の英語村を体験していることや、英検やプレゼンテーションコンテストにつながる中学校英語村に大きな意義を感じるという感想をいただいた。児童・生徒の英語によるコミュニケーション力の向上と、英語や国際理解に対する学習意欲の醸成のために大変効果的な事業であると、高い評価をいただいている。

| <b>評定</b><br><small>当初の計画に対する進捗や<br/>評価の内容等を踏まえて記載</small> |                  | <b>今後の方向性 (Innovation)</b>                                                                                                                                                                                          |
|------------------------------------------------------------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>A</b>                                                   | A: 達成している        | <p>現在の小学5・6年生に加えて、公立幼稚園5歳児全員と希望する私立幼稚園5歳児に参加を拡充し、就学前より英語に慣れ親しみ、小学校の学習につなぐ活動にしていく。</p> <p>中学校英語村の実施においては、より授業で学習したことを活用する場としての内容を充実させ、英検受検や英語でのプレゼンテーションなどにも対応できるよう充実を図るとともに、希望する中学校へ出張英語村を行い、生徒が参加できる機会を多く設定する。</p> |
|                                                            | B: おおむね達成している    |                                                                                                                                                                                                                     |
|                                                            | C: 一部達成であり、課題が残る |                                                                                                                                                                                                                     |
|                                                            | D: 達成できていない      |                                                                                                                                                                                                                     |

## 平成 28 年度における取組状況

|       |              |
|-------|--------------|
| 構成取組⑤ | 学園 ICT 化構想事業 |
|-------|--------------|

### 計画（Plan）

平成 27 年度は市立中学校の全教室に電子黒板セットと全教員に指導用パソコンを配置した。

平成 28 年度は少人数指導や習熟度別指導において、より個に応じた授業を行うため、小学校担任外教員の指導用パソコンを配備し、各校にプリンターを設置する。

### 取組内容（Do）

#### 小中学校への ICT 機器の導入

小学校担任外教員用の指導用パソコン及びプリンターを設置し、習熟度別指導などの少人数指導においてもより分かりやすい授業を実施した。また、音楽等においても ICT 機器を活用した授業を行い、より専門性の高い取組を行った。

#### 児童生徒の ICT 機器活用能力の向上

パソコンやタブレットパソコンを活用し、児童生徒が自分の考えを深めたり発表したりする授業を行った。また、グループ学習などでタブレットパソコンを使用し、考えをまとめ、プレゼンテーションを行うなど、自分たちの意見を発表した。

また、調べ学習においても、児童生徒自らが、自分に必要な情報を、インターネットを通して入手する等、ICT 機器活用能力の向上が図られた。

| 活動指標等                                    | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
|------------------------------------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 文部科学省調査において、ICT 機器を活用しての授業の「内容はよくわかる」の割合 | %  | 74.0           | 76.4           | 75.0           | 82.0           | 84.0           |
| 文部科学省調査において、ICT 機器を活用できる児童生徒の割合          | %  | 70.6           | 71.9           | 72.1           | 80.0           | 85.0           |

| 評価（Check）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                    |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p>学園 ICT 化構想が進み、更に ICT を活用する環境が整備された。</p> <p>新しいプリンターの導入により、授業で活用する学習プリントや資料の印刷に非常に役立っており、子どもたちに対して、より個に応じた学習支援を行うことができた。またこれまでに導入されたプリンター以上に印刷が早く、かつコストも安いという利点もみられている。</p> <p>小学校担任外教員用指導用パソコンの導入については、習熟度別授業等における活用が進んだ。電子黒板等と連動した活用も見られ、子どもたちが考えを伝え合うなど、より豊かな交流も生まれ、分かりやすい授業の展開と学力の向上が図られた。</p> <p>これら ICT 機器の充実は、個に応じた学習支援を実施するのみでなく、新学習指導要領のキーワードである「主体的・対話的で深い学び」を実現していくためにも非常に有効であると考えられる。</p> |                                                                                                                                                                                                                                    |  |
| <div> <b>評価</b><br/>           当初の計画に対する進捗や<br/>           評価の内容等を踏まえて記載         </div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <div> <b>今後の方向性（Innovation）</b> </div>                                                                                                                                                                                             |  |
| <div> <div>B</div> <div> <div>A:達成している</div> <div>B:おおむね達成している</div> <div>C:一部達成であり、課題が残る</div> <div>D:達成できていない</div> </div> </div>                                                                                                                                                                                                                                                                     | <p>ICT 機器の整備が進むことにより、その活用も高まっている。今年度の小学校担任外教員への指導用パソコンの導入により、少人数指導等においても、その活用が図られ、より分かる授業づくりが進められた。今後は、事業名を「ICT 教育推進事業」と改め、ICT 教育を積極的に推進する中で、子どもたちの理解を深めるとともに、伝え合う活動を促進し、思考力・判断力・表現力の育成を図る必要がある。また、プログラミング学習等についても調査・研究を行っていく。</p> |  |



## 平成 28 年度における取組状況

| 構成取組⑥                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                  | 中学校休業日等学習支援事業                                                                                                                                                             |                |                |                |                |                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                  |                                                                                                                                                                           |                |                |                |                |                |
| <p>中学３年生の希望者に対して、市内６施設を活用し、学校における授業以外に個々の生徒の学力や、目標に応じた学習支援を実施する。</p> <p>また、市立全中学生を対象に、インターネットコンテンツを活用した映像授業による家庭学習支援を実施、全生徒に個別の ID とパスワードを配布する。</p>                                                                                                                                                    |                  |                                                                                                                                                                           |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                  |                                                                                                                                                                           |                |                |                |                |                |
| <div>学校休業日等学習支援事業の実施</div> <p>中学３年生の希望者に対して、市内６施設を活用し、学校における授業以外に個々の生徒の学力や、目標に応じた学習支援を実施した。</p> <p>また、市立全中学生を対象に、インターネットコンテンツを活用した映像授業による家庭学習支援を実施した。</p>                                                                                                                                              |                  |                                                                                                                                                                           |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                  | 単位                                                                                                                                                                        | 26 年度<br>（実績値） | 27 年度<br>（実績値） | 28 年度<br>（実績値） | 29 年度<br>（見込値） | 30 年度<br>（見込値） |
| 学習会の満足度                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                  | %                                                                                                                                                                         | —              | —              | 90             | 92             | 94             |
| 評価（Check）                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                  |                                                                                                                                                                           |                |                |                |                |                |
| <p>個々の生徒の学力や目標に応じたカリキュラムを作成し、個別学習支援を実施することで、学力向上、さらには学ぶ意欲向上につながった。また、個別学習支援において出された課題に家庭で取り組むことで、家庭学習習慣の定着につながった。</p> <p>インターネットコンテンツを活用した家庭学習支援を行うことで、生徒が隙間の時間を有効に使いながら、自学自習を進めていくことができた。</p> <p>受講した生徒やその保護者からは、「講師が分かるようになるまで丁寧に教えてくれたので、とても勉強しやすかった。」「学習支援を受けたおかげで、志望校に入学することができました。」等の声が出された。</p> |                  |                                                                                                                                                                           |                |                |                |                |                |
| 評定                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                  | 今後の方向性（Innovation）                                                                                                                                                        |                |                |                |                |                |
| A                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | A: 達成している        | <p>個別学習支援については、より多くの生徒が受けられるよう、対象者を市立全中学生に拡充する。また会場については、多くの生徒が参加しやすいよう、市立全 12 中学校とし、参加者数の増加に向け、周知を図る。</p> <p>インターネットコンテンツによる家庭学習支援についても、より多くの生徒が活用するよう、引き続き周知に努めていく。</p> |                |                |                |                |                |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | B: おおむね達成している    |                                                                                                                                                                           |                |                |                |                |                |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | C: 一部達成であり、課題が残る |                                                                                                                                                                           |                |                |                |                |                |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | D: 達成できていない      |                                                                                                                                                                           |                |                |                |                |                |

## 平成 28 年度における取組状況

|       |           |
|-------|-----------|
| 構成取組⑦ | 少人数教育推進事業 |
|-------|-----------|

| 計画 (Plan)                                                                                                                                                                                                                                                           |                  |                                                                                                                                                    |                |                |                |                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| <p>子どもたちの学力の基礎・基本の定着と主体的な学習習慣の確立を図るため、市独自の少人数教育推進人材を配置し、府費負担の少人数指導加配教員と連携して習熟度別学習やチームティーチング等の指導体制の工夫や教材研究を行うことにより、授業改善を推進する。また、放課後学習において少人数教育推進人材が教員と共に丁寧な個別指導を行う。さらに、少人数教育推進人材の資質向上のため、研修を実施し、よりきめ細かな教科指導を更に進める。</p>                                               |                  |                                                                                                                                                    |                |                |                |                |
| 取組内容 (Do)                                                                                                                                                                                                                                                           |                  |                                                                                                                                                    |                |                |                |                |
| <p><b>少人数教育推進人材の配置</b></p> <p>少人数教育推進人材を各小学校に 1 人、各中学校に 2 人、(平成 28 年度のみ中木田中学校 3 人) 合計 49 人配置。</p> <p>各校において、教員と人材の連携を密にしながら情報共有を行い、学力の基礎・基本の定着のための取組を実施した。また、児童生徒の実態に応じ、個に応じた放課後学習を実施した。</p> <p>人材の資質向上のために、児童生徒理解に基づく具体的な学習支援の方法、少人数授業での指導のポイントなどについて、研修会を行った。</p> |                  |                                                                                                                                                    |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                                                                               | 単位               | 26 年度<br>(実績値)                                                                                                                                     | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| アンケートで「少人数授業、複数教員での授業は分かりやすい」と答えた割合                                                                                                                                                                                                                                 | %                | —                                                                                                                                                  | 80.3           | 82.3           | 83.0           | 84.0           |
| 評価 (Check)                                                                                                                                                                                                                                                          |                  |                                                                                                                                                    |                |                |                |                |
| <p>習熟度別学習やチームティーチングなど、児童生徒の実態に応じたよりきめ細かな学習指導を実施できた。また、各校の課題に応じた問題の作成、放課後学習における教員と連携した丁寧な個別指導等、少人数教育推進人材を効果的に活用し、児童生徒の学習意欲の向上や基礎・基本の学力の定着につながった。</p>                                                                                                                 |                  |                                                                                                                                                    |                |                |                |                |
| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載                                                                                                                                                                                                                              |                  | 今後の方向性 (Innovation)                                                                                                                                |                |                |                |                |
| A                                                                                                                                                                                                                                                                   | A: 達成している        | <p>今後もこの取組を継続し、各校において指導体制の工夫や教材研究を行うことで授業改善を推進し、教員と少人数教育推進人材の連携を密にしたきめ細かな教科指導や放課後学習等により、更なる学力の向上を図っていく。</p> <p>また、人材の資質を向上させ、より効果的な教科指導を進めていく。</p> |                |                |                |                |
|                                                                                                                                                                                                                                                                     | B: おおむね達成している    |                                                                                                                                                    |                |                |                |                |
|                                                                                                                                                                                                                                                                     | C: 一部達成であり、課題が残る |                                                                                                                                                    |                |                |                |                |
|                                                                                                                                                                                                                                                                     | D: 達成できていない      |                                                                                                                                                    |                |                |                |                |

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                                                                                                                                                          |                     |                                                                |                |                |                |                |                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------------------------------------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 構成取組⑧                                                                                                                                                                                                                                                    |                     | 少人数学級推進事業                                                      |                |                |                |                |                |
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                                                                 |                     |                                                                |                |                |                |                |                |
| 市費負担教員を配置して小学３年生を 35 人学級編成にすることで、学級の機能をいかした少人数でのきめ細かな指導により、学習指導・学級指導の充実を図る。                                                                                                                                                                              |                     |                                                                |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                                                                 |                     |                                                                |                |                |                |                |                |
| <div>市費負担教員の配置</div> <p>市費負担教員を小学校に 7 人配置し、全小学校の小学 3 年生を 35 人学級編成にすることで、少人数でのきめ細かな学習指導・学級指導を実施した。</p> <p>（配置校） 7 校</p> <div><div>・北小学校</div><div>・第五小学校</div><div>・成美小学校</div><div>・中央小学校</div><div>・啓明小学校</div><div>・神田小学校</div><div>・和光小学校</div></div> |                     |                                                                |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                                                                    |                     | 単位                                                             | 26 年度<br>（実績値） | 27 年度<br>（実績値） | 28 年度<br>（実績値） | 29 年度<br>（見込値） | 30 年度<br>（見込値） |
| 寝屋川市学習到達度調査における「授業の内容が分かる」の数値（第 3 学年）                                                                                                                                                                                                                    |                     | %                                                              | 82.3           | 84.7           | 86.2           | 87.0           | 88.0           |
| 評価（Check）                                                                                                                                                                                                                                                |                     |                                                                |                |                |                |                |                |
| <p>市費負担教員を配置し、小学 3 年生を 35 人学級編成にすることで、きめ細かな学習指導・学級指導が実施でき、効果として生活面での落ち着きや学習面での基礎・基本の定着が見られた。</p> <p>また、保護者からは、一人一人を丁寧に見てもらい子どもが前向きに学習に取り組んでいる、生活指導面でも安心できるなどの声があった。</p>                                                                                  |                     |                                                                |                |                |                |                |                |
| 評定                                                                                                                                                                                                                                                       |                     | 今後の方向性（Innovation）                                             |                |                |                |                |                |
| 当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載                                                                                                                                                                                                                            |                     |                                                                |                |                |                |                |                |
| A                                                                                                                                                                                                                                                        | A:達成している            | 今後も市費負担講師の資質を向上させ、より効果的な指導を行っていく。また、引き続き成果と課題を検証する中で、更なる充実を図る。 |                |                |                |                |                |
|                                                                                                                                                                                                                                                          | B:おおむね達成している        |                                                                |                |                |                |                |                |
|                                                                                                                                                                                                                                                          | C:一部達成であり、<br>課題が残る |                                                                |                |                |                |                |                |
|                                                                                                                                                                                                                                                          | D:達成できていない          |                                                                |                |                |                |                |                |

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                                                                                                               |                 |                                                               |                |                |                |                |                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 構成取組⑨                                                                                                                                                                                                         |                 | 学力向上支援人材事業                                                    |                |                |                |                |                |
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                      |                 |                                                               |                |                |                |                |                |
| 学力向上を図るためには、効果的な学力向上支援の取組をより一層進めていく必要がある。そのために平成 28 年度より派遣校における「つまずきチェックテスト」を実施し、派遣効果の検証を行うことにより取組内容の改善につなげる。また、継続した取組として人材の資質向上のための研修を行う。小学校では、中間の学習達成状況を確認するための問題を作成実施し、その結果を今後の指導の改善につなげることで、より一層の学力向上を図る。 |                 |                                                               |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                      |                 |                                                               |                |                |                |                |                |
| 学力向上支援人材の派遣                                                                                                                                                                                                   |                 |                                                               |                |                |                |                |                |
| 更なる学力向上を図るため、学力向上支援人材 10 人を必要とする学校に派遣し、国語又は算数・数学において重点的に学習支援を行った。                                                                                                                                             |                 |                                                               |                |                |                |                |                |
| 授業や放課後学習、長期休業中における学習会では、教員や少人数教育推進人材と連携し、課題に応じたよりきめ細かな学習支援を行った。                                                                                                                                               |                 |                                                               |                |                |                |                |                |
| また、少人数教育推進人材との合同研修や効果のある指導方法、各校の取組の情報交換等、学力向上に向けた課題分析と支援の仕方についての研修を実施した。                                                                                                                                      |                 |                                                               |                |                |                |                |                |
| 小学校では、中間の学習達成状況を確認するための問題を作成して、その結果から後半の指導の改善につなげた。また、その問題を全小学校に提供し、学力向上方策を充実させた。さらに、派遣校において、派遣時と派遣終了時の 2 回の「つまずきチェックテスト」の実施し、取組内容と指導の改善につなげた。                                                                |                 |                                                               |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                         |                 | 単位                                                            | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| 派遣校における「つまずきチェックテスト」結果の正答率の伸び<br>(当初と期末)                                                                                                                                                                      |                 | ポイント                                                          | —              | —              | 8.2            | 9.0            | 10.0           |
| 評価（Check）                                                                                                                                                                                                     |                 |                                                               |                |                |                |                |                |
| より効果的な学習指導のために、「つまずきチェックテスト」の実施や人材の資質向上のための研修、小学校における学習達成状況を確認するための問題作成を行い、児童生徒の基礎的・基本的な学力の向上を図ることができた。                                                                                                       |                 |                                                               |                |                |                |                |                |
| 評定                                                                                                                                                                                                            |                 | 今後の方向性（Innovation）                                            |                |                |                |                |                |
| 当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載                                                                                                                                                                                 |                 |                                                               |                |                |                |                |                |
| A                                                                                                                                                                                                             | A:達成している        | 今後も、人材の資質を向上させ、効果的な学力向上支援の取組を進め、派遣校の児童生徒の課題に応じた学力向上方策を実施していく。 |                |                |                |                |                |
|                                                                                                                                                                                                               | B:おおむね達成している    |                                                               |                |                |                |                |                |
|                                                                                                                                                                                                               | C:一部達成であり、課題が残る |                                                               |                |                |                |                |                |
|                                                                                                                                                                                                               | D:達成できていない      |                                                               |                |                |                |                |                |

## 平成 28 年度における取組状況

### 構成取組⑩ 学習到達度調査事業

#### 計画（Plan）

全国学力・学習状況調査の対象学年である小学 6 年生及び中学 3 年生以外（中学 3 年生は英語のみ実施）の市立小中学校の児童・生徒を対象に、各教科の目標を踏まえ、学習内容の習得状況を本市独自の調査として実施する。この調査では、全国規模のデータを基にした結果が示される。その結果を分析し、子ども一人一人の学力向上を目指し、授業改善や家庭学習の充実を図る。

#### 取組内容（Do）

##### 小学 2 年生～5 年生の学習到達度調査の実施・分析

4 月 19 日（火）、市立全小学 2 年生～小学 5 年生の児童合計 7,687 人が国語・算数（各 40 分）を受験した。

##### 中学 1 年生～3 年生の学習到達度調査の実施・分析

4 月 19 日（火）、市立全中学 1 年生～中学 3 年生の生徒合計 5,836 人が国語・数学（中 1・中 2）（45 分）・英語（中 2・中 3）（45 分）・小学校英語定着度調査（中 1）聞き取り問題（20 分）、を受験した。

##### 生活学習意識調査の実施・分析

市立全小学 2 年生～小学 5 年生の児童及び市立全中学 1 年生～中学 3 年生の生徒を対象に、生活学習意識調査を実施した。

各校において、調査の結果から一人一人の子どもの学力について詳しい分析を行い、適切な指導や支援を講じた。また、学校単位や中学校区単位での分析・考察を行い、課題や成果を共有し、授業改善に取り組んだ。

また、学習到達度調査の結果説明会及び学校ごとの分析結果や課題をより簡単に把握でき、個々の課題にも対応した資料作りができる「Web 評価支援システム」活用の研修会を実施した。

| 活動指標等     | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
|-----------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 小学校の平均正答率 | %  | 77.2           | 75.5           | 77.2           | 77.5           | 78.0           |
| 中学校の平均正答率 | %  | 66.4           | 65.4           | 68.7           | 69.0           | 69.5           |

## 取組内容（活動状況）

〈平成 28 年度学習到達度調査における学年教科別正答率の全国平均との比較〉

|          |      | 小 2  | 小 3  | 小 4  | 小 5  | 中 1  | 中 2  | 中 3  |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 国語       | 正答率  | 83.7 | 76.2 | 74.7 | 71.2 | 65.3 | 72.3 | —    |
|          | 全国平均 | 85.1 | 74.5 | 73.1 | 71.4 | 64.8 | 71.9 | —    |
| 算数<br>数学 | 正答率  | 86.3 | 75.2 | 77.7 | 72.0 | 70.9 | 62.4 | —    |
|          | 全国平均 | 86.7 | 72.4 | 75.9 | 68.3 | 72.3 | 60.5 | —    |
| 英語       | 正答率  | —    | —    | —    | —    | 89.6 | 61.2 | 59.4 |
|          | 全国平均 | —    | —    | —    | —    | 90.1 | 64.3 | 61.8 |

## 評価（Check）

これまでの小学校での上昇傾向が、今年度は中学校での伸びにつながっている。中 1 では国語、数学において、中 2 は数学の結果が向上した。

算数・数学では、基礎的な力とともに、活用力も向上してきている。

国語では、基礎学力の安定した定着が見られ、小・中学校ともに「書く力」が向上した。

英語においては、中学 1 年生での「日常会話の理解」等、「聞く力」「話す力」に小学校での英語教育の成果があらわれた。

各校においては、結果について分析し、中学校区にて共有しながら児童生徒の学力向上に向けた研究・実践に取り組んだ。また、研究主任連絡会に情報を提供する中で、各校の研修体制について交流を深め、市全体の学力向上につながった。

今後も、結果説明会及び研修会でのより効果的な情報提供の仕方や、各教科・領域において課題となっている力を身に付けさせるための具体の対策について検討を重ね、研修に取り入れていく必要があると考える。

### 評定

当初の計画に対する進捗や  
評価の内容等を踏まえて記載

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                  |                                                                                                            |
|----------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>B</b> | A: 達成している        | 各学年・教科の課題となっている分野についての具体の対策について、調査・研究活動や教員研修にて取り上げ、成果があった分野については、その要因の分析をすることで、市立全小中学校にて活用できるよう広く周知を図っていく。 |
|          | B: おおむね達成している    |                                                                                                            |
|          | C: 一部達成であり、課題が残る |                                                                                                            |
|          | D: 達成できていない      |                                                                                                            |

## 平成 28 年度における取組状況

### 構成取組⑪ 教育相談事業

#### 計画 (Plan)

子どもが気軽に悩みなどを電話相談できるように、子ども専用フリーダイヤル電話教育相談を実施する。

不登校に関する問題解決の一助のために教育相談連続講座を実施する。

これらの取組を行い市内の教育・子育て・学校生活などに関する悩みを解消する。

#### 取組内容 (Do)

##### 教育相談（電話・来所）の実施及び周知

学校生活や家庭生活に悩みがある児童生徒や保護者、子育てに悩みがある市民、教育活動に悩みがある市立学校園教員を対象に、電話相談（さわやかライン）、来所相談（電話で予約）を実施した。臨床心理士（1人）、教育支援センター担当者が対応に従事した。

##### [教育相談受理件数内訳]

電話相談（さわやかライン）：89 件

登校支援教室・学生相談員派遣：35 件

計 124 件

小学3年生から中学3年生の全児童生徒に、フリーダイヤル子ども専用電話相談カード（電話相談案内カード）を配付した。また、長期休業明けに児童・生徒に電話相談案内カードの活用方法を配付した。保護者にも周知するために、各小・中学校にカード活用方法を配付し、市広報誌にも「電話相談案内カード」の内容について、掲載し周知を図った。平成27年度より、携帯電話からもフリーダイヤルに電話を掛けることができるようになっている。

電話案内相談カード相談件数：8 件

##### 教育相談連続講座の開催

不登校など教育に関する悩みがある保護者や市民を対象に、講演・教育相談を実施した。教育研修センターを会場に、平日の午後2時間程度、年間5回行った。講師として、臨床心理士や教育相談員、社会福祉士、特別支援教育士を招へいし、実施した。

##### [教育相談連続講座の活動状況]

1 回目 6 月 7 日（火）グループカウンセリング

講師 教育研修センター 臨床心理士

参加者数 7 人

|                                           |                                                                                        |
|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 2回目                                       | 7月15日（金）講演「子どもの成長と大人のかかわり」<br>～気になる子への具体的ななかかわりを考える～<br>講師 池田市教育センター 教育相談員<br>参加者数 13人 |
| 3回目                                       | 9月27日（火）グループカウンセリング<br>講師 教育研修センター 臨床心理士<br>参加者数 10人                                   |
| 4回目                                       | 11月14日（月）講演「子どものみかた」<br>～スクールソーシャルワークの視点から～<br>講師 寝屋川市SSW 社会福祉士、特別支援教育士<br>参加者数 11人    |
| 5回目                                       | 1月26日（木）講演「子どもの心の発達」<br>講師 帝塚山学院大学大学院教授 臨床心理士<br>参加者数 10人                              |
| アンケートにおいて、「関わり方や声かけが、よく分かりました。」という感想があった。 |                                                                                        |

| 活動指標等          | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(見込値) | 30年度<br>(見込値) |
|----------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 教育相談実施件数       | 件  | 125           | 115           | 124           | 140           | 145           |
| 教育相談連続講座への参加者数 | 人  | 48            | 35            | 51            | 55            | 60            |

### 評価（Check）

教育相談連続講座に関しては、参加した保護者や市民からは好評であったが、今後も不登校などに関わる悩みがある保護者に対して各小中学校と連携して、周知を図り、参加者を増やす必要がある。

電話相談カードについては、誰にも相談できずに悩んでいた児童・生徒だけでなく、保護者からも相談があり、教育相談やカウンセリングにつながっていくケースもあった。開催場所については、市民が分かりやすいような会場の検討を図った。

| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載 |                  | 今後の方向性（Innovation）                                                                                                                                       |
|----------------------------------------|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>A</b>                               | A: 達成している        | 電話相談カードについては継続して配付し、カードの意味についても、学校でしっかり説明してもらえるようにしていく。<br>教育相談連続講座については、内容を精査して、悩みがある保護者や市民のニーズに応える活動にしていく。<br>開催場所を市民が分かりやすいように教育研修センターから、総合センターへ変更する。 |
|                                        | B: おおむね達成している    |                                                                                                                                                          |
|                                        | C: 一部達成であり、課題が残る |                                                                                                                                                          |
|                                        | D: 達成できていない      |                                                                                                                                                          |



## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |              |                |                |                |                |                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 構成取組⑫                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 教育活動支援人材活用事業 |                |                |                |                |                |
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |              |                |                |                |                |                |
| <p>各小・中学校で選定した教育活動支援人材を教育委員会への申請・登録の後、各校が様々な教育活動の中で講師として活用する。</p> <p>また、人材の専門的知識や技能を児童生徒と共に学ぶことで、教員の指導力や資質向上につなげる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                               |              |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |              |                |                |                |                |                |
| <div>教育活動支援人材の活用</div> <p>開かれた学校づくりへの取組として、小・中学校に、技術を有する地域の方を講師として招き、児童・生徒が卓越した技術や知識・体験等に触れることで、国際化、情報化等の社会変化に主体的に対応して生き抜く力を育むとともに、教員の資質向上を図り、学校の活性化を図った。また、「勉強がもっと分かりたい」、「楽しく学びたい」という児童・生徒の願いに応えるため、一人一人のつまずきの克服、個に応じた指導などに、教育への意欲をもった大学生を小・中学校に派遣した。</p> <p>各学校の取組に応じて、学習指導・体育・読書・音楽・伝統・福祉・国際理解・食育など、様々な人材を講師として招へいした。</p> <p>小・中学校で、延べ約 1,200 回の活用を行った。</p> <p>また、各人材から派遣の都度、学習内容や対象者の報告を受けた。</p> |              |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 単位           | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| 人材の指導を受けた児童生徒の割合                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | %            | 50.0           | 52.0           | 69.0           | 70.0           | 80.0           |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |              |                |                |                |                |                |

| 取組内容（活動状況）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                 |                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>＜教育活動支援人材の主な活動＞</p> <p>【体育】模範泳法、個別指導、実技指導、実技補助</p> <p>【読書】読み聞かせ、読書指導、お話し会</p> <p>【音楽】歌唱指導、器楽指導、コンサート、指導補助</p> <p>【平和】戦時中体験講話</p> <p>【伝統】和太鼓指導、茶道、囲碁、伝承遊び（お手玉、けん玉、カルタなど）</p> <p>【福祉】生涯教育、福祉教育（点字、手話、指文字、障がい者理解教育、高齢者疑似体験、車いす体験）</p> <p>【情報】まとめ学習（新聞作り）、調べ学習（インターネット等）、カレンダー作り、自己紹介カード作成、お絵かき、作図、絵地図</p> <p>【国際理解】国際交流指導（中国・韓国・アメリカ・イギリス・ベトナムなど）</p> <p>【地域理解】校区の移り変わりとお生活の様子</p> <p>【食育】食育指導</p> <p>【学習指導】放課後学習、学習補助（国語・算数・社会・理科・英語等）</p> <p>【その他】絵手紙指導、自然体験学習、キャリア教育、校内環境美化、書道指導、人権教育、園芸指導、支援教育（児童生徒指導補助）</p> |                 |                                                                                               |
| 評価（Check）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                 |                                                                                               |
| <p>各学校の特色ある取組に応じた、教育活動支援人材の活用を通して、児童生徒の学ぶ意欲や、学びの環境の整備が図られた。</p> <p>また、専門的な技術や知識を持つ人材から児童生徒が学ぶことで、新しい分野についての興味や関心を喚起したり、視野を広げることができた。</p> <p>さらに、地域の人材を活用することで地域との連携を深めることもできた。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                 |                                                                                               |
| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                 | 今後の方向性（Innovation）                                                                            |
| <b>A</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | A:達成している        | 今後も、各学校の特色ある取組に応じ、地域との連携も踏まえ、教育活動支援人材の配置を継続していくことで、子どもたちが意欲的で主体的に行動できる力の育成や教員の指導力向上を更に推進していく。 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | B:おおむね達成している    |                                                                                               |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                               |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | D:達成できていない      |                                                                                               |

## 平成 28 年度における取組状況

|       |              |
|-------|--------------|
| 構成取組⑬ | 児童生徒支援人材派遣事業 |
|-------|--------------|

### 計画（Plan）

児童生徒支援人材を 12 中学校区に 24 人配置し、児童生徒の学習面・生活面に関わる様々なサポートを実施する。児童生徒支援人材自身への研修も定期的に行い、資質の向上を図る。

### 取組内容（Do）

#### 児童生徒支援人材の活用

小中学校の生活・生徒指導体制の充実を図ることを目的として、市内の公立小・中学校に配置し、教員指示のもと補助者として児童生徒へのサポートを行い、生活・生徒指導上の諸問題の未然防止や早期解決を図った。

年度当初に各校が実態に応じた活用計画書を作成し、それに基づいた児童生徒支援が行われた。（「朝のあいさつ運動等への参加」「不登校児童生徒に対する家庭訪問の実施」「問題行動等を起こす児童生徒への基本的な生活習慣などに関わるサポート」「学習につまずきのある児童生徒への授業支援や個別学習支援」等）

また、月次報告として、毎日の活動記録と該当月の活動をまとめた報告書（活動内容、成果、課題、次月への展望）の提出により、定期的に活動状況の確認をした。

また、より深く児童・生徒を支援するため「児童・生徒への理解と支援について」、「児童生徒支援人材のよりよい活動について～スクールソーシャルワークの視点から～」等の研修会を実施した。

| 活動指標等     | 単位 | 26 年度<br>(実績値)    | 27 年度<br>(実績値)    | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
|-----------|----|-------------------|-------------------|----------------|----------------|----------------|
| 小学校不登校千人率 | ‰  | 2.2<br>(全国 4.0)   | 2.3<br>(全国 4.3)   | 2.6<br>(集計中)   | 1.9            | 1.8            |
| 中学校不登校千人率 | ‰  | 27.7<br>(全国 28.9) | 28.7<br>(全国 29.6) | 25.7<br>(集計中)  | 24.5           | 24.0           |

| 評価（Check）                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                  |                                                                                                                                                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>児童生徒支援人材が児童生徒に関わるだけでなく、スクールソーシャルワーカーや家庭教育サポーターなどが、教員と密な連携を図ることで、不登校児童生徒が登校できるようになるなどの改善が見られた。また、積極的な家庭訪問により、学校と家庭をつなぐ一助ともなった。担任とは違う視点で児童生徒と関わることで、ケース会議等で生徒指導上重要な役割を果たすことができています。</p> <p>学習面においては、授業や放課後学習の中で、教員や市少人数教育推進人材・学力向上支援人材等と連携しながら個の課題に応じた支援をすることで、児童生徒の学習理解が確実に深まってきている。</p> |                  |                                                                                                                                                   |
| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載                                                                                                                                                                                                                                                 |                  | 今後の方向性（Innovation）                                                                                                                                |
| <b>A</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                   | A: 達成している        | <p>今後も有効な児童生徒支援を行っていくため、管理職を始めとする教員との連携を通して情報を共有し、より個に応じた児童生徒への支援を行う。</p> <p>また、子ども理解を深めたり、具体的な情報共有の方法などについて学んだりするため、児童生徒支援人材への研修を行っていく必要がある。</p> |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                            | B: おおむね達成している    |                                                                                                                                                   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                            | C: 一部達成であり、課題が残る |                                                                                                                                                   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                            | D: 達成できていない      |                                                                                                                                                   |

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                                                 |                   |                |                |                |                |                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 構成取組⑭                                                                                                                                           | スクールソーシャルワーカー配置事業 |                |                |                |                |                |
| 計画（Plan）                                                                                                                                        |                   |                |                |                |                |                |
| 各校のケース会議へのスクールソーシャルワーカーの派遣により、各校のケース会議において、福祉的な視点から助言を行うとともに、ケース会議の定例化を図り、情報共有と関係諸機関との連携を推進する。また、研修を通して教職員の意識の向上やスキルアップを行い、不登校や非行などの問題を未然に防止する。 |                   |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                        |                   |                |                |                |                |                |
| スクールソーシャルワーカーの配置                                                                                                                                |                   |                |                |                |                |                |
| スクールソーシャルワーカーの拠点配置による調査研究及び実践を行い、市の研修において発表する中で、その成果を共有し、各校での取組にいかすことができた。また、ケース会議コーディネーター会を実施し、各校のケース会議コーディネーターの質的な向上と学校としてのスキルアップを図った。        |                   |                |                |                |                |                |
| さらに、各中学校区における虐待防止研修を実施し、虐待事案の早期発見に努めることができた。                                                                                                    |                   |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                           | 単位                | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| 対応件数                                                                                                                                            | 回                 | 200            | 203            | 301            | 355            | 360            |
|                                                                                                                                                 |                   |                |                |                |                |                |

| 評価（Check）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                 |                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>スクールソーシャルワーカーの派遣回数増加により、多くの事案に対応できるようになった。ケース会議におけるスクールソーシャルワーカーの助言が多くのケースの好転につながった。</p> <p>研修に関しても、スクールソーシャルワーカーが講師を務める、全中学校区で実施の全教職員対象虐待防止研修、及び各校のケース会議コーディネーター研修を通して、教員の更なるスキルアップが図られた。</p> <p>各校におけるケース会議が充実し、より広い視野でのアセスメント・プランニングがされるようになった。また関係諸機関との連携が進むとともに、小中連携ケース会議の実施、保育所・幼稚園等との連携も進んだ。</p> <p>結果として、虐待事案の早期発見・早期対応・改善につながった。</p> |                 |                                                                                                                                                                                                                                            |
| <b>評価</b><br>当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                 | 今後の方向性（Innovation）                                                                                                                                                                                                                         |
| <b>B</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | A:達成している        | <p>「チーム学校」として、学校が諸問題に組織での対応、また、関係諸機関と連携していくことが、求められている。そのためにもスクールソーシャルワーカーを効果的に活用しつつ、教職員自身が福祉的な視点を持つことが重要である。今後も、全教職員のスキルアップを図るとともに、核となるコーディネーターの育成を図り、ケース会議の充実を図る。</p> <p>また、日々要望が大きくなるスクールソーシャルワーカーの派遣依頼に対し、拡充を含めた今後の事業展開を検討する必要がある。</p> |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | B:おおむね達成している    |                                                                                                                                                                                                                                            |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                                                                                                                                                                            |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | D:達成できていない      |                                                                                                                                                                                                                                            |

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                                                                                                      |                |                |                |                |                |                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 構成取組⑮                                                                                                                                                                                                | スクールカウンセラー配置事業 |                |                |                |                |                |
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                             |                |                |                |                |                |                |
| <p>スクールカウンセラーを各中学校に 1 人ずつ配置する。中学校を拠点とし、各中学校区において、保護者、児童生徒・教職員の教育相談を行う。</p> <p>また、校区小学校でも活用する中で、相談内容の連続性や、児童、生徒の相談の系統性などを意識したカウンセリングを行う。</p> <p>チーフスクールカウンセラーが中心となり、各スクールカウンセラーの情報共有とスキルアップを図る。</p>   |                |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                             |                |                |                |                |                |                |
| <div>スクールカウンセラーの配置</div> <p>児童生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者的存在として児童生徒が心のゆとりをもてるよう、小学校においてもより一層の活用を進めた。小中での連携が推進されるとともに、相談室等での相談活動、日常的な場面での声掛け等だけでなく、校内研修やケース会議にも参加し、カウンセリング等に関して教職員に対する助言を行った。</p> |                |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                | 単位             | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| スクールカウンセラーの相談延<br>人数                                                                                                                                                                                 | 人              | 4,830          | 3,942          | 4,215          | 4,400          | 4,300          |
|                                                                                                                                                                                                      |                |                |                |                |                |                |

## 取組内容（活動状況）

### < 不登校者数 >

|               | 平成 26 年度     |                | 平成 27 年度     |                | 平成 28 年度    |              |
|---------------|--------------|----------------|--------------|----------------|-------------|--------------|
|               | 小学校          | 中学校            | 小学校          | 中学校            | 小学校         | 中学校          |
| 不登校者数         | 26 人         | 176 人          | 27 人         | 177 人          | 30 人        | 151 人        |
| 不登校 千人率<br>全国 | 2.2<br>(4.0) | 27.7<br>(28.9) | 2.3<br>(4.3) | 28.7<br>(29.5) | 2.6<br>※集計中 | 25.7<br>※集計中 |

※ 平成 28 年度の全国平均は、国がまだ調査結果を公表していないため集計中としている。

### < いじめの認知件数 >

|      |      | 平成 26 年度 |       | 平成 27 年度 |      | 平成 28 年度 |      |
|------|------|----------|-------|----------|------|----------|------|
|      |      | 小学校      | 中学校   | 小学校      | 中学校  | 小学校      | 中学校  |
| 認知件数 | 寝屋川市 | 28 件     | 31 件  | 51 件     | 47 件 | 79 件     | 61 件 |
| 認知件数 | 寝屋川市 | 2.45     | 5.04  | 4.38     | 6.16 | 6.9      | 10.4 |
| 千人率  | 全国   | 19.05    | 16.05 | 23.3     | 17.8 | ※集計中     | ※集計中 |

※ 平成 28 年度の全国平均は、国がまだ調査結果を公表していないため集計中としている。

## 評価（Check）

教職員と連携を図り、不登校の児童生徒への効果的な対応を行うことができた。ケース会議においてもカウンセラーが中心となり、児童生徒のアセスメントを行った。

また、チーフスクールカウンセラーが中心となり、各スクールカウンセラーによる各校での取組の成果や課題を共有でき、資質の向上を図ることができた。

### 評価

当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                  |                                                                                                |
|----------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>A</b> | A: 達成している        | いじめや不登校、また問題行動の未然防止のため、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを軸に教職員と一体になり、「チーム学校」として小・小連携、小・中連携、他機関連携の強化を行う。 |
|          | B: おおむね達成している    |                                                                                                |
|          | C: 一部達成であり、課題が残る |                                                                                                |
|          | D: 達成できていない      |                                                                                                |



## 教育大綱重点取組の総合評価

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |            |                                                                                                  |          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| ① 英検受検料補助事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | B          | ⑨ 学力向上支援人材事業                                                                                     | A        |
| ② 外国人英語講師派遣事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | A          | ⑩ 学習到達度調査事業                                                                                      | B        |
| ③ イングリッシュプレゼンテーションコンテスト                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | A          | ⑪ 教育相談事業                                                                                         | A        |
| ④ 英語村（英語力向上プラン）事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | A          | ⑫ 教育活動支援人材活用事業                                                                                   | A        |
| ⑤ 学園 I C T 化構想事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | B          | ⑬ 児童生徒支援人材派遣事業                                                                                   | A        |
| ⑥ 中学校休業日等学習支援事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | A          | ⑭ スクールソーシャルワーカー配置事業                                                                              | B        |
| ⑦ 少人数教育推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | A          | ⑮ スクールカウンセラー配置事業                                                                                 | A        |
| ⑧ 少人数学級推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | A          | ⑯                                                                                                |          |
| 上記については、重点取組内の構成取組における評価を記入し、評価平均を計算。<br><b>評価点数</b><br><u>A = 5</u> 、 <u>B = 3</u> 、 <u>C = 2</u> 、 <u>D = 1</u>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |            | 総合評価基準<br>A：取組評価平均 4.0 以上<br>B：取組評価平均 2.5 以上 4.0 未満<br>C：取組評価平均 1.5 以上 2.5 未満<br>D：取組評価平均 1.5 未満 |          |
| <b>評価平均</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <b>4.5</b> | <b>総合評価</b>                                                                                      | <b>A</b> |
| <b>アドバイザーからの意見</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |            |                                                                                                  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学生の不登校については、以前は中一ギャップが取りざたされていたが、小学生の早い段階からアプローチする視点が重要であり、検証を進めていく必要がある。</li> <li>・ 中学校休業日等学習支援事業については、非常に良い取組であり、インターネットコンテンツにおいても多く利用されている。今後も利用促進のための広報と、事業の成果を市民の方々に P R する必要がある。</li> <li>・ 教育相談事業については、他市の相談件数から比較しても、事業が活用されていると判断できるが、相談する機会を拡充するためにも、相談受付に S N S 等を利用するなど、先進事例の調査研究を進めていただきたい。</li> </ul>                                                                           |            |                                                                                                  |          |
| <b>総 合 評 価</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |            |                                                                                                  |          |
| <p>ICT 機器の充実や少人数教育推進人材等の活用により、きめ細かな指導が充実し、学ぶ習慣や学習意欲の向上につながった。また、中学校休業日等学習支援事業等を活用した、家庭学習の定着のための支援を行うことで、家庭学習習慣の意識向上につながり、児童生徒の学力にも着実に成果が表れている。</p> <p>外国人英語講師の配置や、英語村の取組により、各小中学校の授業改善が進み児童生徒が更に英語に興味を持ったり、英語を使つてのコミュニケーションに自信を持って取り組んだりできるようになった。</p> <p>また、「チーム学校」として、教職員と各支援人材、家庭・地域、更には「こどもを守る課」等の庁内連携や関係機関との連携を進めることで、いじめや不登校、問題行動等の未然防止につながるとともに、各校の特色ある取組を推進することができた。</p> <p>今後は、各事業を効果的に連動させていく中で、児童生徒の自ら学ぶ力の育成を図っていく必要がある。</p> |            |                                                                                                  |          |

### 3 特色ある就学前教育の推進

|                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| <b>教育大綱重点取組</b> | <b>特色ある就学前教育の推進</b> |
|-----------------|---------------------|

### 教育大綱重点取組を推進する体制(構成取組)

|               |              |           |
|---------------|--------------|-----------|
| ①特色ある幼稚園づくり事業 | ②子育てステップ活用事業 | ③地域人材活用事業 |
|               |              |           |
|               |              |           |
|               |              |           |
|               |              |           |

### 平成 28 年度決算(見込み)

|         |    |          |
|---------|----|----------|
| 取組に係る費用 | 単位 | 平成 28 年度 |
| 事業費     | 千円 | 549      |

### 教育大綱実施計画における取組概要(平成 27 年度～30 年度)

異年齢交流や年齢に応じた体力づくり等を推進する「特色ある幼稚園づくり事業」や、幼児の成長と保護者の子育てを支援する「子育てステップ」の活用、地域社会との連携を深める「地域人材活用事業」の実施などにより、特色ある就学前教育を推進する。

### 教育大綱実施計画における取組の方向性(目標)(平成 27 年度～30 年度)

教育・保育関係機関、家庭、地域との連携の下、幼児一人一人の発達過程における特徴、課題に応じた教育の充実と小学校への円滑な接続を図る。

### 成果・効果等を表す取組指標

| 指標名                             | 単位       | 平成 28 年度     |              |                                                           |
|---------------------------------|----------|--------------|--------------|-----------------------------------------------------------|
|                                 |          | 目標値          | 実績値          | 達成度コメント                                                   |
| <b>園行事等への未就園児・保護者・地域の方の参加者数</b> | <b>人</b> | <b>6,800</b> | <b>6,802</b> | 特色ある幼稚園づくりや地域人材活用事業を通して幼稚園が保護者、未就園児等にとって、交流の場、学びの場となっている。 |
|                                 |          |              |              |                                                           |

## 平成 28 年度における取組状況

| 構成取組①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  | 特色ある幼稚園づくり事業 |                |                |                |                |                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |              |                |                |                |                |                |
| <p>平成 28 年度から 2 年間、北幼稚園において、園児とその保護者、未就園児親子と一緒に、共に育つ喜びを共感しあえる場を提供し開かれた幼稚園づくりを目的とした指定研究事業を行う。</p> <p>「スマイルデー」～みんなであそぼう～と題して、運動遊びを中心に据え、基礎体力や運動能力を培う（パワフルキッズ）と同時に伝統的な遊びや製作遊び（親子でチャレンジ）など、遊びの伝承につなげる。</p> <p>また、未就園児に楽しんで続けてきてもらえるように「出席カード」と「パワフルキッズカード」を作成する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |              |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |              |                |                |                |                |                |
| <div>特色ある幼稚園づくり事業の実施</div> <p>○北幼稚園における指定研究事業の取組（スマイルデー）</p> <div><div>1. 方法</div><div><ul style="list-style-type: none"><li>・ 毎月第 2 火曜日</li><li>・ 未就園児親子、園児、園児保護者が一緒に集い、運動遊び、伝承遊びを楽しむ</li><li>・ 未就園児の「出席カード」「パワフルキッズカード」の作成</li></ul></div></div> <div><div>2. 計画・内容</div><div><ul style="list-style-type: none"><li>・ パワフルキッズ（運動・表現）遊び<ul style="list-style-type: none"><li>「サーキット・リズム体操・外部講師による運動遊び」</li></ul></li><li>・ 親子でチャレンジ（伝承遊び・製作遊び）<ul style="list-style-type: none"><li>「こま・おてだま・あやとり・けん玉・三つ編みなど」</li></ul></li></ul></div></div> <p>○他 4 園における特色ある幼稚園づくりの取組</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 中央幼稚園・・・「ハッピータイム」～未就園児との交流・体力づくりを目指して～とし、様々な人とのふれあいをとおして、人とかかわる力を育てる活動に取り組んだ。</li><li>・ 南幼稚園・・・「レッツトライ・チャレンジ」として運動遊び・伝承遊び・ごっこ遊びの 3 つの柱を中心にラグビー体験を取り入れた活動に取り組んだ。</li><li>・ 神田幼稚園・・・「レッツ・チャレンジ！～パワー全開 神田っ子～」として、丈夫な体と心を育てるために、多様な動きが経験できる運動遊び活動に取り組んだ。</li><li>・ 啓明幼稚園・・・「みんなでチャレンジ！！パワフルタイム」として、体と心の成長のために、運動遊びや、伝承遊びの技みがきに取り組んだ。</li></ul> |  |              |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  | 単位           | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| 寝屋川市立幼稚園保護者アンケートにおける幼稚園での教育活動に対する満足度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  | %            | 80.0           | 85.0           | 85.5           | 88.0           | 90.0           |

| 評価（Check）                                                                                                                                                                                   |                 |                                                                                                                  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>「スマイルデー」での運動遊び・伝承遊びをとおして子ども同士、親子関係、異年齢でのかかわりが自然な形でできる「関係づくり」の役割を果たすとともに、園児、未就園児の保護者交流を促すことで、子育て支援を行うことができた。</p> <p>また、各園それぞれの取組について情報共有を行うことで、質の向上を図ることができているが、更に小学校との連携を進めていく必要がある。</p> |                 |                                                                                                                  |
| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載                                                                                                                                                      |                 | 今後の方向性（Innovation）                                                                                               |
| <b>B</b>                                                                                                                                                                                    | A:達成している        | <p>各園の活動状況や成果について、園長会や教育研究会等で情報交換を行い、今後も全園で共有し、地域の人との関わりや様々なふれあい体験を充実させていくとともに、体力づくり等、小学校との連続性を意識した取組を進めていく。</p> |
|                                                                                                                                                                                             | B:おおむね達成している    |                                                                                                                  |
|                                                                                                                                                                                             | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                                                  |
|                                                                                                                                                                                             | D:達成できていない      |                                                                                                                  |

## 平成 28 年度における取組状況

|       |             |
|-------|-------------|
| 構成取組② | 子育てステップ活用事業 |
|-------|-------------|

### 計画（Plan）

子育てについて幼稚園と家庭が連携を図り、子どもの姿を明確にし、一人一人の個性をいかしながら発達の方角性を共有するために、「子育てステップ」を活用する。入園から就学までの2年間にわたり、「子どもの成長」と「親育ち」を共に支援し、幼児一人一人の発達にに応じた、より豊かな成長を促していく。

### 取組内容（Do）

#### 懇談や教育相談での「子育てステップ」の活用

##### ○「子どもの成長」の支援

保護者が5月に記入した「わが子をどのような子どもに育てたいか」という項目と、5つの領域（健康・人間関係・環境・言語・表現）に基づいたそれぞれの項目に沿って子どもの様子を記入し、その内容を基に、その後、年2回（7月、11月）実施の懇談会や必要に応じて実施する保育相談において、保護者と幼稚園が一緒になって、子どもの成長や、今後の課題を共有した。

##### ○「親育ち」の支援

保護者の子育ての喜びや悩みを「子育て真っ最中」の項目に沿って振り返ることを切っ掛けにして、子育て支援につなげた。

| 活動指標等                                          | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(見込値) | 30年度<br>(見込値) |
|------------------------------------------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 「子育てステップ」において「子育てによって自分も成長している」と肯定的に回答した保護者の割合 | %  | —             | 89.0          | 89.1          | 91.0          | 92.0          |

### 評価（Check）

懇談会等で、一つ一つの項目に沿って、園と保護者が子どもの育ちを共有しながら今後の子育て支援の方角性を確認していくことで、幼児一人一人の発達に応じた成長や保護者の子育てへの効果的な支援につながった。

| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載 |                  | 今後の方向性（Innovation）                                                                       |
|--------------------------------------------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>B</b>                                   | A: 達成している        | 今後も、園と保護者が子どもの育ちを共有し、子どもの成長を一つ一つ確認しながら保護者の子育て支援ができるよう、また小学校への円滑な接続を促すよう「子育てステップ」を活用していく。 |
|                                            | B: おおむね達成している    |                                                                                          |
|                                            | C: 一部達成であり、課題が残る |                                                                                          |
|                                            | D: 達成できていない      |                                                                                          |

## 平成 28 年度における取組状況

|       |          |
|-------|----------|
| 構成取組③ | 地域人材活用事業 |
|-------|----------|

### 計画（Plan）

幼稚園外の専門的な技術や知識を持った人材を幼稚園に招へいし、運動遊び、音楽活動、英語活動、伝承遊び等での学びの場や園外の人との交流の場をつくり、幼稚園・家庭・地域社会の連携を強化する。

### 取組内容（Do）

#### 学びの場・交流の場の開催

幼稚園外の専門的な技術や知識を持った人材を幼稚園に招へいし、運動遊び、音楽活動、英語活動、伝承遊び等での学びの場や園外の人との交流の場を設定した。

| 園名 | 主な活動内容                 |
|----|------------------------|
| 北  | 音楽活動・ピラティス             |
| 中央 | 運動遊び・人形劇               |
| 南  | 英語活動・ラグビー体験            |
| 神田 | 英語活動・運動遊び・人形劇・絵本の読み聞かせ |
| 啓明 | 運動遊び・人形劇               |

学びの場・交流の場には、園児の他に、保護者、未就園児、保育所園児、地域の方の参加を募り、幼稚園・家庭・地域社会の連携の推進を図った。

| 活動指標等           | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
|-----------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 学びの場・交流の場への参加人数 | 人  | 1,118          | 2,146          | 2,572          | 2,600          | 2,600          |
|                 |    |                |                |                |                |                |

| 評価（Check）                                                                                                                                   |                 |                                                                                                                                  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>園児は、幼稚園外の専門的な技術や知識をもった人材から学ぶことにより、日常生活の中では得難い知識や経験等を得ることができた。</p> <p>また、園児のみならず、保護者、未就園児などの交流の場、学びの場となっており、幼稚園・家庭・地域社会との連携を図ることができた。</p> |                 |                                                                                                                                  |
| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載                                                                                                  |                 | 今後の方向性（Innovation）                                                                                                               |
| <b>A</b>                                                                                                                                    | A:達成している        | <p>子どもたちが、少子高齢化・国際化等の社会変化に対応し、主体的に生きていくための素質や能力を身に付けるため、専門的な技術や知識を学ぶとともに、保護者や地域住民等に信頼される幼稚園づくりを進めるための交流・学びの場としての機能を一層強化していく。</p> |
|                                                                                                                                             | B:おおむね達成している    |                                                                                                                                  |
|                                                                                                                                             | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                                                                  |
|                                                                                                                                             | D:達成できていない      |                                                                                                                                  |



## 教育大綱重点取組の総合評価

|                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |                                                                                                  |   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| ①特色ある幼稚園づくり事業                                                                                                                                                                                                                                                        | B   | ⑨                                                                                                |   |
| ②子育てステップ活用事業                                                                                                                                                                                                                                                         | B   | ⑩                                                                                                |   |
| ③地域人材活用事業                                                                                                                                                                                                                                                            | A   | ⑪                                                                                                |   |
| ④                                                                                                                                                                                                                                                                    |     | ⑫                                                                                                |   |
| ⑤                                                                                                                                                                                                                                                                    |     | ⑬                                                                                                |   |
| ⑥                                                                                                                                                                                                                                                                    |     | ⑭                                                                                                |   |
| ⑦                                                                                                                                                                                                                                                                    |     | ⑮                                                                                                |   |
| ⑧                                                                                                                                                                                                                                                                    |     | ⑯                                                                                                |   |
| 上記については、重点取組内の構成取組における評価を記入し、評価平均を計算。<br>評価点数<br><u>A = 5</u> 、 <u>B = 3</u> 、 <u>C = 2</u> 、 <u>D = 1</u>                                                                                                                                                           |     | 総合評価基準<br>A：取組評価平均 4.0 以上<br>B：取組評価平均 2.5 以上 4.0 未満<br>C：取組評価平均 1.5 以上 2.5 未満<br>D：取組評価平均 1.5 未満 |   |
| 評価平均                                                                                                                                                                                                                                                                 | 3.7 | 総合評価                                                                                             | B |
| アドバイザーからの意見                                                                                                                                                                                                                                                          |     |                                                                                                  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者が育児に関する知識をスマートフォンから得ることが多くなった時代に、人と関わりを持って子育てのサポートを行う事業の重要性は高まっている。</li> <li>・ 教育委員会の所管外である保育所等を含めた就学前を対象とした広い視点で取組を進めていただきたい。</li> </ul>                                                                                |     |                                                                                                  |   |
| 総 合 評 価                                                                                                                                                                                                                                                              |     |                                                                                                  |   |
| <p>絵本の読み聞かせや遊び、スポーツを通じた小学生と園児との交流等の対象学年を広げるなどの推進を図った。今後も、他の幼稚園や小中学生、未就園児、地域の方と計画的に交流を行うことで、心の成長につなげていく。</p> <p>また、「保育所園・こども園・幼稚園連携の集い」、「教育研究員活動」等により教員の連携及び情報共有を通して、小学校への円滑な接続にさらにつなげられるよう取組んでいく。</p> <p>今後の公立幼稚園の在り方については、子ども子育て支援の観点から、関係部局と調整を図りながら、検討を行っていく。</p> |     |                                                                                                  |   |

## 4 教育環境の支援・充実

|                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| <b>教育大綱重点取組</b> | <b>教育環境の支援・充実</b> |
|-----------------|-------------------|

### 教育大綱重点取組を推進する体制(構成取組)

|             |                    |            |
|-------------|--------------------|------------|
| ①小学校給食運営事業  | ②小学校調理業務委託事業       | ③中学校給食運営事業 |
| ④義務教育就学援助事業 | ⑤私立幼稚園就園奨励費補助金支給事業 | ⑥通学路安全対策事業 |
|             |                    |            |
|             |                    |            |
|             |                    |            |

### 平成 28 年度決算(見込み)

|         |    |           |
|---------|----|-----------|
| 取組に係る費用 | 単位 | 平成 28 年度  |
| 事業費     | 千円 | 1,168,044 |

### 教育大綱実施計画における取組概要(平成 27 年度～30 年度)

経済的事情によって幼稚園、小学校、中学校への就学(園)が困難な子どもの保護者に対して必要な援助を行い、より円滑な就学(園)を支援するとともに、通学路の安全対策の実施や栄養バランスのとれたおいしい学校給食の提供により子どもたちの安全と健康をサポートする。

### 教育大綱実施計画における取組の方向性(目標)(平成 27 年度～30 年度)

国、大阪府等の状況を踏まえ、小中学生の就学援助や公私立幼稚園の就園支援の拡充等に取り組み、保護者の負担軽減を図るとともに、栄養バランスのとれた学校給食の提供や関係機関と連携した児童生徒への通学安全対策を行い、子どもたちの学びを支える教育環境の充実を図る。

### 成果・効果等を表す取組指標

| 指標名                                   | 単位        | 平成 28 年度  |           |                                      |
|---------------------------------------|-----------|-----------|-----------|--------------------------------------|
|                                       |           | 目標値       | 実績値       | 達成度コメント                              |
| <b>通学路安全対策<br/>(カラー舗装)施<br/>工総箇所数</b> | <b>箇所</b> | <b>67</b> | <b>70</b> | 各小学校、関係機関と調整し、予定箇所にカラー舗装を施工することができた。 |
|                                       |           |           |           |                                      |

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                    |                 |                                                                                  |               |               |               |               |               |
|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 構成取組①                                                                              |                 | 小学校給食運営事業                                                                        |               |               |               |               |               |
| 計画（Plan）                                                                           |                 |                                                                                  |               |               |               |               |               |
| 安全・安心な給食提供のため、各小学校の給食施設・設備の状況などを的確に把握、改善するとともに、食物アレルギーをもつ児童への対応も考慮し、安全・衛生管理の徹底を図る。 |                 |                                                                                  |               |               |               |               |               |
| 取組内容（Do）                                                                           |                 |                                                                                  |               |               |               |               |               |
| 給食施設・設備の改修                                                                         |                 |                                                                                  |               |               |               |               |               |
| 各小学校の給食施設・設備の修繕などを実施するとともに、給食用備品なども更新し、安全・衛生環境の改善と円滑な給食運営を図った。                     |                 |                                                                                  |               |               |               |               |               |
| 学校給食費助成事業の実施                                                                       |                 |                                                                                  |               |               |               |               |               |
| 学校給食費助成事業の実施に向けて、給食費の第3子目以降の無償化、費用対効果などの課題を整理するとともに、他市の状況等の調査に取り組んでいる。             |                 |                                                                                  |               |               |               |               |               |
| 給食施設・設備の経年劣化などの不具合に対して、「学校給食衛生管理基準」に基づき、適切に対応した。                                   |                 |                                                                                  |               |               |               |               |               |
| 活動指標等                                                                              |                 | 単位                                                                               | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(見込値) | 30年度<br>(見込値) |
| アレルギー対応の食数                                                                         |                 | 食                                                                                | 501           | 465           | 468           | 474           | 450           |
|                                                                                    |                 |                                                                                  |               |               |               |               |               |
| 評価（Check）                                                                          |                 |                                                                                  |               |               |               |               |               |
| 給食施設・設備の経年劣化などに伴う改修、調理器具の修繕などを実施することによって、安全・安心な給食を提供することができた。                      |                 |                                                                                  |               |               |               |               |               |
| 効率的かつ適切な給食施設・設備の維持管理を図り、食物アレルギーをもつ児童への対応も含めて、適切に対応できた。                             |                 |                                                                                  |               |               |               |               |               |
| 評定                                                                                 |                 | 今後の方向性（Innovation）                                                               |               |               |               |               |               |
| 当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載                                                          |                 |                                                                                  |               |               |               |               |               |
| A                                                                                  | A:達成している        | 安全・安心な給食を提供するため、「学校給食衛生管理基準」に基づき、安全・衛生環境及び円滑な給食運営を実施するため、給食施設・設備の適切な維持管理・効率化を図る。 |               |               |               |               |               |
|                                                                                    | B:おおむね達成している    |                                                                                  |               |               |               |               |               |
|                                                                                    | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                  |               |               |               |               |               |
|                                                                                    | D:達成できていない      |                                                                                  |               |               |               |               |               |

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                  |             |                |                |                |                |                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 構成取組②                                                                                                            | 小学校調理業務委託事業 |                |                |                |                |                |
| 計画（Plan）                                                                                                         |             |                |                |                |                |                |
| 安心・安全な学校給食の提供及び将来にわたり安定した小学校給食の管理運営を行うため、小学校給食調理業務委託化計画を基に、民間委託の拡大を図る。                                           |             |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                         |             |                |                |                |                |                |
| <div>給食調理業務委託事業計画の策定</div> <p>小学校給食調理業務委託事業の拡大に向け、給食調理業務委託事業計画を策定することができた。</p>                                   |             |                |                |                |                |                |
| <div>給食調理業務委託事業の実施</div> <p>三井小学校、石津小学校の調理業務委託を継続的に実施した。</p> <p>安心・安全な学校給食の提供及び将来にわたり安定した小学校給食の管理運営に取り組んでいる。</p> |             |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                            | 単位          | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| 学校給食調理員の正職員数                                                                                                     | 人           | 34             | 31             | 29             | 28             | 23             |
|                                                                                                                  |             |                |                |                |                |                |

| 取組内容（活動状況）                                            |                 |                                                     |       |
|-------------------------------------------------------|-----------------|-----------------------------------------------------|-------|
| ＜委託の実施状況（予定を含む）＞                                      |                 |                                                     |       |
| 開始年度                                                  | 実施数             | 実施小学校名                                              | 累計実施数 |
| 平成 21 年度～                                             | 2 校             | 楠根、梅が丘                                              | 2 校   |
| 平成 22 年度～                                             | 2 校             | 三井、石津                                               | 4 校   |
| 平成 23 年度～                                             | 2 校             | 西、堀溝                                                | 6 校   |
| 平成 26 年度～                                             | 3 校             | 成美、桜、国松緑丘                                           | 9 校   |
| 平成 27 年度～                                             | 3 校             | 中央、神田、田井                                            | 12 校  |
| 平成 30 年度～                                             | 3 校             | 啓明、木田、宇谷                                            | 15 校  |
| 平成 31 年度～                                             | 1 校             | 明和                                                  | 16 校  |
| 平成 34 年度～                                             | 2 校             | 北、点野                                                | 18 校  |
| 評価（Check）                                             |                 |                                                     |       |
| 全ての委託校において、他の直営校と同様に衛生管理の徹底を図り、安全・安心な学校給食を提供することができた。 |                 |                                                     |       |
| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載                |                 | <b>今後の方向性（Innovation）</b>                           |       |
| <b>A</b>                                              | A:達成している        | 小学校給食調理業務委託計画を基に、引き続き将来にわたり、安定した小学校給食の管理運営を図る必要がある。 |       |
|                                                       | B:おおむね達成している    |                                                     |       |
|                                                       | C:一部達成であり、課題が残る |                                                     |       |
|                                                       | D:達成できていない      |                                                     |       |

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                                          |                 |                                                                                           |               |               |               |               |               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 構成取組③                                                                                                                                    |                 | 中学校給食運営事業                                                                                 |               |               |               |               |               |
| 計画（Plan）                                                                                                                                 |                 |                                                                                           |               |               |               |               |               |
| 中学校給食を民間調理場活用方式で行い、栄養バランスの摂れた給食の提供と食育の推進を図る。                                                                                             |                 |                                                                                           |               |               |               |               |               |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                 |                 |                                                                                           |               |               |               |               |               |
| <div>調理業務委託</div> <p>学校、委託事業者及び栄養職員と随時連携を図り、栄養バランスのとれた給食提供に取り組み、また食に関する指導の推進に努めた。</p> <p>また、温かい給食の提供を含め、中学校給食在り方について検討を行っている。</p>        |                 |                                                                                           |               |               |               |               |               |
| <div>学校給食費助成事業の実施</div> <p>学校給食費助成事業の実施に向けて、給食費の第3子目以降の無償化、費用対効果などの課題を整理するとともに、他市の状況等の調査に取り組んでいる。</p> <p>安全・安心な学校給食の提供に向けて、日々改善に努めた。</p> |                 |                                                                                           |               |               |               |               |               |
| 活動指標等                                                                                                                                    |                 | 単位                                                                                        | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(見込値) | 30年度<br>(見込値) |
| アレルギー対応の食数                                                                                                                               |                 | 食                                                                                         | 214           | 244           | 238           | 230           | 220           |
|                                                                                                                                          |                 |                                                                                           |               |               |               |               |               |
| 評価（Check）                                                                                                                                |                 |                                                                                           |               |               |               |               |               |
| 学校及び調理業務委託事業者と密に連携を図り、日々改善に努め、栄養バランスのとれた中学校給食を提供することができた。                                                                                |                 |                                                                                           |               |               |               |               |               |
| 評定<br>当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載                                                                                                      |                 | 今後の方向性（Innovation）                                                                        |               |               |               |               |               |
| A                                                                                                                                        | A:達成している        | 中学校給食の運営に当たり、温かい給食提供を含め、給食の方式、提供の方法、中学校給食の在り方について、関係者等と意見・情報の交換を行い、安全・安心なおいしい中学校給食の提供を図る。 |               |               |               |               |               |
|                                                                                                                                          | B:おおむね達成している    |                                                                                           |               |               |               |               |               |
|                                                                                                                                          | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                           |               |               |               |               |               |
|                                                                                                                                          | D:達成できていない      |                                                                                           |               |               |               |               |               |

## 平成 28 年度における取組状況

| 構成取組④                                                                                                                                                                                    |    | 義務教育就学援助事業     |                |                |                |                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                 |    |                |                |                |                |                |
| 経済的事情により就学が困難な児童生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図るとともに、国による「就学援助実施状況調査」の結果や子どもの貧困といった社会情勢等を踏まえ、認定基準額の変更等を行う中で、適切な事務執行を行う。                                                                  |    |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                 |    |                |                |                |                |                |
| <div>就学援助認定基準額の引上げ</div> <p>平成 25 年 8 月に実施された生活保護基準の見直しに伴う本制度への影響がないよう、平成 25 年 8 月以前の生活保護基準を認定基準額の算定に使用するとともに、国による「就学援助実施状況調査」の結果や子どもの貧困といった社会情勢を踏まえ、算定に要する「係数」の変更を含めた認定基準額の引上げを行った。</p> |    |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                    | 単位 | 26 年度<br>（実績値） | 27 年度<br>（実績値） | 28 年度<br>（実績値） | 29 年度<br>（見込値） | 30 年度<br>（見込値） |
| 就学援助認定率                                                                                                                                                                                  | %  | 24.7           | 23.8           | 23.7           | 25.0           | 25.0           |
|                                                                                                                                                                                          |    |                |                |                |                |                |



## 取組内容（活動状況）

＜義務教育就学援助認定状況＞

（人員の単位：人）

|     | 平成 26 年度 |       | 平成 27 年度 |       | 平成 28 年度 |       |
|-----|----------|-------|----------|-------|----------|-------|
|     | 人員       | 認定率   | 人員       | 認定率   | 人員       | 認定率   |
| 小学校 | 2,812    | 23.8% | 2,624    | 22.5% | 2,562    | 22.4% |
| 中学校 | 1,687    | 26.6% | 1,621    | 26.3% | 1,523    | 25.9% |
| 合計  | 4,499    | 24.7% | 4,245    | 23.8% | 4,085    | 23.7% |

※平成 28 年度は、平成 27 年度に比べて同程度で推移しており、その割合は 4 人に 1 人程度であり、高止まりの傾向にある。

## 評価（Check）

年度当初の申請者の認否決定を行い、経済的事情によって就学が困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助費を支給することにより、義務教育の円滑な実施に向けた児童生徒の就学支援が適切に図れた。

### 評定

当初の計画に対する進捗や  
評価の内容等を踏まえて記載

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                  |                                                                                  |
|----------|------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| <b>B</b> | A: 達成している        | 今後も支給事務等を的確に行い、就学支援を図るほか、小学 1 年生及び中学 1 年生に対する入学準備金の支給を前年度の 3 月に支給できるよう、調査・研究を行う。 |
|          | B: おおむね達成している    |                                                                                  |
|          | C: 一部達成であり、課題が残る |                                                                                  |
|          | D: 達成できていない      |                                                                                  |

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                   |                |                |                |                |                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 構成取組⑤                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 私立幼稚園就園奨励費補助金支給事業 |                |                |                |                |                |
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                   |                |                |                |                |                |
| 国の状況等を踏まえ、私立幼稚園に通園する園児を対象に補助金の交付を行い、私立幼稚園における教育に係る保護者の経済的負担の軽減を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                   |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                   |                |                |                |                |                |
| <div>ひとり親世帯等の保護者負担の軽減</div> <p>ひとり親世帯等の市民税非課税世帯及び市民税所得割非課税世帯の第 1 子から無償化とし、市民税所得割課税額 77,100 円以下の世帯に対しては就園奨励費補助金を増額した。</p> <div>多子世帯における保護者負担軽減</div> <p>年収約 360 万円までの世帯について、多子計算の算定対象の年齢制限を完全に撤廃し、年齢に関わらず多子計算の算定対象とした。</p> <p>※多子計算の算定対象となる範囲は、保護者と生計を一にする者。</p> <p>※従来の年齢制限は、小学校 3 年生以下の兄弟を対象とする。</p> <p>幼稚園教育の一層の普及充実を図るため、市在住者で私立幼稚園に通園の満 3 歳から 5 歳児を有する経済的に就園が困難な世帯に対し、幼稚園保育料の補助金の交付を行い、経済的負担の軽減を図った。</p> |                   |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 単位                | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| 私立幼稚園就園奨励費補助金<br>認定率                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | %                 | 89.9           | 90.8           | 88.9           | 90.7           | 90.7           |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                   |                |                |                |                |                |

| 取組内容（活動状況）                                                                                |                 |                                                                    |          |          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------|----------|----------|
| ＜私立幼稚園（補助金交付）認定状況＞                                                                        |                 |                                                                    |          |          |
|                                                                                           | 平成 25 年度        | 平成 26 年度                                                           | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
| 認定者数                                                                                      | 2,130 人         | 2,264 人                                                            | 2,106 人  | 2,081 人  |
| 認定率                                                                                       | 83.1%           | 89.9%                                                              | 90.8%    | 88.9%    |
|                                                                                           |                 |                                                                    |          |          |
| 評価（Check）                                                                                 |                 |                                                                    |          |          |
| <p>国の状況等を踏まえ、私立幼稚園に通園する園児を対象に補助金の交付を行うことで、多子世帯や経済的に就園が困難な世帯に対し、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。</p> |                 |                                                                    |          |          |
| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載                                                    |                 | <b>今後の方向性（Innovation）</b>                                          |          |          |
| <b>A</b>                                                                                  | A:達成している        | 国の状況等を踏まえ、私立幼稚園に通園する園児を対象に補助金の交付を行い、私立幼稚園における教育に係る保護者の経済的負担の軽減を図る。 |          |          |
|                                                                                           | B:おおむね達成している    |                                                                    |          |          |
|                                                                                           | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                    |          |          |
|                                                                                           | D:達成できていない      |                                                                    |          |          |

## 平成 28 年度における取組状況

| 構成取組⑥                                                                                                                             |  | 通学路安全対策事業 |                |                |                |                |                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 計画（Plan）                                                                                                                          |  |           |                |                |                |                |                |
| 通学路交通安全対策検討委員会を開催し、関係機関と通学路の安全対策を検討するとともに、児童の登下校時の安全確保を推進するため、小学校の通学路の路側帯や横断歩道の必要箇所にカラー舗装を施工する。<br>学童交通指導員（69 人）を配置し、児童の通学の安全を図る。 |  |           |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                          |  |           |                |                |                |                |                |
| 通学路のカラー舗装の施工                                                                                                                      |  |           |                |                |                |                |                |
| 各小学校からの要望をもとに通学路交通安全対策検討委員会を開催し、道路管理者や警察と共にカラー舗装の施工箇所の検討を行い、平成 28 年 9 月下旬～11 月初旬・平成 29 年 2 月上旬～3 月中旬の 2 期に分けて施工した。                |  |           |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                             |  | 単位        | 26 年度<br>（実績値） | 27 年度<br>（実績値） | 28 年度<br>（実績値） | 29 年度<br>（見込値） | 30 年度<br>（見込値） |
| 路側帯のカラー舗装（グリーンベルト）総施工距離                                                                                                           |  | m         | 259            | 6,670          | 7,541          | 7,760          | 8,000          |
|                                                                                                                                   |  |           |                |                |                |                |                |

| 取組内容（活動状況）           |          |          |          |          |       |
|----------------------|----------|----------|----------|----------|-------|
| ＜カラー舗装施工内容＞          |          |          |          |          |       |
|                      | 25 年度    | 26 年度    | 27 年度    | 28 年度    | 累計    |
| 小学校区                 | 1        | 2        | 24       | 17       | －     |
| グリーンベルト<br>施工距離（m）   | 0        | 259      | 6,411    | 871      | 7,541 |
| 横断歩道<br>（件）          | 4        | 4        | 8        | 29       | 45    |
| 施工箇所数<br>（箇所）        | 1        | 2        | 33       | 34       | 70    |
| ＜通学路交通安全対策検討委員会開催状況＞ |          |          |          |          |       |
|                      | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |       |
| 開催回数（回）              | 2        | 3        | 4        | 3        |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |
|                      |          |          |          |          |       |

## 教育大綱重点取組の総合評価

|                                                                                                                                                                                                                                                               |            |                                                                                                  |          |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| ①小学校給食運営事業                                                                                                                                                                                                                                                    | A          | ⑨                                                                                                |          |
| ②小学校調理業務委託事業                                                                                                                                                                                                                                                  | A          | ⑩                                                                                                |          |
| ③中学校給食運営事業                                                                                                                                                                                                                                                    | A          | ⑪                                                                                                |          |
| ④義務教育就学援助事業                                                                                                                                                                                                                                                   | B          | ⑫                                                                                                |          |
| ⑤私立幼稚園就園奨励費補助金支給事業                                                                                                                                                                                                                                            | A          | ⑬                                                                                                |          |
| ⑥通学路安全対策事業                                                                                                                                                                                                                                                    | A          | ⑭                                                                                                |          |
| ⑦                                                                                                                                                                                                                                                             |            | ⑮                                                                                                |          |
| ⑧                                                                                                                                                                                                                                                             |            | ⑯                                                                                                |          |
| 上記については、重点取組内の構成取組における評価を記入し、評価平均を計算。<br>評価点数<br><u>A = 5</u> 、 <u>B = 3</u> 、 <u>C = 2</u> 、 <u>D = 1</u>                                                                                                                                                    |            | 総合評価基準<br>A：取組評価平均 4.0 以上<br>B：取組評価平均 2.5 以上 4.0 未満<br>C：取組評価平均 1.5 以上 2.5 未満<br>D：取組評価平均 1.5 未満 |          |
| <b>評価平均</b>                                                                                                                                                                                                                                                   | <b>4.7</b> | <b>総合評価</b>                                                                                      | <b>A</b> |
| <b>アドバイザーからの意見</b>                                                                                                                                                                                                                                            |            |                                                                                                  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>年次的な計画を基に実施している事業が多く、指標等の設定が難しいと思われるが、他市の実績をベンチマークにして比較するなどして、市民に分かりやすい指標を設定することが重要である。</li> </ul>                                                                                                                     |            |                                                                                                  |          |
| <b>総 合 評 価</b>                                                                                                                                                                                                                                                |            |                                                                                                  |          |
| <p>児童生徒が円滑に就学し、安心して学べる教育環境の充実は、刻々と変化する社会情勢等を踏まえ、適時検討し、適切に取組を展開する必要がある。</p> <p>その中で、私立幼稚園就園奨励費補助金の支給や、経済的事情により就学が困難な児童生徒の保護者に対する義務教育就学奨励費の支給により、円滑な就学や就園を推進できており、評価できる。</p> <p>また、経済支援のみならず、学校生活を支える通学や給食の環境についても、必要な改善を図るほか、費用対効果を意識した、効率的運営を目指すことが必要である。</p> |            |                                                                                                  |          |

## 5 教育環境の整備

|                 |                |
|-----------------|----------------|
| <b>教育大綱重点取組</b> | <b>教育環境の整備</b> |
|-----------------|----------------|

### 教育大綱重点取組を推進する体制(構成取組)

|          |            |             |
|----------|------------|-------------|
| ①プール改修事業 | ②屋内運動場改修事業 | ③小中学校施設改修事業 |
|          |            |             |
|          |            |             |
|          |            |             |
|          |            |             |

### 平成 28 年度決算(見込み)

|         |    |          |
|---------|----|----------|
| 取組に係る費用 | 単位 | 平成 28 年度 |
| 事業費     | 千円 | 428, 580 |

### 教育大綱実施計画における取組概要(平成 27 年度～30 年度)

児童生徒が安全で快適な学校生活が送れるよう、プール改修事業、屋内運動場改修事業、小中学校施設改修事業等に取り組み、教育環境の充実を目指し、計画的に学校施設の整備に取り組む。

### 教育大綱実施計画における取組の方向性(目標)(平成 27 年度～30 年度)

学校施設は、児童生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、災害時には、地域住民の避難所としても重要な役割を担っている。

既に、全小中学校の校舎棟・屋内運動場の耐震補強が完了しているが、引き続き、児童生徒が安全で快適に過ごすことができるとともに、地域住民の避難所としての役割も果たせるよう、学校施設の経年化に対する対策を計画的に実施し、教育環境の保持・充実を図る。

### 成果・効果等を表す取組指標

| 指標名                        | 単位       | 平成 28 年度    |             |                                                                   |
|----------------------------|----------|-------------|-------------|-------------------------------------------------------------------|
|                            |          | 目標値         | 実績値         | 達成度コメント                                                           |
| <b>小中学校校舎棟のトイレの洋式化の整備率</b> | <b>%</b> | <b>22.8</b> | <b>22.8</b> | 小学校 5 校 (15 か所)、中学校 3 校 (8 か所) の校舎棟のトイレを洋式等に改修し、目標値 22.8% を達成できた。 |
|                            |          |             |             |                                                                   |



## 平成 28 年度における取組状況

|       |         |
|-------|---------|
| 構成取組① | プール改修事業 |
|-------|---------|

| 計画（Plan）                                                           |                 |                                                                          |                |                |                |                |
|--------------------------------------------------------------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 老朽化した小中学校のプールを計画的に改修し、児童生徒が安全で快適に学べる教育環境の保持・充実を図る。                 |                 |                                                                          |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                           |                 |                                                                          |                |                |                |                |
| <div>小中学校のプール改修</div> <div>桜小学校、第三中学校のプールを改修した。</div>              |                 |                                                                          |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                              | 単位              | 26 年度<br>（実績値）                                                           | 27 年度<br>（実績値） | 28 年度<br>（見込値） | 29 年度<br>（見込値） | 30 年度<br>（見込値） |
| 小中学校のプール改修の実施校数（累積値）                                               | 校               | 13                                                                       | 15             | 17             | 19             | 21             |
|                                                                    |                 |                                                                          |                |                |                |                |
| 取組内容（活動状況）                                                         |                 |                                                                          |                |                |                |                |
| ＜プール改修の実施状況＞                                                       |                 |                                                                          |                |                |                |                |
|                                                                    | 平成 26 年度        | 平成 27 年度                                                                 | 平成 28 年度       |                |                |                |
| 小学校                                                                | 田井              | 池田                                                                       | 桜              |                |                |                |
| 中学校                                                                | 第六              | 第九                                                                       | 第三             |                |                |                |
| ※平成 27 年度は、補正予算（6 月）で予算計上。                                         |                 |                                                                          |                |                |                |                |
| 評価（Check）                                                          |                 |                                                                          |                |                |                |                |
| 桜小学校、第三中学校のプール槽防水シート、プールサイドシート等を改修し、児童生徒が安全で快適に学べる教育環境を整備することができた。 |                 |                                                                          |                |                |                |                |
| 評定                                                                 |                 | 今後の方向性（Innovation）                                                       |                |                |                |                |
| A                                                                  | A:達成している        | 学校施設の経年化対策として、今後も、改修の必要性を判断しながら、毎年小学校 1 校、中学校 1 校のプールを改修し、教育環境の保持・充実を図る。 |                |                |                |                |
|                                                                    | B:おおむね達成している    |                                                                          |                |                |                |                |
|                                                                    | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                          |                |                |                |                |
|                                                                    | D:達成できていない      |                                                                          |                |                |                |                |

## 平成 28 年度における取組状況

|       |           |
|-------|-----------|
| 構成取組② | 屋内運動場改修事業 |
|-------|-----------|

| 計画（Plan）                                                                         |                 |                                                                                      |                |                |                |                |
|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 老朽化した屋内運動場の屋根・床を計画的に改修し、児童生徒が安全で快適に学べるとともに、避難所としての役割も果たせるよう教育環境の保持・充実を図る。        |                 |                                                                                      |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                         |                 |                                                                                      |                |                |                |                |
| 小中学校の屋内運動場の屋根・床改修<br>神田小学校、堀溝小学校、第六中学校の屋内運動場の屋根・床を改修した。                          |                 |                                                                                      |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                            | 単位              | 26 年度<br>（実績値）                                                                       | 27 年度<br>（実績値） | 28 年度<br>（見込値） | 29 年度<br>（見込値） | 30 年度<br>（見込値） |
| 小中学校の屋内運動場の屋根・床改修の実施校数（累積値）                                                      | 校               | 6                                                                                    | 9              | 12             | 14             | 17             |
|                                                                                  |                 |                                                                                      |                |                |                |                |
| 取組内容（活動状況）                                                                       |                 |                                                                                      |                |                |                |                |
| ＜屋内運動場の屋根・床改修状況＞                                                                 |                 |                                                                                      |                |                |                |                |
|                                                                                  | 平成 26 年度        | 平成 27 年度                                                                             | 平成 28 年度       |                |                |                |
| 小学校                                                                              | 西・田井            | 池田・三井                                                                                | 神田・堀溝          |                |                |                |
| 中学校                                                                              | 第五              | 中木田                                                                                  | 第六             |                |                |                |
| 評価（Check）                                                                        |                 |                                                                                      |                |                |                |                |
| 神田小学校、堀溝小学校、第六中学校の屋内運動場の屋根・床を改修し、屋根の防水や床のそりなどを解消し、児童生徒が安全で快適に学べる教育環境を整備することができた。 |                 |                                                                                      |                |                |                |                |
| 評定<br>当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載                                              |                 | 今後の方向性（Innovation）                                                                   |                |                |                |                |
| A                                                                                | A:達成している        | 学校施設の経年化対策として、毎年小学校 2 校、中学校 1 校の屋内運動場の屋根・床の改修を目指すとともに、避難所としての役割も果たせるよう教育環境の保持・充実を図る。 |                |                |                |                |
|                                                                                  | B:おおむね達成している    |                                                                                      |                |                |                |                |
|                                                                                  | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                      |                |                |                |                |
|                                                                                  | D:達成できていない      |                                                                                      |                |                |                |                |

## 平成 28 年度における取組状況

|       |            |
|-------|------------|
| 構成取組③ | 小中学校施設改修事業 |
|-------|------------|

| 計画（Plan）                                                                                                                                                                       |                                            |                                                                                                              |                            |                |                |                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|----------------|----------------|----------------------------------|
| 全国的な洋式トイレの普及状況を踏まえ、平成 30 年度までに、洋式化の整備率を 40 パーセント～50 パーセントに向け改修を進め、児童生徒が安全で快適に学べるとともに、避難所としての役割も果たせるよう教育環境の保持・充実を図る。<br>また、平成 28 年度末策定予定の公共施設等総合管理計画を踏まえ、大規模改修計画等の策定に向けた取組を進める。 |                                            |                                                                                                              |                            |                |                |                                  |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                       |                                            |                                                                                                              |                            |                |                |                                  |
| 小中学校のトイレの洋式化の整備<br>小中学校の校舎棟トイレを洋式等に改修した。                                                                                                                                       |                                            |                                                                                                              |                            |                |                |                                  |
|                                                                                                                                                                                | 平成 26 年度                                   | 平成 27 年度                                                                                                     | 平成 28 年度                   |                |                |                                  |
| 小学校                                                                                                                                                                            | 東・西・池田・中央・啓明・木田・田井・点野・和光・国松緑丘の 10 校（10 か所） | 南・北・第五・成美・明和・三井・木屋・神田・堀溝・桜・楠根・梅が丘・宇谷・石津の 14 校（14 か所）                                                         | 第五・池田・中央・神田・堀溝の 5 校（15 か所） |                |                |                                  |
| 中学校                                                                                                                                                                            | 第二・第四・第五・第七・第十・友呂岐の 6 校（6 か所）              | 第一・第三・第六・第八・第九・中木田の 6 校（6 か所）                                                                                | 第二・第六・第九の 3 校（8 か所）        |                |                |                                  |
| 大規模改修計画等の検討<br>平成 28 年度に策定が進められた、公共施設等総合管理計画を踏まえ、具体の対応方針を定める個別の施設計画素案の作成に取り組んだ。                                                                                                |                                            |                                                                                                              |                            |                |                |                                  |
| 活動指標等                                                                                                                                                                          |                                            | 単位                                                                                                           | 26 年度<br>（実績値）             | 27 年度<br>（実績値） | 28 年度<br>（見込値） | 29 年度<br>（見込値）<br>30 年度<br>（見込値） |
| 小中学校校舎棟のトイレの洋式化の整備箇所数（累積値）                                                                                                                                                     |                                            | 箇所                                                                                                           | 49                         | 69             | 92             | 139<br>169                       |
| 評価（Check）                                                                                                                                                                      |                                            |                                                                                                              |                            |                |                |                                  |
| 小学校 5 校（15 か所）、中学校 3 校（8 か所）の校舎棟トイレ（男女各々 1 か所）を洋式等に改修し、児童生徒が安全で快適に学べるとともに、避難所としての役割も果たせるよう教育環境を整備することができた。<br>個別の施設計画素案の作成に取り組んだことで、計画で盛り込む内容の確認をすることができた。                     |                                            |                                                                                                              |                            |                |                |                                  |
| 評定                                                                                                                                                                             |                                            | 今後の方向性（Innovation）                                                                                           |                            |                |                |                                  |
| A                                                                                                                                                                              | A:達成している                                   | 学校施設の経年化対策として、平成 30 年度までに、校舎棟トイレの洋式化の整備率を 40～50 パーセントに向け、引き続き改修し、教育環境の保持・充実を図る。<br>引き続き、個別の施設計画策定に向けた取組を進める。 |                            |                |                |                                  |
|                                                                                                                                                                                | B:おおむね達成している                               |                                                                                                              |                            |                |                |                                  |
|                                                                                                                                                                                | C:一部達成であり、課題が残る                            |                                                                                                              |                            |                |                |                                  |
|                                                                                                                                                                                | D:達成できていない                                 |                                                                                                              |                            |                |                |                                  |

## 教育大綱重点取組の総合評価

|                                                                                                            |     |                                                                                                  |   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| ① プール改修事業                                                                                                  | A   | ⑨                                                                                                |   |
| ② 屋内運動場改修事業                                                                                                | A   | ⑩                                                                                                |   |
| ③ 小中学校施設改修事業                                                                                               | A   | ⑪                                                                                                |   |
| ④                                                                                                          |     | ⑫                                                                                                |   |
| ⑤                                                                                                          |     | ⑬                                                                                                |   |
| ⑥                                                                                                          |     | ⑭                                                                                                |   |
| ⑦                                                                                                          |     | ⑮                                                                                                |   |
| ⑧                                                                                                          |     | ⑯                                                                                                |   |
| 上記については、重点取組内の構成取組における評価を記入し、評価平均を計算。<br>評価点数<br><u>A = 5</u> 、 <u>B = 3</u> 、 <u>C = 2</u> 、 <u>D = 1</u> |     | 総合評価基準<br>A：取組評価平均 4.0 以上<br>B：取組評価平均 2.5 以上 4.0 未満<br>C：取組評価平均 1.5 以上 2.5 未満<br>D：取組評価平均 1.5 未満 |   |
| 評価平均                                                                                                       | 5.0 | 総合評価                                                                                             | A |
| アドバイザーからの意見                                                                                                |     |                                                                                                  |   |
| ・ 今後とも各事業の推進に努めていただきたい。                                                                                    |     |                                                                                                  |   |
| 総 合 評 価                                                                                                    |     |                                                                                                  |   |
| 学校施設の経年化対策として、引き続き、プール、屋内運動場屋根・床、校舎棟トイレを洋式等に改修し、児童生徒が安全で快適に学べるとともに、避難所としての役割も果たせるよう教育環境を整備していく必要がある。       |     |                                                                                                  |   |

## 6 地域教育力の活性化

|                 |                  |
|-----------------|------------------|
| <b>教育大綱重点取組</b> | <b>地域教育力の活性化</b> |
|-----------------|------------------|

### 教育大綱重点取組を推進する体制(構成取組)

|                  |               |                 |
|------------------|---------------|-----------------|
| ①地域教育協議会活動推進事業   | ②学校安全体制整備推進事業 | ③ねやがわ子どもフォーラム事業 |
| ④家庭教育サポートチーム派遣事業 | ⑤家庭教育学級事業     | ⑥子どもへの暴力防止プログラム |
| ⑦学校支援地域本部事業      |               |                 |
|                  |               |                 |
|                  |               |                 |

### 平成 28 年度決算(見込み)

|         |    |          |
|---------|----|----------|
| 取組に係る費用 | 単位 | 平成 28 年度 |
| 事業費     | 千円 | 23,817   |

### 教育大綱実施計画における取組概要(平成 27 年度～30 年度)

地域コミュニティを更に活性化するために、講演会やイベント、子ども安全見守り隊等を活用し、学校・家庭・地域・行政が連携して社会全体で子どもを守る環境を構築する。

また、子育て等に不安や悩みを抱える保護者に対し、家庭教育サポーターを派遣し、支援を行うことや、講演会等を通じて、学校・家庭・地域の在り方を考える機会を提供する。

### 教育大綱実施計画における取組の方向性(目標)(平成 27 年度～30 年度)

「地域の子どもは地域で育てる」を目標に地域の人材を活用し、子育てに不安や悩みを抱える保護者が、自信を持って子育てをし、子どもが自己肯定感を持って健やかに成長するように支援することによって、地域教育力の活性化を図る。

### 成果・効果等を表す取組指標

| 指標名                   | 単位       | 平成 28 年度     |              |                                                                       |
|-----------------------|----------|--------------|--------------|-----------------------------------------------------------------------|
|                       |          | 目標値          | 実績値          | 達成度コメント                                                               |
| <b>家庭教育サポーターの活動回数</b> | <b>回</b> | <b>6,250</b> | <b>7,030</b> | 平成 28 年度からサポーターの人数及び活動時間を拡充したことにより、活動回数も増加し、家庭や保護者の状況の一層の改善を図ることができた。 |
| <b>安全見守り隊の登録者数</b>    | <b>人</b> | <b>5,750</b> | <b>4,717</b> | 夜間パトロール活動などは活発に実施されているものの、これらを登下校の安全見守り隊へと参加いただくための啓発・周知が十分でなかったため。   |

## 平成 28 年度における取組状況

|       |               |
|-------|---------------|
| 構成取組① | 地域教育協議会活動推進事業 |
|-------|---------------|

| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                                             |    |                |                |                |                |                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| <p>地域教育コミュニティの活性化に資する、各地域教育協議会による特色ある事業実施を一層促進するとともに、新たな委託事業である「子どもたちを安全安心に守り育てる事業」及び「社会規範・マナーを学ぶ事業」の着実な実施を促していく。</p>                                                                                                                |    |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                                             |    |                |                |                |                |                |
| <p><b>子どもたちを安全安心に守り育てる事業</b><br/> 各小中学校でのあいさつ運動や安全マップ作成、校区パトロール活動を実施した。</p> <p><b>社会規範・マナーを学ぶ事業</b><br/> 交通安全教室や自転車利用マナー教室のほか、茶道教室など実施し、礼儀礼節を学ぶ機会を提供した。</p> <p>市地域教育協議会において取組等について情報共有を図るとともに、地域ごとの現状や課題について意見交換し、特色ある事業展開を促進した。</p> |    |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                                                | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| 地域教育コミュニティ事業への参加者数                                                                                                                                                                                                                   | 人  | 38,731         | 38,300         | 42,880         | 43,000         | 43,500         |
| 各地域教育協議会への情報提供回数                                                                                                                                                                                                                     | 回  | 21             | 15             | 14             | 28             | 30             |

## 取組内容（活動状況）

### 【地域教育協議会活動推進事業内容】

| 中学校区   | 主な事業内容                      |
|--------|-----------------------------|
| 第一中学校  | 挨拶運動・フェスタ・安全マップ作り・自転車マナー教室  |
| 第二中学校  | コンサート・栽培活動・挨拶運動・自転車マナー教室    |
| 第三中学校  | 冬まつり・挨拶運動・校外補導巡回・自転車マナー教室   |
| 第四中学校  | フェスタ・清掃活動・パトロール・挨拶運動        |
| 第五中学校  | こども議会・清掃活動・フェスタ・パトロール・茶道教室  |
| 第六中学校  | ふれ愛まつり・天体観測・親子防犯教室・自転車安全教室  |
| 第七中学校  | 地区懇談会・挨拶運動・非行防止教室・自転車安全講習   |
| 第八中学校  | グランドゴルフ・盆踊り・挨拶運動・パトロール・清掃活動 |
| 第九中学校  | 講演会・標語づくり・啓発パレード・高齢者交流会     |
| 第十中学校  | フェスタ・挨拶活動・パトロール・子育て講演会      |
| 友呂岐中学校 | デイキャンプ・子供大人懇談会・パトロール・マナー標語  |
| 中木田中学校 | もちつき大会・職場体験・講演会・パトロール・職業講話  |

## 評価（Check）

新たな委託事業項目である「子どもを守る事業」及び「社会規範・マナーを学ぶ事業」について、各中学校区で特色ある事業を実施された。

引き続き、地域の特性をいかした事業展開を図るため、寝屋川市地域教育協議会において積極的な情報共有と意見交換を行っていく。

### 評定

当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                 |                                                                                             |
|----------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>A</b> | A:達成している        | 各地域の特性をいかした自主的な事業に取り組むとともに、社会の変化などに迅速かつ柔軟に対応した事業を展開するなど、学校・家庭・地域の連携による地域教育コミュニティ力の更なる向上を図る。 |
|          | B:おおむね達成している    |                                                                                             |
|          | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                             |
|          | D:達成できていない      |                                                                                             |



## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                                                                                                              |    |                |                |                |                |                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 構成取組②                                                                                                                                                                                                        |    | 学校安全体制整備推進事業   |                |                |                |                |
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                     |    |                |                |                |                |                |
| 「子どもを守る」との市民意識の高まりを最大限にいかし、各種活動の充実を図るとともに、地域パトロールカーの更なる活用手法について、関係機関等と協議していく。                                                                                                                                |    |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                     |    |                |                |                |                |                |
| <div>登下校中の見守り活動</div> <p>子ども達の登下校時の安全確保と地域住民への安全啓発のため、見守り隊従事者にベストや腕章を配付した。</p> <p>また、小学校やPTAを通じて、古くなった「こども 110 番の家」の旗の交換を実施し、視認性向上を図った。</p> <p>地域パトロールカーの活用手法については、寝屋川警察署と安全確保のための抑止力としての活用手法について検討を行った。</p> |    |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                        | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| こども 110 番協力軒数                                                                                                                                                                                                | 軒  | 4, 861         | 3, 297         | 3, 193         | 3, 200         | 3, 200         |
|                                                                                                                                                                                                              |    |                |                |                |                |                |

| 取組内容（活動状況）            |          |          |          |
|-----------------------|----------|----------|----------|
| 【学校安全体制整備推進事業取組状況】    |          |          |          |
|                       | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
| 見守り隊登録者数<br>（24 小学校）  | 5, 315 人 | 4, 937 人 | 4, 717 人 |
| 地域パトロールカー<br>年間平均稼働日数 | 105 日/校  | 111 日/校  | 103 日/校  |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |
|                       |          |          |          |

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |                |               |               |               |               |               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 構成取組③                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  | ねやがわ子どもフォーラム事業 |               |               |               |               |               |
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |                |               |               |               |               |               |
| 時事に即した市民ニーズの把握に努め、全体講演会や対象別の分科会を実施し、子どもと学校・家庭・地域の関わりを考える機会として充実を目指すとともに、子どもたちの健やかな成長のための取組として、子どもに関わる関係団体と連携し実施する。                                                                                                                                                                                                                                          |  |                |               |               |               |               |               |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |                |               |               |               |               |               |
| <div>子どもに関わる関係団体との連携による開催</div> <p>子どもの安全対策や子どもをもつ家庭が安心して子育てができるよう、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちを支え、育んでいくという機運を高めるため、子どもに関わる関係団体が参画する実行委員会に事業を委託し、全体講演会及び4つの分科会を中央公民館で開催した。</p> <p>&lt; 実行委員会参画団体 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・寝屋川市立校園PTA協議会</li><li>・寝屋川市青少年指導員会</li><li>・寝屋川市地域教育協議会</li><li>・寝屋川市家庭教育支援連絡会</li><li>・寝屋川市民生委員児童委員協議会</li></ul> |  |                |               |               |               |               |               |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  | 単位             | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(見込値) | 30年度<br>(見込値) |
| ねやがわ子どもフォーラム事業の満足度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |  | %              | 98.0          | 99.4          | 99.2          | 100           | 100           |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |                |               |               |               |               |               |

| 取組内容（活動状況）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                 |                                                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>&lt;テーマ&gt;<br/>学校・家庭・地域で育てる～子どもの明るい未来のために～</p> <p>&lt;開催日時&gt;<br/>平成 29 年 2 月 11 日（土・祝） 午前 9 時 20 分</p> <p>&lt;講演内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体講演会 「子どもの成長と大人の役割 ～つながって生きるために～」<br/>春日井 敏之氏（立命館大学教授）</li> <li>・分科会 <ul style="list-style-type: none"> <li>①「パパの子育て家族の子育て」<br/>小崎 恭弘氏（大阪教育大学准教授）<br/>《対象：未就学児・小学生の保護者等》</li> <li>②「ネットと上手につきあう！子育て法」<br/>今度 珠美氏（鳥取県情報教育サポーター）<br/>《対象：未就学児・小中学生の保護者等》</li> <li>③「子どもの成長を高める子育て」<br/>池島 徳大氏（奈良教育大学大学院教授）<br/>《対象：中高生の保護者等》</li> <li>④「子どもらの立ち直り支援」<br/>中川 雄二氏（みんなでつくる学校とれぶりんか代表）<br/>《対象：青少年の保護者等》</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;参加者数&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体講演会 416 人</li> <li>・分科会（合計） 471 人</li> </ul> |                 |                                                                                                 |
| 評価（Check）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                 |                                                                                                 |
| <p>子育て支援や思春期の子どもへの対応、子どもたちを取り巻く課題などをテーマとした内容に取り組み、広い世代の大人たちの学びの場となった。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                 |                                                                                                 |
| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                 | 今後の方向性（Innovation）                                                                              |
| A                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | A:達成している        | めまぐるしく変わる子どもたちを取り巻く環境に的確かつ迅速に対応したテーマ設定を行うなど、子どもたちに関わる関係団体間の連携を強化し、更なる事業内容の充実を図り、一層の市民参加を促進していく。 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | B:おおむね達成している    |                                                                                                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | D:達成できていない      |                                                                                                 |

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                            |                 |                |                |                |                |                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 構成取組④                                                                                      | 家庭教育サポートチーム派遣事業 |                |                |                |                |                |
| 計画（Plan）                                                                                   |                 |                |                |                |                |                |
| 孤立する家庭への支援や家庭の健全化を図っていくためにサポーターの資質の向上と配置校を増やすとともに、スクールソーシャルワーカーや民生委員児童委員との一層連携を図る。         |                 |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                   |                 |                |                |                |                |                |
| サポーター配置校の拡充                                                                                |                 |                |                |                |                |                |
| 12 人の家庭教育サポーターを平成 28 年度から 15 人に増員し、市内 12 中学校区の 15 小学校に配置した。                                |                 |                |                |                |                |                |
| サポーター勤務時間の拡充（一人当たり）                                                                        |                 |                |                |                |                |                |
| 年間 590 時間が上限であった 1 人当たりの活動時間を 832 時間に拡充した。<br>（1 か月当たり約 20 時間拡大）                           |                 |                |                |                |                |                |
| 人員と活動時間を拡充することにより、不登校傾向にある保護者の相談や家庭訪問を積極的に行うとともに、児童生徒支援人材やスクールソーシャルワーカー等との連携を一層推進することができた。 |                 |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                      | 単位              | 26 年度<br>（実績値） | 27 年度<br>（実績値） | 28 年度<br>（実績値） | 29 年度<br>（見込値） | 30 年度<br>（見込値） |
| 家庭教育サポーター活動回数                                                                              | 回               | 5,250          | 6,096          | 7,030          | 7,150          | 7,250          |
|                                                                                            |                 |                |                |                |                |                |

|            |  |
|------------|--|
| 取組内容（活動状況） |  |
|------------|--|

|        |
|--------|
| ＜活動実績＞ |
|--------|

|        | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
|--------|----------|----------|----------|
| 家庭訪問回数 | 2, 533 回 | 2, 768 回 | 3, 399 回 |
| 相談回数   | 2, 717 回 | 3, 328 回 | 3, 631 回 |
| 児童対応回数 | 4, 601 回 | 4, 754 回 | 6, 056 回 |

|            |
|------------|
| 評価 (Check) |
|------------|

声かけや接触などの児童対応は、家庭や保護者の状況把握に必要不可欠なものとなっている中で、子育てに不安や悩みを抱えた保護者へ家庭教育サポートチーム派遣事業の周知が一層進み、活動時間も拡充したことから、サポーターの家庭訪問回数や相談回数も増加した。

また、児童生徒支援人材やスクールソーシャルワーカー等との密な連携を図ることで、個別の課題に対する支援を行うことができた。

|           |                            |
|-----------|----------------------------|
| <p>評価</p> | <p>今後の方向性 (Innovation)</p> |
|-----------|----------------------------|

当初の計画に対する進捗や  
評価の内容等を踏まえて記載

## 会後の方向性 (Innovation)

|          |                 |
|----------|-----------------|
| <b>A</b> | A:達成している        |
|          | B:おおむね達成している    |
|          | C:一部達成であり、課題が残る |
|          | D:達成できていない      |

サポーターの家庭教育に関する豊富な知識と経験をいかしたきめ細かな児童の状況把握や保護者支援は、そのニーズ、役割も大きくなっていることから、サポーターの資質向上を図るとともに、学校・地域との一層の連携を図る。

## 平成 28 年度における取組状況

| 構成取組⑤                                                                                                                                                             |    | 家庭教育学級事業      |               |               |               |               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 計画（Plan）                                                                                                                                                          |    |               |               |               |               |               |
| <p>わいわい楽しく子育て広場や家庭教育講座については、子育てや家庭教育を学ぶ機会として、引き続き実施するとともに、おとなのCAPについては、子どもが学んだことを家庭内で共有することで、効果が高められることから、実施回数を増やし学習機会の提供に努める。</p> <p>また、家庭教育支援者の資質の一層の向上を図る。</p> |    |               |               |               |               |               |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                          |    |               |               |               |               |               |
| <div>おとなのCAP</div> <p>年1回の開催であったおとなのCAPについて、平成28年度はコミュニティセンターエリアごとに計6回開催した。</p>                                                                                   |    |               |               |               |               |               |
| <div>家庭教育講座</div> <p>市内12中学校区の小学校において「家庭教育講座」を開催し、保護者が家庭教育について学び、理解を深める機会を提供した。</p>                                                                               |    |               |               |               |               |               |
| <div>わいわい楽しく子育て広場</div> <p>子育て世代を対象に、孤立化を防ぐため、不安や悩みを共有し交流することを目的として、連続講座を実施した。</p>                                                                                |    |               |               |               |               |               |
| <div>家庭教育支援者スキルアップ講習会</div> <p>家庭教育に関心を持ち、支援者として積極的に関わっていく人材の発掘・育成を目的に、「家庭教育支援者スキルアップ講習会」を開催し、家庭教育サポーターや家庭教育学級ファシリテーターなど、本市の家庭教育支援者の資質向上を図った。</p>                 |    |               |               |               |               |               |
| 活動指標等                                                                                                                                                             | 単位 | 26年度<br>（実績値） | 27年度<br>（実績値） | 28年度<br>（実績値） | 29年度<br>（見込値） | 30年度<br>（見込値） |
| 家庭教育学級事業への参加者数                                                                                                                                                    | 人  | 1,229         | 1,097         | 1,319         | 1,500         | 1,600         |
| 家庭教育学級参加者満足度                                                                                                                                                      | %  | 96            | 96            | 93            | 100           | 100           |

| 取組内容（活動状況）                                                                                                |                 |                                                                         |         |     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------|---------|-----|
| ＜実施状況＞                                                                                                    |                 |                                                                         |         |     |
| 内 容                                                                                                       | 場 所             | 回数                                                                      | 受講者     | 満足度 |
| 家庭教育講座                                                                                                    | 市内 12 中学校区      | 12 回                                                                    | 924 人   | 93% |
| わいわい楽しく子育て<br>広場                                                                                          | 西北コミセン          | 3 回                                                                     | 27 人    | 89% |
|                                                                                                           | エスポアール          | 3 回                                                                     | 47 人    | 94% |
|                                                                                                           | 計               | 6 回                                                                     | 74 人    | 92% |
| 家庭教育支援者スキル<br>アップ講習会                                                                                      | エスポアール          | 6 回                                                                     | 204 人   | 90% |
| おとなの C A P                                                                                                | 市内 6 コミセン       | 6 回                                                                     | 117 人   | 98% |
| 合 計                                                                                                       |                 |                                                                         | 1,319 人 | 93% |
| 評価（Check）                                                                                                 |                 |                                                                         |         |     |
| <p>家庭教育学級の開催を通じて、学校・地域の方々に対し、家庭教育に関する学習機会を提供できた。また、参加者からは家庭や子育ての悩みが軽減され、振り返る良い機会となったなど、満足度の高い声が寄せられた。</p> |                 |                                                                         |         |     |
| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載                                                                |                 | 今後の方向性（Innovation）                                                      |         |     |
| <b>B</b>                                                                                                  | A:達成している        | 家庭教育学級については引き続き実施し、保護者同士の交流・学習の場を提供する。<br>また、家庭教育支援者の人材発掘及び資質の一層の向上を図る。 |         |     |
|                                                                                                           | B:おおむね達成している    |                                                                         |         |     |
|                                                                                                           | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                         |         |     |
|                                                                                                           | D:達成できていない      |                                                                         |         |     |



## 平成 28 年度における取組状況

| 構成取組⑥                                                                   |  | 子どもへの暴力防止プログラム |               |               |               |               |               |
|-------------------------------------------------------------------------|--|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 計画（Plan）                                                                |  |                |               |               |               |               |               |
| 子どもの安全・安心を守るため、今後も引き続き市内全小学校の３年生を対象にCAPを実施していくとともに、他学年での実施についても検討していく。  |  |                |               |               |               |               |               |
| 取組内容（Do）                                                                |  |                |               |               |               |               |               |
| CAPプログラムの学校との情報共有の実施                                                    |  |                |               |               |               |               |               |
| 各小学校担当教諭とCAPスペシャリストが事前に協議を行い、児童の現状を正確に把握したうえで、市内24小学校の３年生65クラスにおいて実施した。 |  |                |               |               |               |               |               |
| また、主任児童委員等が見学するなど、児童に関わる地域の大人もCAPを理解し、児童への対応を学ぶことができた。                  |  |                |               |               |               |               |               |
| ＜実施状況＞                                                                  |  |                |               |               |               |               |               |
| ・平成25年度<br>58クラス1,944人                                                  |  |                |               |               |               |               |               |
| ・平成26年度<br>56クラス1,873人                                                  |  |                |               |               |               |               |               |
| ・平成27年度<br>60クラス1,932人                                                  |  |                |               |               |               |               |               |
| ・平成28年度<br>65クラス1,937人                                                  |  |                |               |               |               |               |               |
| 活動指標等                                                                   |  | 単位             | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(見込値) | 30年度<br>(見込値) |
| 対象児童の理解度                                                                |  | %              | 100           | 100           | 100           | 100           | 100           |
|                                                                         |  |                |               |               |               |               |               |

| 評価（Check）                                                   |                 |                                                                               |
|-------------------------------------------------------------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 各小学校の協力により事前の協議を充分に行うことができたことで、児童に分かりやすくきめ細かな事業内容とすることができた。 |                 |                                                                               |
| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載                  |                 | 今後の方向性（Innovation）                                                            |
| <b>A</b>                                                    | A:達成している        | 子どもたちが安全安心に成長できるよう、引き続き市立小学校全3年生を対象に実施するとともに、中学校進学を見据え全6年生を対象としたプログラムを拡充実施する。 |
|                                                             | B:おおむね達成している    |                                                                               |
|                                                             | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                               |
|                                                             | D:達成できていない      |                                                                               |

## 平成 28 年度における取組状況

|       |            |
|-------|------------|
| 構成取組⑦ | 学校支援地域本部事業 |
|-------|------------|

### 計画（Plan）

受託団体である各地域教育協議会へのヒアリングのほか、各学校へのヒアリングを実施し、より効果的な事業の在り方を示す。

### 取組内容（Do）

#### 学校支援ボランティア活動の実施

各中学校区内の小中学校や幼稚園等からの要請を受け、教育活動支援や環境整備活動などを実施した。

なお、今後の事業の在り方などについてヒアリングや議論を行い、課題等の整理を行った。

| 活動指標等           | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
|-----------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 学校支援地域本部事業の活動回数 | 回  | 8,593          | 7,996          | 8,815          | 8,850          | 8,900          |
| ボランティア活動人数      | 人  | 118,835        | 113,503        | 117,547        | 120,200        | 120,300        |

### 取組内容（活動状況）

#### 【学校支援地域本部事業参加状況】

|               | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
|---------------|----------|----------|----------|
| 学校支援コーディネーター数 | 54 人     | 45 人     | 43 人     |

### 評価（Check）

市地域教育協議会において各受託団体間の情報共有を積極的に行ったことなどにより、前年度と比較し活動回数、各参加人数ともに増加した。

より効果的な事業の在り方については、方向性を示すには至らなかったが、課題や方向性を共有することができた。

| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載 |                  | 今後の方向性（Innovation）                                                                                  |
|----------------------------------------|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>B</b>                               | A: 達成している        | 受託団体は「地域教育協議会事業」と本事業を受託し実施しており、特に本事業は府補助金活用による事務負担等が大きいことなどから、引き続き、もっとも効果的な地域教育コミュニティ事業の在り方を検討していく。 |
|                                        | B: おおむね達成している    |                                                                                                     |
|                                        | C: 一部達成であり、課題が残る |                                                                                                     |
|                                        | D: 達成できていない      |                                                                                                     |

## 教育大綱重点取組の総合評価

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |            |                                                                                                  |          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| ①地域教育協議会活動推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | A          | ⑨                                                                                                |          |
| ②学校安全体制整備推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | B          | ⑨                                                                                                |          |
| ③ねやがわ子どもフォーラム事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | A          | ⑩                                                                                                |          |
| ④家庭教育サポートチーム派遣事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | A          | ⑪                                                                                                |          |
| ⑤家庭教育学級事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | B          | ⑫                                                                                                |          |
| ⑥子どもへの暴力防止プログラム                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | A          | ⑬                                                                                                |          |
| ⑦学校支援地域本部事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | B          | ⑭                                                                                                |          |
| ⑧                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |            | ⑯                                                                                                |          |
| 上記については、重点取組内の構成取組における評<br>定を記入し、評定平均を計算。<br><u>評定点数</u><br><u>A = 5、B = 3、C = 2、D = 1</u>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            | 総合評価基準<br>A：取組評価平均 4.0 以上<br>B：取組評価平均 2.5 以上 4.0 未満<br>C：取組評価平均 1.5 以上 2.5 未満<br>D：取組評価平均 1.5 未満 |          |
| <b>評定平均</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <b>4.1</b> | <b>総合評価</b>                                                                                      | <b>A</b> |
| <b>アドバイザーからの意見</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |            |                                                                                                  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>安全見守り隊等による見守り活動については、単体でも効果的であるが、他部局の事業と合わせて、市として子どもの安全対策について力を入れている事を市民、保護者へ広報していくことも重要であり、犯罪の抑止力にも繋がっていくと考える。</li> <li>学校安全体制整備推進事業については、登下校中の見守り活動等により声かけ事案の件数が減っている等の具体的な効果を把握していく必要があり、他市では検証している取組もあるため、寝屋川市でも検証を進めていただきたい。</li> <li>地域教育協議会の活動について、中学校区ごとに特色がある取組が進められているが、他校区による取組や、自校区の弱み強みを知ることで、次への展望が見えていくと考えるため、情報共有を進めていただきたい。</li> <li>家庭教育サポートチーム派遣事業については、重要な事業であると認識しており、今後も継続していく必要があるが、活動回数のような量的側面だけではなく、具体的にどのような効果があった等の質的な評価をしていく必要がある。</li> </ul> |            |                                                                                                  |          |
| <b>総 合 評 価</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |            |                                                                                                  |          |
| 子育てに不安や悩みを持つ保護者に対して、訪問型支援や講座・講演会を通じて、子育てへの不安等の解消を図るとともに、学校と連携したサポート体制を継続して実施できた。<br>学校・家庭・地域と行政が、連携して社会全体で「子どもを守る」ことの重要性を認識し、見守り活動や地域パトロールを実施した。また、「社会マナー」を学ぶ事業として、自転車利用のマナー教室や茶道教室など、礼儀礼節をも学ぶ機会を提供した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |            |                                                                                                  |          |

## 7 青少年の健全育成

|                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| <b>教育大綱重点取組</b> | <b>青少年の健全育成</b> |
|-----------------|-----------------|

## 教育大綱重点取組を推進する体制(構成取組)

|               |                  |              |
|---------------|------------------|--------------|
| ①放課後子供教室推進事業  | ②留守家庭児童会児童健全育成事業 | ③青少年リーダー育成事業 |
| ④青少年の居場所づくり事業 | ⑤成人式事業           | ⑥青少年健全育成事業   |
|               |                  |              |
|               |                  |              |
|               |                  |              |

## 平成 28 年度決算(見込み)

|         |    |          |
|---------|----|----------|
| 取組に係る費用 | 単位 | 平成 28 年度 |
| 事業費     | 千円 | 267,718  |

## 教育大綱実施計画における取組概要(平成 27 年度～30 年度)

全ての児童にとって安全・安心な放課後の居場所づくりを推進するため、「放課後子供教室事業」及び「留守家庭児童会事業」を実施する。

子ども・子育て支援新制度により対象児童が小学6年生までに拡充されたことを受け、入会児童の増加に伴う、環境整備を実施する。

市内在住・在学の小学生からおおむね30歳までの若者が、社会体験、ボランティア活動やキャンプ活動を通じて、次代を担う青少年リーダーを育成する。

中学生以上の青少年が、安全・安心に集える場所として青少年の居場所を増設する。

## 教育大綱実施計画における取組の方向性(目標)(平成 27 年度～30 年度)

「放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後児童対策事業の一体化を進め、留守家庭児童会は、小学6年生まで活動の場を確保しつつ、児童支援員の確保及び資質向上を目指す。

青少年リーダー育成事業では、ユースリーダーの資質向上を図りながら事業の企画立案運営ができるようにサポートする。市内の青少年が、安全・安心に集える場所として、池の里市民交流センターの青少年の居場所「スマイル」を拡充するとともに、こどもセンターに青少年の居場所を新たに開設し、次代を担う青少年リーダーの組織化を目指す。

## 成果・効果等を表す取組指標

| 指標名                              | 単位       | 平成 28 年度      |               |                                                                            |
|----------------------------------|----------|---------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------|
|                                  |          | 目標値           | 実績値           | 達成度コメント                                                                    |
| <b>青少年活動の参加者数</b>                | <b>人</b> | <b>21,980</b> | <b>23,288</b> | 青少年の居場所の新規開設等により、活動機会の充実を図ることができた。<br>(実績値は、青少年の居場所・成人式・青少年リーダー・青年祭の参加者合計) |
| <b>留守家庭児童会児童の放課後子供教室事業への参加回数</b> | <b>回</b> | <b>720</b>    | <b>917</b>    | 放課後子ども総合プランモデル校の導入により、留守家庭児童会も含めた一体的な放課後の学習活動や体験活動の促進を図ることができた。            |

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                                                                                                                                               |             |                |                |                |                |                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 構成取組①                                                                                                                                                                                                                                         | 放課後子供教室推進事業 |                |                |                |                |                |
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                                                      |             |                |                |                |                |                |
| 平成 28 年度から「放課後子ども総合プラン」実施に伴い、放課後児童対策事業（留守家庭児童会事業、放課後子供教室事業、放課後校庭開放事業）を総合的に検討していくため、モデル校 6 校において放課後校庭開放事業を放課後子供教室のプログラムの一つとして実施し、拡充を図る。                                                                                                        |             |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                                                      |             |                |                |                |                |                |
| <div>「放課後子ども総合プラン」モデル校の設置・拡充</div> <p>「放課後子ども総合プラン」の実施に伴い、放課後子ども総合プラン運営委員会を開催し、モデル校の選定を始め、次年度実施に当たっての改善点や方向性などを検討した。</p> <p>平成 28 年度はモデル校 6 校（南、第五、池田、三井、木屋、木田）を選定し、放課後校庭開放事業を放課後子供教室のプログラムの一つとして実施するとともに、留守家庭児童会児童も参加できる放課後の居場所づくりを推進した。</p> |             |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                                                         | 単位          | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| 放課後子供教室実施日数                                                                                                                                                                                                                                   | 日           | 1, 979         | 1, 936         | 2, 442         | 2, 500         | 2, 700         |
| 放課後子供教室参加者数                                                                                                                                                                                                                                   | 人           | 63, 198        | 60, 803        | 94, 631        | 115, 000       | 135, 000       |

| 取組内容（活動状況）                                                                                                                                                                                                          |                  |                                                                                        |            |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| ＜放課後子供教室実施状況＞                                                                                                                                                                                                       |                  |                                                                                        |            |
|                                                                                                                                                                                                                     | 平成 26 年度         | 平成 27 年度                                                                               | 平成 28 年度   |
| 実施回数                                                                                                                                                                                                                | 1, 979 回         | 1, 936 回                                                                               | 2, 442 回   |
| 参加児童数                                                                                                                                                                                                               | 63, 198 人        | 60, 803 人                                                                              | 94, 631 人  |
| 大人・運営スタッフ                                                                                                                                                                                                           | 12, 874 人        | 11, 468 人                                                                              | 12, 144 人  |
| 人数合計                                                                                                                                                                                                                | 76, 072 人        | 72, 271 人                                                                              | 106, 775 人 |
| 平成 28 年度の数値は、モデル校で実施する放課後校庭開放事業の人数を含む。                                                                                                                                                                              |                  |                                                                                        |            |
| ＜放課後校庭開放実施状況＞                                                                                                                                                                                                       |                  |                                                                                        |            |
|                                                                                                                                                                                                                     | 平成 26 年度         | 平成 27 年度                                                                               | 平成 28 年度   |
| 実施回数                                                                                                                                                                                                                | 2, 104 回         | 1, 845 回                                                                               | 1, 224 回   |
| 参加児童数                                                                                                                                                                                                               | 75, 139 人        | 65, 393 回                                                                              | 35, 121 人  |
| ＜放課後子ども総合プラン運営委員会開催状況＞<br>平成 28 年度<br>第 1 回：平成 28 年 8 月 5 日<br>放課後子ども総合プランモデル校について<br>第 2 回：平成 28 年 9 月 29 日<br>モデル校実態調査について<br>第 3 回：平成 28 年 11 月 24 日<br>モデル校の視察（池田小学校）<br>第 4 回：平成 29 年 2 月 21 日<br>運営委員会報告書について |                  |                                                                                        |            |
| 評価（Check）                                                                                                                                                                                                           |                  |                                                                                        |            |
| 安全で安心な子どもの居場所を設け、地域人材の参画を得て学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組が推進できた。<br>また、放課後子ども総合プラン運営委員会において現状の課題抽出や今後の方向性が示された。                                                                                                        |                  |                                                                                        |            |
| 評定<br><small>当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載</small>                                                                                                                                                                      |                  | 今後の方向性（Innovation）                                                                     |            |
| A                                                                                                                                                                                                                   | A: 達成している        | 全小学校で放課後児童対策事業（留守家庭児童会事業、放課後子供教室事業、放課後校庭開放事業）の一体化を実施し、放課後子ども総合プランの趣旨に沿った放課後の環境整備を推進する。 |            |
|                                                                                                                                                                                                                     | B: おおむね達成している    |                                                                                        |            |
|                                                                                                                                                                                                                     | C: 一部達成であり、課題が残る |                                                                                        |            |
|                                                                                                                                                                                                                     | D: 達成できていない      |                                                                                        |            |



## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                                                                                                                                                 |                 |               |               |               |               |               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 構成取組②                                                                                                                                                                                                                                           | 留守家庭児童会児童健全育成事業 |               |               |               |               |               |
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                                                        |                 |               |               |               |               |               |
| <p>留守家庭児童会の入会児童の対象を6年生まで拡充するに当たり、残りの12校において受入れを実施する。</p> <p>また、入会児童数の増加に見合う児童会室の確保と整備に取り組むとともに、児童支援員の確保及び資質の向上を図る。</p>                                                                                                                          |                 |               |               |               |               |               |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                                                        |                 |               |               |               |               |               |
| <div>留守家庭児童会入会児童（高学年）の拡充</div> <p>入会児童の対象を6年生まで拡充するに当たり、平成28年度は12校（北、第五、成美、中央、啓明、木屋、木田、神田、堀溝、和光、国松緑丘、宇谷）において受入れを実施した。</p> <div>留守家庭児童会施設の整備</div> <p>入会児童数の増加への対応や安全・安心な保育を行うため、平成28年度は、第五小学校のプレハブを新設するとともに、南、木田、田井、点野、梅が丘において児童会室の整備を実施した。</p> |                 |               |               |               |               |               |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                                                           | 単位              | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(見込値) | 30年度<br>(見込値) |
| 入会児童数                                                                                                                                                                                                                                           | 人               | 1,664         | 1,860         | 2,088         | 2,135         | 2,198         |
| 実施箇所数                                                                                                                                                                                                                                           | 区画              | 39            | 40            | 56            | 57            | 57            |

| 取組内容（活動状況）                                                              |                 |                                                                                                                                 |          |
|-------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| ＜入会児童数（各年度 5 月 1 日現在）＞                                                  |                 |                                                                                                                                 |          |
| 年 度                                                                     | 1 ～ 3 年         | 4 ～ 6 年                                                                                                                         | 合 計      |
| 平成 26 年度                                                                | 1, 601 人        | 63 人                                                                                                                            | 1, 664 人 |
| 平成 27 年度                                                                | 1, 754 人        | 106 人                                                                                                                           | 1, 860 人 |
| 平成 28 年度                                                                | 1, 742 人        | 346 人                                                                                                                           | 2, 088 人 |
| ＜職場集合研修の実施状況（平成 28 年度）＞                                                 |                 |                                                                                                                                 |          |
| 実施日                                                                     | 研修内容            | 受講者数                                                                                                                            |          |
| 5 月 26 日                                                                | アレルギー対応について     | 87 人                                                                                                                            |          |
| 6 月 8 日                                                                 | 障がい児の発達について     | 82 人                                                                                                                            |          |
| 7 月 8 日                                                                 | 学童保育の生活と遊びについて  | 85 人                                                                                                                            |          |
| 9 月 14 日                                                                | 高学年指導について       | 89 人                                                                                                                            |          |
| 10 月 25 日                                                               | 子ども理解について       | 88 人                                                                                                                            |          |
| 11 月 7 日                                                                | 実践分析について        | 78 人                                                                                                                            |          |
| 11 月 9 日                                                                | 障がい児ケース研修       | 91 人                                                                                                                            |          |
| 12 月 9 日                                                                | 家族支援について        | 81 人                                                                                                                            |          |
|                                                                         |                 |                                                                                                                                 |          |
| 評価（Check）                                                               |                 |                                                                                                                                 |          |
| 平成 28 年度をもって全 6 年生までの受入れを完了し、就労環境の変化に対応する保育体制の整備を行い、保育サービスの充実を図ることができた。 |                 |                                                                                                                                 |          |
| 全学年が入会できるようになったことで集団や仲間での活動する機会が増え、児童の活動範囲も広がった。                        |                 |                                                                                                                                 |          |
| また、指導面においても児童の状況や発達段階に応じた育成支援を通じて指導員の資質向上につながった。                        |                 |                                                                                                                                 |          |
|                                                                         |                 |                                                                                                                                 |          |
| 評定                                                                      |                 | 今後の方向性（Innovation）                                                                                                              |          |
| 当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載                                           |                 |                                                                                                                                 |          |
| A                                                                       | A:達成している        | 保護者の就労状況の変化など、社会情勢を踏まえた受入体制の整備に向け、土曜開所についても指導員の処遇改善を含め検討するなど、一層の保育環境の充実を進めていく。<br><br>今後も、入所児童数の推移を注視し、児童会室の整備や確保について学校との調整を図る。 |          |
|                                                                         | B:おおむね達成している    |                                                                                                                                 |          |
|                                                                         | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                                                                 |          |
|                                                                         | D:達成できていない      |                                                                                                                                 |          |

## 平成 28 年度における取組状況

| 構成取組③                                                                                                                                                              |    | 青少年リーダー育成事業    |                |                |                |                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 計画（Plan）                                                                                                                                                           |    |                |                |                |                |                |
| <p>ユースリーダーや中高生リーダーにおいては、年次的にレベル向上を図るため、平成 30 年度での到達点を示すとともに、そのための年次的指導計画を立案していく。</p> <p>小学生クラブにおいては、参加者増と継続登録者増を目指し、プログラム内容を充実していく。</p>                            |    |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                           |    |                |                |                |                |                |
| <div>ユースリーダーによる企画・運営・指導の拡充</div> <p>小学生及び中高生クラブでの指導、「青少年の居場所」でのスタッフ活動、「エンジョイフェスタ」でのコーナー企画運営などにより、ユースリーダー個々の資質向上を図った。</p> <p>また、役員・部会制度を導入し、より組織化されたクラブ運営を実施した。</p> |    |                |                |                |                |                |
| <div>小学生リーダーの養成</div> <p>市職員によるきめ細かな指導のほか、専門講師を招へいして行うプログラムを充実することで、楽しむだけでなく学習をより深めることができた。</p>                                                                    |    |                |                |                |                |                |
| <div>中高生リーダーの養成</div> <p>新たに異文化交流として外国人留学生との交流プログラムや、中高生クラブへの参加促進 P R を自分たちで企画立案し実施するなど、これからの活動に必要な視野と能力を高めることができた。</p>                                            |    |                |                |                |                |                |
| <div>青年祭の開催</div> <p>本市はダンスが盛んであることから、著名なプロダンサーによる審査や舞台演出など、様々なジャンルのダンスに特化した事業として実施した。</p>                                                                         |    |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                              | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| 青少年リーダー登録者数<br>(ユースリーダー)                                                                                                                                           | 人  | 43             | 33             | 38             | 48             | 55             |
|                                                                                                                                                                    |    |                |                |                |                |                |

## 取組内容（活動状況）

### 【青少年リーダー育成事業参加状況】

|        | 平成 26 年度 |       | 平成 27 年度 |       | 平成 28 年度 |       |
|--------|----------|-------|----------|-------|----------|-------|
| 小学生クラブ | 12 回     | 360 人 | 12 回     | 401 人 | 12 回     | 604 人 |
| 中高生クラブ | 15 回     | 124 人 | 16 回     | 135 人 | 17 回     | 127 人 |
| ユースクラブ | 13 回     | 188 人 | 9 回      | 111 人 | 14 回     | 223 人 |

### 【青年祭参加状況】

|        | 平成 26 年度         | 平成 27 年度         | 平成 28 年度         |
|--------|------------------|------------------|------------------|
| 出演団体数  | 474 人<br>(59 団体) | 375 人<br>(63 団体) | 187 人<br>(31 団体) |
| 事業参加者数 | 1,312 人          | 1,444 人          | 574 人            |

## 評価（Check）

リーダーズでは各年代に応じた指導やプログラム提供により、個人の資質向上と組織力の強化を図ることができた。

青年祭についてはダンスに特化したイベントとして実施した結果、出演者・参加者ともに大幅に減少することとなった。

### 評価

当初の計画に対する進捗や  
評価の内容等を踏まえて記載

### 今後の方向性（Innovation）

**B**

A:達成している

B:おおむね達成している

C:一部達成であり、課題が残る

D:達成できていない

自ら考え、行動できる青少年リーダーを養成するため、専門性の高いプログラムの提供や各年代に適応した指導計画を立案し、リーダーズ組織全体のスキルアップを図る。

青年祭については、近隣市の高校・大学にも広く参加を呼び掛け、多くの若者が本市を訪れる機会となるよう、ダンスや軽音楽、吹奏楽のほか絵画や写真展示など事業内容を拡充し、幅広い分野での青年交流を図っていく。

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                                 |              |                |                |                |                |                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 構成取組④                                                                                                                           | 青少年の居場所づくり事業 |                |                |                |                |                |
| 計画（Plan）                                                                                                                        |              |                |                |                |                |                |
| 平成 28 年 8 月から現行の施設を拡充し、開設日をフルオープン化するとともに、こどもセンターに新たな青少年の居場所を開設する。                                                               |              |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                        |              |                |                |                |                |                |
| スペース及び開設日の拡充                                                                                                                    |              |                |                |                |                |                |
| 青少年の居場所「スマイル」について、平成 28 年 8 月から、新たに楽器などの練習ができる防音室、畳部屋、食事などができる部屋を増設するとともに、開設日を週 3 日から年末年始を除く毎日とし、開設時間を午後 7 時であったものを午後 8 時までとした。 |              |                |                |                |                |                |
| こどもセンターに青少年の居場所を新規開設                                                                                                            |              |                |                |                |                |                |
| 平成 28 年 8 月から、こどもセンター 3 階に新たな青少年の居場所として「ハピネス」を開設し、年末年始を除く毎日、午後 8 時まで開設している。                                                     |              |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                           | 単位           | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| 青少年の居場所利用者数                                                                                                                     | 人            | 6, 262         | 8, 646         | 20, 081        | 20, 500        | 21, 000        |
|                                                                                                                                 |              |                |                |                |                |                |

| 取組内容（活動状況）                                                                                  |                     |                                                      |                    |                 |          |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|------------------------------------------------------|--------------------|-----------------|----------|
| ＜利用者数＞<br>（所属区分別）                                                                           |                     |                                                      |                    |                 |          |
| 年 度                                                                                         | 中学生                 | 高校生                                                  | 大学生                | 一 般             | 合 計      |
| 平成 26 年度                                                                                    | 2,750 人<br>(43.9%)  | 2,915 人<br>(46.6%)                                   | 451 人<br>(7.2%)    | 146 人<br>(2.3%) | 6,262 人  |
| 平成 27 年度                                                                                    | 5,528 人<br>(63.9%)  | 2,138 人<br>(24.8%)                                   | 909 人<br>(10.5%)   | 71 人<br>(0.8%)  | 8,646 人  |
| 平成 28 年度                                                                                    | 11,687 人<br>(58.2%) | 4,499 人<br>(22.4%)                                   | 3,646 人<br>(18.2%) | 249 人<br>(1.2%) | 20,081 人 |
| （男女別）                                                                                       |                     |                                                      |                    |                 |          |
| 年 度                                                                                         | 男 性                 |                                                      | 女 性                |                 | 合 計      |
| 平成 26 年度                                                                                    | 3,200 人 (51.1%)     |                                                      | 3,062 人 (48.9%)    |                 | 6,262 人  |
| 平成 27 年度                                                                                    | 4,820 人 (55.7%)     |                                                      | 3,826 人 (44.3%)    |                 | 8,646 人  |
| 平成 28 年度                                                                                    | 12,486 人 (62.2%)    |                                                      | 7,595 人 (37.8%)    |                 | 20,081 人 |
| ＜開設日数＞<br>・平成 26 年度：149 日<br>・平成 27 年度：150 日<br>・平成 28 年度：279 日（スマイル）、233 日（ハピネス）           |                     |                                                      |                    |                 |          |
| ＜開設曜日・時間＞<br>平日：午後 3 時～午後 8 時<br>土・日曜日、祝日、学校休業期間中：正午～午後 8 時                                 |                     |                                                      |                    |                 |          |
| 評価（Check）                                                                                   |                     |                                                      |                    |                 |          |
| 当初の予定どおり、平成 28 年 8 月に「スマイル」のリニューアルオープン、「ハピネス」の新規開設を行った。<br>また、フルオープン化、開設時間の拡充など、利便性の向上を図った。 |                     |                                                      |                    |                 |          |
| 評定                                                                                          |                     | 今後の方向性（Innovation）                                   |                    |                 |          |
| A                                                                                           | A:達成している            | 引き続き、施設設備の維持管理やスタッフの人材育成を図り、青少年が気軽に立ち寄れる居場所づくりを推進する。 |                    |                 |          |
|                                                                                             | B:おおむね達成している        |                                                      |                    |                 |          |
|                                                                                             | C:一部達成であり、課題が残る     |                                                      |                    |                 |          |
|                                                                                             | D:達成できていない          |                                                      |                    |                 |          |

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |       |                |                |                |                |                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 構成取組⑤                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 成人式事業 |                |                |                |                |                |
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                                                                                                               |       |                |                |                |                |                |
| 新成人による実行委員会の活動を総合的に支援し、新たな発想によるイベント内容の充実を図るとともに、SNSの活用などにより、積極的に情報発信を行っていく。                                                                                                                                                                                                                            |       |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                                                                                                               |       |                |                |                |                |                |
| <div>新成人による第二部の企画・運営の実施</div> <p>実行委員会において新成人による企画運営案を尊重しつつ、必要に応じて助言を行い、市主催の式典としての品格を持った事業が実施された。</p> <p>【主な事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「青年祭」ダンスコンテスト優勝者によるパフォーマンス</li><li>○吉本エンターテイメント所属芸人（２組）による漫才</li><li>○中学生時代の恩師（先生方）からのビデオレター</li><li>○市ふるさと大使である大関豪栄道関からのビデオレター</li></ul> |       |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 単位    | 26 年度<br>（実績値） | 27 年度<br>（実績値） | 28 年度<br>（実績値） | 29 年度<br>（見込値） | 30 年度<br>（見込値） |
| 新成人の出席率                                                                                                                                                                                                                                                                                                | %     | 65.5           | 67.1           | 68.7           | 69.0           | 69.5           |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |       |                |                |                |                |                |

| 取組内容（活動状況） |  |
|------------|--|
|            |  |

【男女別成人式参加状況】

| 性別 | 項 目  | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
|----|------|----------|----------|----------|
| 男  | 対象者数 | 1,240 人  | 1,156 人  | 1,252 人  |
|    | 出席者数 | 796 人    | 762 人    | 835 人    |
|    | 出席率  | 64.2%    | 65.9%    | 66.7%    |
| 女  | 対象者数 | 1,223 人  | 1,173 人  | 1,192 人  |
|    | 出席者数 | 818 人    | 800 人    | 844 人    |
|    | 出席率  | 66.9%    | 68.2%    | 70.8%    |

|            |
|------------|
| 評価 (Check) |
|------------|

実行委員会による企画内容の充実などにより、昨年度を上回る新成人の参加を得ることができた。

また、不測の事態に備え市職員による応援体制を敷くなどにより、事故や混乱等もなく円滑に実施できた。

## 評定

当初の計画に対する進捗や  
評価の内容等を踏まえて記載

|                            |
|----------------------------|
| <p>今後の方針性 (Innovation)</p> |
|----------------------------|

SNSなどを活用したきめ細かな情報提供などにより、成人式出席者の更なる増加を目指すとともに、実行委員として参画する新成人の確保に努めていく。

|   |    |
|---|----|
| A | いる |
|   |    |

|           |           |
|-----------|-----------|
| 11. 定款の作成 | 12. 定款の提出 |
|-----------|-----------|

B: おおむね達成している

|   |                     |
|---|---------------------|
| A |                     |
|   | C:一部達成であり、<br>課題が残る |

|  |            |
|--|------------|
|  |            |
|  | D:達成できていない |



## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                               |           |                |                |                |                |                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 構成取組⑥                                                                                         | 青少年健全育成事業 |                |                |                |                |                |
| 計画（Plan）                                                                                      |           |                |                |                |                |                |
| 青少年指導員の資質向上に向けた研修等を実施するとともに、各委託事業を着実に実施できるよう、必要な指導・助言を行っていく。                                  |           |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                      |           |                |                |                |                |                |
| <div>中学生の主張</div> <p>事業応募者及び発表会参加者の増加を目指し、公立 12 中学校及び市内私立中学校への協力依頼を積極的に実施した。</p>              |           |                |                |                |                |                |
| <div>青少年育成促進事業</div> <p>青少年育成事業として各中学校区指導員会が中心となり、デイキャンプやハイキング、スポーツ大会など、地域ごとに特色ある事業を実施した。</p> |           |                |                |                |                |                |
| <div>オアシス運動の実施</div> <p>各小中学校において登校時に校門付近であいさつ運動を実施するとともに、京阪寝屋川市駅周辺でのティッシュ配布による啓発活動を実施した。</p> |           |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                         | 単位        | 26 年度<br>（実績値） | 27 年度<br>（実績値） | 28 年度<br>（実績値） | 29 年度<br>（見込値） | 30 年度<br>（見込値） |
| 各中学校区の青少年育成促進事業参加者数                                                                           | 人         | 4,755          | 5,993          | 5,901          | 6,100          | 6,200          |
| 中学生の主張発表会参加者数                                                                                 | 人         | 264            | 255            | 247            | 320            | 340            |

| 取組内容（活動状況）                                                                         |                             |                                                                                 |          |
|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 【青少年健全育成事業参加状況】                                                                    |                             |                                                                                 |          |
|                                                                                    | 平成 26 年度                    | 平成 27 年度                                                                        | 平成 28 年度 |
| 中学生の主張<br>応募者数                                                                     | 1, 943 人                    | 2, 043 人                                                                        | 2, 225 人 |
| 【青少年育成促進事業実施状況】                                                                    |                             |                                                                                 |          |
| 中学校区                                                                               | 主な事業内容                      |                                                                                 |          |
| 第一中学校                                                                              | 東コミセンまつりこどもコーナー運営           |                                                                                 |          |
| 第二中学校                                                                              | 桜小秋祭り・池田小秋祭り                |                                                                                 |          |
| 第三中学校                                                                              | デイキャンプ・天王寺動物園               |                                                                                 |          |
| 第四中学校                                                                              | Eーne 学園ふれあいフェスタ手作りコーナー運営    |                                                                                 |          |
| 第五中学校                                                                              | 神小フェスタ・和光小キッズクラブバルーンアート     |                                                                                 |          |
| 第六中学校                                                                              | 手作り&体験オリンピック                |                                                                                 |          |
| 第七中学校                                                                              | 堀溝小デイキャンプ・南小まつり・堀溝小まつり      |                                                                                 |          |
| 第八中学校                                                                              | 校庭キャンプ・西小フェスティバル・点野小フェスティバル |                                                                                 |          |
| 第九中学校                                                                              | わくわくふれあい体験                  |                                                                                 |          |
| 第十中学校                                                                              | 宇谷小フェスタ子ども手作り教室運営           |                                                                                 |          |
| 友呂岐中学校                                                                             | デイキャンプ                      |                                                                                 |          |
| 中木田中学校                                                                             | 花火大会・ドッジボール大会・太鼓・ダンス        |                                                                                 |          |
|                                                                                    |                             |                                                                                 |          |
| 評価（Check）                                                                          |                             |                                                                                 |          |
| 青少年指導員会として3回の研修会を実施し、青少年指導員個人の資質向上を図ったほか、各委託事業について、必要な指導・助言を行うことで、各事業の推進を図ることができた。 |                             |                                                                                 |          |
|                                                                                    |                             |                                                                                 |          |
| 評定<br>当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載                                                |                             | 今後の方向性（Innovation）                                                              |          |
| B                                                                                  | A:達成している                    | 引き続き、青少年指導員としての資質向上に資する研修会を実施するとともに、オアシス運動啓発活動を拡充し、青少年のマナー向上と市民への意識啓発を一層促進していく。 |          |
|                                                                                    | B:おおむね達成している                |                                                                                 |          |
|                                                                                    | C:一部達成であり、課題が残る             |                                                                                 |          |
|                                                                                    | D:達成できていない                  |                                                                                 |          |

## 教育大綱重点取組の総合評価

|                                                                                                                                                                                                                                               |            |                                                                                                  |          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| ①放課後子供教室推進事業                                                                                                                                                                                                                                  | A          | ⑨                                                                                                |          |
| ②留守家庭児童会児童健全育成事業                                                                                                                                                                                                                              | A          | ⑨                                                                                                |          |
| ③青少年リーダー育成事業                                                                                                                                                                                                                                  | B          | ⑩                                                                                                |          |
| ④青少年の居場所づくり事業                                                                                                                                                                                                                                 | A          | ⑪                                                                                                |          |
| ⑤成人式事業                                                                                                                                                                                                                                        | A          | ⑫                                                                                                |          |
| ⑥青少年健全育成事業                                                                                                                                                                                                                                    | B          | ⑬                                                                                                |          |
| ⑦                                                                                                                                                                                                                                             |            | ⑭                                                                                                |          |
| ⑧                                                                                                                                                                                                                                             |            | ⑯                                                                                                |          |
| 上記については、重点取組内の構成取組における評<br>定を記入し、評定平均を計算。<br><u>評定点数</u><br><u>A = 5、B = 3、C = 2、D = 1</u>                                                                                                                                                    |            | 総合評価基準<br>A：取組評価平均 4.0 以上<br>B：取組評価平均 2.5 以上 4.0 未満<br>C：取組評価平均 1.5 以上 2.5 未満<br>D：取組評価平均 1.5 未満 |          |
| <b>評定平均</b>                                                                                                                                                                                                                                   | <b>4.3</b> | <b>総合評価</b>                                                                                      | <b>A</b> |
| <b>アドバイザーからの意見</b>                                                                                                                                                                                                                            |            |                                                                                                  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>留守家庭児童会健全育成事業については、入会児童の対象を 6 年生まで拡充したことによる成果と課題についても把握・分析が必要である。</li> <li>成人式事業について、実行委員会が SNS 等を利用し広く周知したことも出席率の上昇につながったと考える。SNS はトラブルがあった際の対処が難しい点はあるが、若者に周知する際には特に効果的である。</li> </ul>               |            |                                                                                                  |          |
| <b>総 合 評 価</b>                                                                                                                                                                                                                                |            |                                                                                                  |          |
| <p>留守家庭児童会については、小学校全校で 6 年生まで受け入れを拡大し、入会児童数の増加に伴う施設の整備を行い、保育サービスの充実を行った。</p> <p>放課後子ども総合プランの施行に伴い、小学校 24 校の中から 6 校のモデル校を選定し、留守家庭児童会を含めた一体型事業を推進した。</p> <p>青少年の居場所については、居場所スペースの拡充及び開設時間の延長、駅前での居場所の開設を行うことにより、青少年が気軽に立ち寄り、交流できる場所の充実を図った。</p> |            |                                                                                                  |          |

## 8 文化芸術の振興

|                 |                |
|-----------------|----------------|
| <b>教育大綱重点取組</b> | <b>文化芸術の振興</b> |
|-----------------|----------------|

### 教育大綱重点取組を推進する体制(構成取組)

|            |           |  |
|------------|-----------|--|
| ①アルカスホール管理 | ②文化施策振興事業 |  |
|            |           |  |
|            |           |  |
|            |           |  |
|            |           |  |

### 平成 28 年度決算(見込み)

|         |    |          |
|---------|----|----------|
| 取組に係る費用 | 単位 | 平成 28 年度 |
| 事業費     | 千円 | 77,183   |

### 教育大綱実施計画における取組概要(平成 27 年度～30 年度)

地域交流や文化振興の拠点としてアルカスホールをより一層活用するとともに、文化に関するきめ細かな情報発信を行い、文化振興のための環境づくりを推進する。

また、活動・発表・鑑賞の機会の充実を図るとともに、文化芸術活動を担う人材の育成や新たな参加者の確保など、文化芸術活動の活性化を図る。

### 教育大綱実施計画における取組の方向性(目標)(平成 27 年度～30 年度)

アルカスホールの稼働率と利便性の向上を図るため、積極的な自主事業の展開や施設の P R が行われるよう、指定管理者との連携を推進する。

各文化事業の実施に当たっては、より効果的・効率的な実施に努めるとともに、「アルカスピアノコンクール」や「ミュージカル寝屋のはちかづき」など、魅力ある事業の検討を進める。

### 成果・効果等を表す取組指標

| 指標名                 | 単位       | 平成 28 年度      |               |                                                                          |
|---------------------|----------|---------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------|
|                     |          | 目標値           | 実績値           | 達成度コメント                                                                  |
| <b>アルカスホールの入場者数</b> | <b>人</b> | <b>76,500</b> | <b>80,851</b> | アルカスホールを設置後、全施設の平均稼働率が初めて 60%を超えたことから、音楽芸術の活動発表・鑑賞の場としての充実が図られたものと考えられる。 |
| <b>文化振興事業の参加者数</b>  | <b>人</b> | <b>57,300</b> | <b>48,364</b> | 市主催の 1 事業の開催がなかったことや、市民文化祭の入場者が見込みを下回ったためと考えられる。                         |

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                |           |                |                |                |                |                |
|----------------------------------------------------------------|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 構成取組①                                                          | アルカスホール管理 |                |                |                |                |                |
| 計画（Plan）                                                       |           |                |                |                |                |                |
| アルカスホールの稼働率向上を図る効果的な自主事業の展開などが行われるよう、指定管理者との連携を密にする。           |           |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                       |           |                |                |                |                |                |
| 利用料金の引下げ                                                       |           |                |                |                |                |                |
| 平成 28 年度からの新たな指定管理者による運営開始に伴い、今年度からアルカスホールの利用料金の引下げを実施した。      |           |                |                |                |                |                |
| アルカスホールの稼働率向上を図る効果的な自主事業の展開などが行われるよう、定例会議等を通じて指定管理者と検討・協議を行った。 |           |                |                |                |                |                |
| 特に、アルカスピアノコンクールやミュージカル寝屋のはちかづきなどの市事業の開催を通じて、ホールの積極的な活用を推進した。   |           |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                          | 単位        | 26 年度<br>（実績値） | 27 年度<br>（実績値） | 28 年度<br>（実績値） | 29 年度<br>（見込値） | 30 年度<br>（見込値） |
| アルカスホールの稼働率                                                    | %         | 55.5           | 56.7           | 60.2           | 62.0           | 63.0           |
|                                                                |           |                |                |                |                |                |

| 取組内容（活動状況）                                                                                                                                                           |                 |                                                                        |             |             |             |             |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ＜地域交流センター（アルカスホール）利用状況＞                                                                                                                                              |                 |                                                                        |             |             |             |             |
|                                                                                                                                                                      | 平成26年度          |                                                                        | 平成27年度      |             | 平成28年度      |             |
|                                                                                                                                                                      | 使用回数<br>（回）     | 入場者数<br>（人）                                                            | 使用回数<br>（回） | 入場者数<br>（人） | 使用回数<br>（回） | 入場者数<br>（人） |
| メインホール                                                                                                                                                               | 195             | 39,271                                                                 | 227         | 44,914      | 216         | 48,367      |
| ギャラリーなど<br>その他施設                                                                                                                                                     | 1,166           | 35,847                                                                 | 1,167       | 39,977      | 1,249       | 32,484      |
| 合計                                                                                                                                                                   | 1,361           | 75,118                                                                 | 1,394       | 84,891      | 1,465       | 80,851      |
| <p>平成26年度    メインホール稼働率    57.0%    全施設稼働率    55.5%</p> <p>平成27年度    メインホール稼働率    66.2%    全施設稼働率    56.7%</p> <p>平成28年度    メインホール稼働率    64.9%    全施設稼働率    60.2%</p> |                 |                                                                        |             |             |             |             |
| ＜自主事業の実施状況＞                                                                                                                                                          |                 |                                                                        |             |             |             |             |
| <p>平成26年度    29事業    5,636人</p> <p>平成27年度    31事業    6,820人</p> <p>平成28年度    45事業    5,683人</p>                                                                      |                 |                                                                        |             |             |             |             |
| 評価（Check）                                                                                                                                                            |                 |                                                                        |             |             |             |             |
| アルカスホールの指定管理者と月例報告会など積極的な意見交換を行うことにより、効果的かつ効率的な管理運営が図られた。                                                                                                            |                 |                                                                        |             |             |             |             |
| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載                                                                                                                           |                 | 今後の方向性（Innovation）                                                     |             |             |             |             |
| <b>B</b>                                                                                                                                                             | A:達成している        | 稼働率については、指定管理者との連携を密にし、向上を図る。また、市民が気軽に利用できる施設となるよう市の文化振興の指導的立場を発揮していく。 |             |             |             |             |
|                                                                                                                                                                      | B:おおむね達成している    |                                                                        |             |             |             |             |
|                                                                                                                                                                      | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                        |             |             |             |             |
|                                                                                                                                                                      | D:達成できていない      |                                                                        |             |             |             |             |

## 平成 28 年度における取組状況

| 構成取組②                                                                                                                                                                                                                                                                                            |    | 文化施策振興事業       |                |                |                |                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                                                                                                         |    |                |                |                |                |                |
| <p>「市民文化祭」や「市民たそがれコンサート」、「寝屋川ミュージックデー」などを引き続き開催し、市民の自主的な文化芸術活動を支援する。</p> <p>アルカスホールのスタインウェイピアノをより一層活用するため、全国から参加がある「アルカスピアノコンクール」を開催する。</p> <p>「ミュージカル寝屋のはちかづき」を開催し、地域文化の振興を図る。</p>                                                                                                              |    |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                                                                                                         |    |                |                |                |                |                |
| <div>アルカスピアノコンクールの開催</div> <p>平成 28 年 10 月から予選を開始し、12 月の本選を経て、平成 29 年 3 月に上位入賞者によるウイナーズコンサートを開催した。</p> <p>「市民文化祭」や「市民たそがれコンサート」、「寝屋川ミュージックデー」を引き続き実施し、様々な文化の活動・発表・鑑賞の機会を提供した。</p> <p>なお、「アルカスピアノコンクール」については、全国からの参加者を募るため、情報発信の一層の充実を図るとともに、ミュージカル「寝屋のはちかづき」については、新たな人材発掘に向けた出演者オーディションを行った。</p> |    |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 単位 | 26 年度<br>（実績値） | 27 年度<br>（実績値） | 28 年度<br>（実績値） | 29 年度<br>（見込値） | 30 年度<br>（見込値） |
| アルカスピアノコンクール入場者数                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 人  | 3, 117         | 3, 262         | 3, 121         | 3, 400         | 3, 500         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |    |                |                |                |                |                |



| 取組内容（活動状況）                                                                                                                                      |                  |                                                                                          |          |          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------|
| ＜文化施策振興事業の参加状況＞（人）                                                                                                                              |                  |                                                                                          |          |          |
|                                                                                                                                                 |                  | 平成 26 年度                                                                                 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
| 市民たそがれコンサート                                                                                                                                     |                  | 1,067                                                                                    | 555      | 1,105    |
| 市 民 文 化 祭                                                                                                                                       |                  | 10,560                                                                                   | 9,876    | 9,573    |
| 寝屋川ミュージックデー                                                                                                                                     |                  | 2,258                                                                                    | 2,191    | 2,302    |
| アルカスピアノ<br>コンクール                                                                                                                                | 出場者数             | 577                                                                                      | 667      | 680      |
|                                                                                                                                                 | 入場者数             | 3,117                                                                                    | 3,262    | 3,121    |
| ミュージカル<br>「寝屋のはちかづき」                                                                                                                            | 小学<br>4 年生       | 1,900                                                                                    | 1,801    | 1,984    |
|                                                                                                                                                 | 一般               | 595                                                                                      | 587      | 407      |
| 市美術公募展（入選作品展）                                                                                                                                   |                  | 796                                                                                      | —        | —        |
| 寝屋川音楽祭～クラシック in<br>ねやがわ～※隔年                                                                                                                     |                  | 813                                                                                      | —        | 944      |
| 市民ギャラリー利用者数                                                                                                                                     |                  | 26,660                                                                                   | 28,082   | 28,248   |
|                                                                                                                                                 |                  |                                                                                          |          |          |
| 評価（Check）                                                                                                                                       |                  |                                                                                          |          |          |
| <p>各事業において安定した集客を得ることができ、市民の文化芸術活動の活性化に寄与することができた。</p> <p>特に、全国規模の「アルカスピアノコンクール」やプロによる本格的なミュージカル「寝屋のはちかづき」の実施によって、音楽文化の振興や鑑賞機会の充実を図ることができた。</p> |                  |                                                                                          |          |          |
| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載                                                                                                      |                  | 今後の方向性（Innovation）                                                                       |          |          |
| <b>B</b>                                                                                                                                        | A: 達成している        | 今後、文化に関わる後継者の育成を視野に入れた魅力ある事業を検討しながら、市民の活動・発表・鑑賞機会の充実を図るとともに、市にとって新たな文化の振興の礎となるものを発掘していく。 |          |          |
|                                                                                                                                                 | B: おおむね達成している    |                                                                                          |          |          |
|                                                                                                                                                 | C: 一部達成であり、課題が残る |                                                                                          |          |          |
|                                                                                                                                                 | D: 達成できていない      |                                                                                          |          |          |

## 教育大綱重点取組の総合評価

|                                                                                                                                   |            |                                                                                                  |          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| ①アルカスホール管理                                                                                                                        | B          | ⑨                                                                                                |          |
| ②文化施策振興事業                                                                                                                         | B          | ⑩                                                                                                |          |
| ③                                                                                                                                 |            | ⑪                                                                                                |          |
| ④                                                                                                                                 |            | ⑫                                                                                                |          |
| ⑤                                                                                                                                 |            | ⑬                                                                                                |          |
| ⑥                                                                                                                                 |            | ⑭                                                                                                |          |
| ⑦                                                                                                                                 |            | ⑮                                                                                                |          |
| ⑧                                                                                                                                 |            | ⑯                                                                                                |          |
| 上記については、重点取組内の構成取組における評価を記入し、評価平均を計算。<br>評価点数<br><u>A = 5</u> 、 <u>B = 3</u> 、 <u>C = 2</u> 、 <u>D = 1</u>                        |            | 総合評価基準<br>A：取組評価平均 4.0 以上<br>B：取組評価平均 2.5 以上 4.0 未満<br>C：取組評価平均 1.5 以上 2.5 未満<br>D：取組評価平均 1.5 未満 |          |
| <b>評価平均</b>                                                                                                                       | <b>3.0</b> | <b>総合評価</b>                                                                                      | <b>B</b> |
| <b>アドバイザーからの意見</b>                                                                                                                |            |                                                                                                  |          |
| ・ 今後とも各事業の推進に努めていただきたい。                                                                                                           |            |                                                                                                  |          |
| <b>総合評価</b>                                                                                                                       |            |                                                                                                  |          |
| 多種多様な文化振興事業の実施や地域交流の拠点としてアルカスホールを活用することで、市民の活動・発表・鑑賞の機会の充実を図り、文化に関する情報提供を行うとともに、団体などを育成・支援するなど、市民が自主的に文化活動を行うための環境づくりを推進することができた。 |            |                                                                                                  |          |

## 9 スポーツ活動の振興

|                 |                  |
|-----------------|------------------|
| <b>教育大綱重点取組</b> | <b>スポーツ活動の振興</b> |
|-----------------|------------------|

### 教育大綱重点取組を推進する体制(構成取組)

|           |           |              |
|-----------|-----------|--------------|
| ①生涯スポーツ事業 | ②競技スポーツ事業 | ③市民体育館管理運営事業 |
|           |           |              |
|           |           |              |
|           |           |              |
|           |           |              |

### 平成 28 年度決算(見込み)

|         |    |          |
|---------|----|----------|
| 取組に係る費用 | 単位 | 平成 28 年度 |
| 事業費     | 千円 | 69,180   |

### 教育大綱実施計画における取組概要(平成 27 年度～30 年度)

誰もがそれぞれのライフスタイルや目的に合わせ、生涯にわたり、スポーツに親しめる環境の充実に努めるとともに、競技スポーツの普及、競技力向上を目指した取組を推進する。

### 教育大綱実施計画における取組の方向性(目標)(平成 27 年度～30 年度)

生涯スポーツへの参加機会の充実に努めるとともに、より高いレベルの競技者の育成を目指し、競技スポーツの振興を図る。

また、利用者が安全で快適に利用できるよう、市民体育館の整備・充実に努めるとともに、市民ニーズに応じ、施設の利活用を図る。

### 成果・効果等を表す取組指標

| 指標名                                    | 単位 | 平成 28 年度 |         |                                                                           |
|----------------------------------------|----|----------|---------|---------------------------------------------------------------------------|
|                                        |    | 目標値      | 実績値     | 達成度コメント                                                                   |
| <b>各種スポーツ事業の参加者数</b><br>(エンジョイフェスタを除く) | 人  | 26,300   | 30,361  | 市民ニーズに応じたハーフマラソン等のスポーツ大会や教室を開催したことで、大幅に参加者が増加し、市民がスポーツに親しむ環境が充実しつつある。     |
| <b>市民体育館の延利用者数</b>                     | 人  | 179,680  | 197,508 | 耐震工事等で一度は減少したものの、市民ニーズに応じたスポーツ教室等、年間を通じて各種事業を実施したことで、利用者数が増加(回復)したと考えられる。 |

## 平成 28 年度における取組状況

| 構成取組①                                                                                                                                                                                           |    | 生涯スポーツ事業       |                |                |                |                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                        |    |                |                |                |                |                |
| 各種スポーツ事業の円滑な実施に向け、実行委員会と連携を図りながら、より多くの市民が参加できるように広報誌やホームページを活用した PR 活動に努める。またスポーツリーダーズバンクを活用しながら、各種スポーツ教室等を実施し、市民が気軽にスポーツに親しむ機会の提供に努める。                                                         |    |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                        |    |                |                |                |                |                |
| <div>寝屋川ハーフマラソンへの支援</div> <p>6 月に寝屋川ハーフマラソンの実行委員会を立ち上げ、前年度に生じた課題（ファミリーの部のスタート方法、コースの一部変更等）を克服するとともにランナー・ボランティアの募集、警備・設営撤去等に関して支援を行い、無事平成 29 年 2 月 26 日に全国から 5,646 名の参加を得て、開催することができた。</p>       |    |                |                |                |                |                |
| <div>エンジョイフェスタ in ねやがわの開催</div> <p>6 月にエンジョイフェスタ in ねやがわの実行委員会を立ち上げ、創意工夫をする中で、例年よりも参加者を増やすことができ、市民に気軽にスポーツに親しむ機会を提供することができた。</p> <p>また次年度に向け、参加者増に対する安全対策及び参加者ニーズに応じたプログラムの導入等、新たな課題も生じてきた。</p> |    |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                           | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| 寝屋川ハーフマラソン参加者数                                                                                                                                                                                  | 人  | 5,569          | 5,898          | 5,646          | 6,000          | 6,000          |
| エンジョイフェスタ in ねやがわ参加者数                                                                                                                                                                           | 人  | 28,302         | 28,742         | 30,247         | 30,500         | 31,000         |

## 取組内容（活動状況）

〈寝屋川ハーフマラソン参加者数〉

| 種目等                |             | 人数      |
|--------------------|-------------|---------|
| 健康マラソン(1.5 km)     | 小学低学年       | 209 人   |
|                    | ファミリー       | 598 人   |
| 健康マラソン(3 km)       | 小学高学年男女     | 264 人   |
|                    | 中学生男女       | 61 人    |
|                    | 一般男女        | 176 人   |
| クォーターマラソン          | 一般男女        | 713 人   |
|                    | 一般男女(50歳以上) | 317 人   |
| ハーフマラソン            | 一般男女        | 2,459 人 |
|                    | 一般男女(50歳以上) | 849 人   |
| 寝屋川ハーフマラソンランナー合計   |             | 5,646 人 |
| 寝屋川ハーフマラソンボランティア合計 |             | 1,322 人 |

〈エンジョイフェスタ in ねやがわ参加者数〉

| 種目等           | 人数      | 種目等       | 人数       |
|---------------|---------|-----------|----------|
| 団体競技          | 4,077 人 | 遊びコーナー・舞台 | 6,099 人  |
| 昼間アトラクション     | 213 人   | 第2会場観客者数  | 5,231 人  |
| チャレンジ・アトラクション | 8,679 人 | スタッフ等     | 448 人    |
| 第1会場観客者数      | 5,500 人 | 参加者数合計    | 30,247 人 |

## 評価（Check）

寝屋川ハーフマラソンにおいては、北海道から沖縄に至るまで日本全国から参加される事業となっており、また多くのボランティアに支えられ、沿道の声援にも支えられ、素晴らしい大会を開催することができた。

また、エンジョイフェスタ in ねやがわにおいては、スポーツ基本法第23条に規定される「体育の日の行事」として、スポーツを基軸とした事業を実施し、多くの市民がスポーツに触れる機会を設けることができた。

### 評定

当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載

### 今後の方向性（Innovation）

A

A: 達成している

B: おおむね達成している

C: 一部達成であり、課題が残る

D: 達成できていない

寝屋川ハーフマラソンにおいては、実行委員会による協賛金集め等に苦慮されている面もあり、今後、事業の在り方について検討していく必要がある。

## 平成 28 年度における取組状況

|       |          |
|-------|----------|
| 構成取組② | 競技スポーツ事業 |
|-------|----------|

### 計画（Plan）

競技力向上を目指すべく、市民体育大会への参加を市民に情報提供するとともに、その勝者を寝屋川市の代表として、北河内総合体育大会や大阪府総合体育大会等へ派遣することで、本市の競技スポーツの振興につなげていく。

また平成 29 年度以降の更なる競技スポーツの振興施策を関係団体とも協議しながら進めていく。

### 取組内容（Do）

#### スポーツ実技指導教室の充実

市民を対象に、スポーツ振興連盟加盟団体によるスポーツ種目別講習会、及びスポーツインストラクター養成のための講習会を開催し、高いスポーツ技術の習得並びに、正しいスポーツの指導が市域において実践されるように、競技力の向上に努めることができた。

#### 市民体育大会及び北河内・府等大会の開催

競技スポーツの普及を図るため、「寝屋川市民体育大会」を 20 種目 22 競技において、市民体育館や淀川河川グランドを会場に開催することができた。

また寝屋川市民体育大会成績優秀者を、「北河内地区総合体育大会」に派遣し 14 年ぶりに北河内地区での総合優勝の成績を収めることができた。

| 活動指標等           | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
|-----------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 寝屋川市民体育大会参加者数   | 人  | 6,442          | 6,747          | 6,376          | 7,200          | 7,500          |
| 北河内・府等体育大会等参加者数 | 人  | 545            | 607            | 606            | 700            | 750            |

## 取組内容（活動状況）

〈寝屋川市民体育大会参加者数〉

| 種目      | 参加者数  | 種目        | 参加者数  | 種目     | 参加者数    |
|---------|-------|-----------|-------|--------|---------|
| サッカー    | 186 人 | グラウンド・ゴルフ | 289 人 | 少林寺拳法  | 129 人   |
| テニス     | 128 人 | バスケットボール  | 210 人 | 剣道     | 80 人    |
| インディアカ  | 52 人  | 卓球        | 76 人  | マラソン   | 91 人    |
| バウンドテニス | 117 人 | 陸上競技      | 313 人 | 駅伝競走   | 70 人    |
| バレーボール  | 435 人 | 柔道        | 142 人 | ソフトボール | 428 人   |
| ゲートボール  | 40 人  | ソフトテニス    | 16 人  | 軟式野球   | 2,161 人 |
| ソフトバレー  | 169 人 | バドミントン    | 63 人  | 空手道    | 309 人   |
| レスリング   | 578 人 | 総合開会式     | 294 人 | 参加者合計  | 6,376 人 |

〈北河内・府等体育大会等参加者数〉

| 事業名            | 参加者数  |
|----------------|-------|
| 大阪府総合体育大会      | 166 人 |
| 大阪府市町村対抗駅伝競走大会 | 28 人  |
| 北河内地区総合体育大会    | 407 人 |
| 北河内地区駅伝競走大会    | 雨天中止  |
| 三島・北河内地区対抗柔道大会 | 5 人   |
| 北河内・府等参加者合計    | 606 人 |

## 評価（Check）

様々なスポーツ種目において競技力向上を目指し、事故もなく大会を実施することができた。また、北河内や大阪府とも協力しながら、より高い技術が求められる大会にも市民の代表を派遣し、北河内での総合優勝を得ることができ、確実に各種スポーツの競技力向上が図られている。

### 評定

当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                 |                                                                                                    |
|----------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>A</b> | A:達成している        | <p>現在は、市民の中で競技力向上のためのスポーツ大会を実施しているが、今後はよりレベルの高い技術に触れる機会を設け、市民がオリンピックや全国大会に参加していけるような施策の構築を目指す。</p> |
|          | B:おおむね達成している    |                                                                                                    |
|          | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                                    |
|          | D:達成できていない      |                                                                                                    |



## 平成 28 年度における取組状況

|       |             |
|-------|-------------|
| 構成取組③ | 市民体育館管理運営事業 |
|-------|-------------|

### 計画（Plan）

トレーニング室の利用頻度の高いランニングマシンを購入し、利用者の利便性の向上を図る。

また必要に応じて、指定管理者と協議する中で、安全安心なスポーツ環境の整備に努める。

### 取組内容（Do）

#### 市民体育館改修工事の実施

市民体育館は昭和 49 年に設立されていることから、計画的な維持修繕を行う必要があり、今後 3 年間の修繕計画を策定する中で、安全安心なスポーツ環境の整備に努めた。

また経常的な修繕に関しては、指定管理者と定期的な会議を持ち、連携しながら、実施した。

ランニングマシンは、取得してから 10 年以上経過している上に、利用頻度が高いため頻繁に故障が発生している。部品取替の修理も困難になってきていることから、平成 27 年度から順次、購入を行っており、今年度においてもランニングマシンを一台、購入した。

〈市民体育館利用者数〉

（利用状況）

| 室名      | 団体      |           | 個人       | 合計        | 利用率<br>(%) |
|---------|---------|-----------|----------|-----------|------------|
|         | 件数      | 利用者数      |          |           |            |
| 大体育室    | 1,644 件 | 70,641 人  | 316 人    | 70,957 人  | 84.9       |
| 小体育室    | 678 件   | 10,618 人  | 4,800 人  | 15,418 人  | 84.7       |
| トレーニング室 | —       | —         | 39,367 人 | 39,367 人  | 100        |
| 卓球室     | 699 件   | 7,467 人   | 14,765 人 | 22,232 人  | 98.2       |
| 剣道場     | 941 件   | 27,468 人  | 179 人    | 27,647 人  | 74.2       |
| 柔道場     | 517 件   | 13,662 人  | 249 人    | 13,911 人  | 54.1       |
| 会議室     | 283 件   | 6,611 人   | —        | 6,611 人   | 22.6       |
| 研修室     | 78 件    | 1,365 人   | —        | 1,365 人   | 6.8        |
| 合計      | 4,840 件 | 137,832 人 | 59,676 人 | 197,508 人 | 67.8       |

（個人利用内訳）

| 区分                 | 利用人数     | 割合    |
|--------------------|----------|-------|
| 一般                 | 20,829 人 | 34.9% |
| 幼児・児童・生徒           | 3,377 人  | 5.7%  |
| 高齢者(60 歳以上 70 歳未満) | 14,798 人 | 24.8% |
| 無料(70 歳以上)         | 20,672 人 | 34.6% |
| 合計                 | 59,676 人 | 100%  |

| 活動指標等                                                                                                                                                                                                |                 | 単位                                                                                      | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 市民体育館大体育室利用率                                                                                                                                                                                         |                 | %                                                                                       | 83.6           | 84.2           | 84.9           | 87.3           | 89.2           |
|                                                                                                                                                                                                      |                 |                                                                                         |                |                |                |                |                |
| 評価 (Check)                                                                                                                                                                                           |                 |                                                                                         |                |                |                |                |                |
| <p>耐震工事や改修工事により、施設が利用できない状況にあったため、利用者が減少していたが、指定管理者の創意工夫により、ニーズに応じたスポーツ事業や教室を開催し、全体的に利用者の増加が見られた。今年度は特に、中学生無料卓球開放や夏休み等の宿題の為に施設開放を図ったことで、児童・生徒の利用割合の増加が見られた。また備品購入や環境整備にも努め、利用者が安全で快適に利用することができた。</p> |                 |                                                                                         |                |                |                |                |                |
| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載                                                                                                                                                               |                 | 今後の方向性 (Innovation)                                                                     |                |                |                |                |                |
| <b>A</b>                                                                                                                                                                                             | A:達成している        | 市民体育館については、昭和 49 年に建設されており、毎年の維持修繕に加え、大規模な工事の施工も必要となっており、今後の修繕計画を早急に策定し、年次的な環境整備を図っていく。 |                |                |                |                |                |
|                                                                                                                                                                                                      | B:おおむね達成している    |                                                                                         |                |                |                |                |                |
|                                                                                                                                                                                                      | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                         |                |                |                |                |                |
|                                                                                                                                                                                                      | D:達成できていない      |                                                                                         |                |                |                |                |                |

## 教育大綱重点取組の総合評価

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |            |                                                                                                  |          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| ①生涯スポーツ事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | A          | ⑨                                                                                                |          |
| ②競技スポーツ事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | A          | ⑩                                                                                                |          |
| ③市民体育館管理運営事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                | A          | ⑪                                                                                                |          |
| ④                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |            | ⑫                                                                                                |          |
| ⑤                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |            | ⑬                                                                                                |          |
| ⑥                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |            | ⑭                                                                                                |          |
| ⑦                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |            | ⑮                                                                                                |          |
| ⑧                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |            | ⑯                                                                                                |          |
| 上記については、重点取組内の構成取組における評価を記入し、評価平均を計算。<br><u>評定点数</u><br><u>A = 5、B = 3、C = 2、D = 1</u>                                                                                                                                                                                                                      |            | 総合評価基準<br>A：取組評価平均 4.0 以上<br>B：取組評価平均 2.5 以上 4.0 未満<br>C：取組評価平均 1.5 以上 2.5 未満<br>D：取組評価平均 1.5 未満 |          |
| <b>評価平均</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <b>5.0</b> | <b>総合評価</b>                                                                                      | <b>A</b> |
| <b>アドバイザーからの意見</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                          |            |                                                                                                  |          |
| ・ 今後とも各事業の推進に努めていただきたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                     |            |                                                                                                  |          |
| <b>総 合 評 価</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                              |            |                                                                                                  |          |
| 生涯スポーツ・競技スポーツに関わらず、市民がスポーツに親しむ機会や学ぶ機会を充実し、本市スポーツの振興を図ることができた。また様々なスポーツに関する情報を積極的に提供するとともに、スポーツリーダーズバンクやスポーツ推進委員を活用することで、市域におけるスポーツ活動の活性化に努めることができた。<br>今後は、更に様々なスポーツを体験する機会を充実し、第２期スポーツ基本計画に基づき、成人の週１回以上のスポーツ実施率を３人に２人に、週３回以上のスポーツ実施率を３人に１人となるような施策の検討、並びに市民体育館を含めた社会体育施設において、利用者が安全に快適に活動できるよう環境整備にも努めていく。 |            |                                                                                                  |          |

## 10 学習活動の充実

|                 |                |
|-----------------|----------------|
| <b>教育大綱重点取組</b> | <b>学習活動の充実</b> |
|-----------------|----------------|

### 教育大綱重点取組を推進する体制(構成取組)

|                    |              |              |
|--------------------|--------------|--------------|
| ①日本語よみかき促進事業       | ②成人教育講座事業    | ③まちのせんせい活用事業 |
| ④生涯学習推進調整事務        | ⑤学び館管理事業     | ⑥利用者サービス事業   |
| ⑦ICT化推進事業          | ⑧子ども読書活動推進事業 | ⑨読書普及啓発事業    |
| ⑩障害者・高齢者・多文化サービス事業 |              |              |
|                    |              |              |

### 平成 28 年度決算(見込み)

|         |    |          |
|---------|----|----------|
| 取組に係る費用 | 単位 | 平成 28 年度 |
| 事業費     | 千円 | 102,230  |

### 教育大綱実施計画における取組概要(平成 27 年度～30 年度)

誰もが、いつでも、どこでも学習活動に取り組むことができる学習の場を整備するとともに、幅広い学習情報を提供し、学習機会の確保に取り組む。

また、地域人材の養成や市民が学び得た成果を通じて地域に還元していく取組を進める。

### 教育大綱実施計画における取組の方向性(目標)(平成 27 年度～30 年度)

施設の老朽化対策を進めることで、市民が安全で快適な学習活動ができる場所の確保を図るとともに、情報誌やホームページなどの媒体を一層活用し、学習情報と学習機会の充実を図る。

また、まちのせんせいの活用による人材の養成やニーズに応じた生涯学習の充実及び読書活動の推進により、市民の学習活動意欲の活性化を図る。

### 成果・効果等を表す取組指標

| 指標名                     | 単位       | 平成 28 年度   |            |                                                                        |
|-------------------------|----------|------------|------------|------------------------------------------------------------------------|
|                         |          | 目標値        | 実績値        | 達成度コメント                                                                |
| <b>市民一人当たりの生涯学習活動回数</b> | <b>回</b> | <b>7.9</b> | <b>8.4</b> | 市民体育館・学校体育施設等利用者数の増加や寝屋川音楽祭の開催などにより、約 12 万人の利用者が増加したため、目標値を達成することができた。 |
|                         |          |            |            |                                                                        |

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                                                                                                                                    |             |               |               |               |               |               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 構成取組①                                                                                                                                                                                                                              | 日本語よみかき促進事業 |               |               |               |               |               |
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                                           |             |               |               |               |               |               |
| 学習の指導や運営体制を確立していくため、事務局とコーディネーター、スタッフとの会議やスキルアップのための研修を今後も継続して行っていく。                                                                                                                                                               |             |               |               |               |               |               |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                                           |             |               |               |               |               |               |
| <div>日本語よみかき学級の実施</div> <p>日本語の習得を必要とする市民に、週に1回、昼と夜の部（年間88回）に学習をする機会を設け、本市で生活・就労等する上で、よみかき、会話でコミュニケーションが円滑に図れるよう取り組んでいるほか、課外学習や文化交流会、年末お楽しみ会の開催や北河内識字・日本語交流会に参加した。</p> <p>また、指導者のスキルアップや連携を密にするために、指導者全体会議を年に6回、指導者研修会を2回実施した。</p> |             |               |               |               |               |               |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                                              | 単位          | 26年度<br>（実績値） | 27年度<br>（実績値） | 28年度<br>（実績値） | 29年度<br>（見込値） | 30年度<br>（見込値） |
| 延べ受講者数                                                                                                                                                                                                                             | 人           | 693           | 607           | 643           | 850           | 900           |
|                                                                                                                                                                                                                                    |             |               |               |               |               |               |

| 取組内容（活動状況）                                                    |                   |                                                                                                                                                                  |             |
|---------------------------------------------------------------|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| ＜平成 28 年度＞                                                    |                   |                                                                                                                                                                  |             |
| 回数                                                            | 昼・夜 各 44 回        | 受講者数                                                                                                                                                             | 52 人（15 か国） |
| 延べ受講者数                                                        | 643 人（88 回）       | 延べ保育者数                                                                                                                                                           | 2 人（2 回）    |
| 課外学習                                                          | 宇治市源氏物語ミュージアム・対鳳庵 |                                                                                                                                                                  | 24 人        |
| 北河内交流会                                                        | 枚方市立メセナ枚方会館       |                                                                                                                                                                  | 25 人        |
| ＜国別登録者数＞                                                      |                   |                                                                                                                                                                  |             |
|                                                               | 平成 26 年度          | 平成 27 年度                                                                                                                                                         | 平成 28 年度    |
| 中国                                                            | 14 人              | 13 人                                                                                                                                                             | 16 人        |
| フィリピン                                                         | 3 人               | 5 人                                                                                                                                                              | 3 人         |
| タイ                                                            | 7 人               | 11 人                                                                                                                                                             | 5 人         |
| 韓国                                                            | 0 人               | 0 人                                                                                                                                                              | 1 人         |
| インドネシア                                                        | 8 人               | 20 人                                                                                                                                                             | 14 人        |
| ブラジル                                                          | 0 人               | 0 人                                                                                                                                                              | 1 人         |
| ベトナム                                                          | 10 人              | 14 人                                                                                                                                                             | 2 人         |
| スリランカ                                                         | 1 人               | 1 人                                                                                                                                                              | 1 人         |
| ペルー                                                           | 2 人               | 3 人                                                                                                                                                              | 2 人         |
| トルコ                                                           | 0 人               | 0 人                                                                                                                                                              | 1 人         |
| 台湾                                                            | 0 人               | 0 人                                                                                                                                                              | 2 人         |
| 日本                                                            | 1 人               | 1 人                                                                                                                                                              | 1 人         |
| ドイツ                                                           | 0 人               | 0 人                                                                                                                                                              | 1 人         |
| マレーシア                                                         | 1 人               | 0 人                                                                                                                                                              | 0 人         |
| コロンビア                                                         | 0 人               | 0 人                                                                                                                                                              | 1 人         |
| ネパール                                                          | 0 人               | 3 人                                                                                                                                                              | 1 人         |
| その他                                                           | 4 人               | 2 人                                                                                                                                                              | 0 人         |
| 合 計                                                           | 51 人              | 73 人                                                                                                                                                             | 52 人        |
| 評価（Check）                                                     |                   |                                                                                                                                                                  |             |
| 受講者の学習状況に応じて、各種教材を活用した指導を行い、言葉やよみかきでコミュニケーションが円滑に図れるように取り組んだ。 |                   |                                                                                                                                                                  |             |
| また、よみかき学級の運営体制の確立のために指導者全体会議を、指導者のスキルアップのために指導者研修会を行った。       |                   |                                                                                                                                                                  |             |
| 評定                                                            |                   | 今後の方向性（Innovation）                                                                                                                                               |             |
| 当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載                                     |                   |                                                                                                                                                                  |             |
| B                                                             | A:達成している          | 企業の短期的な就労実習生や研修生の学習者は入れ替わりが多く、日本語よみかきの短期習得が難しいため、個人のレベルや在留期間に応じ、目的を絞り込んだスポット的な学習指導方法や教室運営を確立していく必要がある。そのため、コーディネーター、スタッフとの会議や外部講師による指導者のスキルアップ研修を継続して行っていく必要がある。 |             |
|                                                               | B:おおむね達成している      |                                                                                                                                                                  |             |
|                                                               | C:一部達成であり、課題が残る   |                                                                                                                                                                  |             |
|                                                               | D:達成できていない        |                                                                                                                                                                  |             |

## 平成 28 年度における取組状況

| 構成取組②                                                                                                                  |    | 成人教育講座事業       |                |                |                |                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 計画（Plan）                                                                                                               |    |                |                |                |                |                |
| 市民ニーズに対応した講座の開催をバランスよく、積極的に進めていくために、アプローチの仕方や働き掛けに工夫しながら、各コミュニティセンターやふらっとねやがわとの連携を密に図っていく。                             |    |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                               |    |                |                |                |                |                |
| <div>市内公共施設での共同実施</div> <p>市立校園 PTA 協議会や各コミュニティセンター運営協議会等と共催し、各地域の特色をいかした講座を開催することで、市民ニーズを反映した様々な学習の機会を提供することができた。</p> |    |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                  | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| 成人教育講座参加者数                                                                                                             | 人  | 840            | 766            | 862            | 940            | 960            |
|                                                                                                                        |    |                |                |                |                |                |



| 取組内容（活動状況）                                                                                                                            |                                       |                                                                                                                           |                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| ＜平成 28 年度＞                                                                                                                            |                                       |                                                                                                                           |                       |
| テーマ                                                                                                                                   | 開催日                                   | 講師                                                                                                                        | 会場(参加者数)              |
| 盆踊り講習会                                                                                                                                | 平成 28 年 6 月 25 日(土)・<br>7 月 2 日(土)    | 中本 美智子                                                                                                                    | 南コミセン<br>(46 人・45 人)  |
| 性の多様性入門講座                                                                                                                             | 平成 28 年 7 月 23 日(土)                   | 井元 哲也                                                                                                                     | ふらっとねやがわ(16 人)        |
| おもしろ京都再発見                                                                                                                             | 平成 28 年 9 月 12 日(月)                   | 吉岡 一秋                                                                                                                     | 南コミセン (38 人)          |
| 笑いヨガ                                                                                                                                  | 平成 28 年 9 月 30 日(金)                   | 林 小絵                                                                                                                      | 西南コミセン(32 人)          |
| 健康体操                                                                                                                                  | 平成 28 年 10 月 13 日(木)                  | 井上 利光                                                                                                                     | 西北コミセン(52 人)          |
| 大人のぬり絵(色<br>鉛筆画)講座                                                                                                                    | 平成 28 年 10 月 19 日(水)・<br>10 月 26 日(水) | 宮田 広子                                                                                                                     | 東北コミセン<br>(29 人・28 人) |
| 男の料理教室                                                                                                                                | 平成 28 年 11 月 10 日(木)                  | 上田 龍男                                                                                                                     | 西南コミセン(11 人)          |
| 洋菓子作り講習会                                                                                                                              | 平成 28 年 11 月 30 日(水)                  | 新宅 智子                                                                                                                     | 南コミセン (22 人)          |
| 料理教室                                                                                                                                  | 平成 28 年 12 月 8 日(木)                   | 山口ゆかり                                                                                                                     | 西北コミセン(26 人)          |
| 折り紙教室                                                                                                                                 | 平成 28 年 12 月 10 日(土)                  | 駒井 靖彦                                                                                                                     | 西コミセン (40 人)          |
| カラーリング<br>講習会                                                                                                                         | 平成 29 年 2 月 13 日(月)・<br>3 月 13 日(月)   | 土居 正博                                                                                                                     | 東コミセン<br>(26 人・21 人)  |
| パン作り講習会                                                                                                                               | 平成 29 年 2 月 14 日(火)・<br>2 月 28 日(火)   | 森脇 郁子                                                                                                                     | 西南コミセン<br>(10 人・10 人) |
| 教育講演                                                                                                                                  | 平成 29 年 2 月 18 日(土)                   | 高野 優                                                                                                                      | アルカスホール(378 人)        |
| 京都再発見                                                                                                                                 | 平成 29 年 3 月 2 日(木)                    | 吉岡 一秋                                                                                                                     | 東北コミセン(32 人)          |
| 6 コミセン 16 講座と、市 PTA 1 講座、ふらっとねやがわ 1 講座の 18 講座実施(参加者数合計 862 人)                                                                         |                                       |                                                                                                                           |                       |
| 評価 (Check)                                                                                                                            |                                       |                                                                                                                           |                       |
| <p>昨年度、成人教育講座の開催がなかったコミュニティセンターに働き掛けを行い、6 コミュニティセンター全館で市民ニーズに対応した講座で開催することができた。</p> <p>また、講座の受講者向けのアンケートにおいても好評で、今後の継続と発展の期待が大きい。</p> |                                       |                                                                                                                           |                       |
| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載                                                                                            |                                       | <b>今後の方向性 (Innovation)</b>                                                                                                |                       |
| <b>A</b>                                                                                                                              | A: 達成している                             | 各コミュニティセンターと共催する講座も定着し、参加者は増加傾向にあるが、講座内容や周知方法等についても更なる工夫を重ね、成人教育講座がより市民ニーズに対応した事業となるよう、各コミュニティセンターやふらっとねやがわ等と一層の連携を図っていく。 |                       |
|                                                                                                                                       | B: おおむね達成している                         |                                                                                                                           |                       |
|                                                                                                                                       | C: 一部達成であり、課題が残る                      |                                                                                                                           |                       |
|                                                                                                                                       | D: 達成できていない                           |                                                                                                                           |                       |

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                                                      |             |                |                |                |                |                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 構成取組③                                                                                                                                                | まちのせんせい活用事業 |                |                |                |                |                |
| 計画（Plan）                                                                                                                                             |             |                |                |                |                |                |
| 依頼内容に偏りがあるので、未派遣のまちのせんせいの活用について、利用者に向けて周知啓発に努める。また、新たなまちのせんせい登録者を増やすために「寝屋川市まちのせんせいバンク実施要綱」の一部改正を行う。                                                 |             |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                             |             |                |                |                |                |                |
| <div>まちのせんせい体験講習会実施</div> <p>登録要件を緩和するため、「寝屋川市まちのせんせいバンク実施要綱」の一部改正を行った。</p> <p>保育所・幼稚園・小学校・中学校・福祉施設等へ積極的に活用してもらうため、実践発表会やまちのせんせい体験講習会を開催しPRを図った。</p> |             |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                | 単位          | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| まちのせんせい登録者数                                                                                                                                          | 人           | 116            | 128            | 108            | 135            | 140            |
| まちのせんせい派遣依頼件数                                                                                                                                        | 件           | 116            | 122            | 136            | 141            | 146            |

| 取組内容（活動状況）                                                                                                                                                                                         |                                                        |                                                                                                                                          |          |          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------|
| ＜事業実績＞                                                                                                                                                                                             |                                                        |                                                                                                                                          |          |          |
|                                                                                                                                                                                                    | 項目                                                     | 平成 26 年度                                                                                                                                 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
| まちのせんせい<br>活用事業                                                                                                                                                                                    | 登録者数                                                   | 116 人                                                                                                                                    | 128 人    | 108 人    |
|                                                                                                                                                                                                    | 派遣依頼件数                                                 | 116 件                                                                                                                                    | 122 件    | 136 件    |
|                                                                                                                                                                                                    | 派遣人数                                                   | 91 人                                                                                                                                     | 80 人     | 145 人    |
|                                                                                                                                                                                                    | 主な指導内容                                                 | マジック・体操・ハンドベル・アロマテラピー等                                                                                                                   |          |          |
| 主な派遣先                                                                                                                                                                                              | 子ども会、自治会、老人会、保育所、幼稚園、幼児サークル、小学校、PTA、放課後子供教室、公共施設、高齢者施設 |                                                                                                                                          |          |          |
|                                                                                                                                                                                                    |                                                        |                                                                                                                                          |          |          |
| 評価（Check）                                                                                                                                                                                          |                                                        |                                                                                                                                          |          |          |
| <p>新たなまちのせんせいの登録者を増やすために、「寝屋川市まちのせんせいバンク実施要綱」の一部改正を行い、登録要件の緩和を行った。また、利用者向けのPRとしては、プチ体験コーナーを設け、1人からでも体験できる機会を作り、まちのせんせいに実演してもらった。</p> <p>生涯学習情報誌の中の「講師案内編」に、新たに「まちのせんせい」の名簿等を掲載し、情報発信を行うことができた。</p> |                                                        |                                                                                                                                          |          |          |
| 評定<br>当初の計画に対する進捗や<br>評価の内容等を踏まえて記載                                                                                                                                                                |                                                        | 今後の方向性（Innovation）                                                                                                                       |          |          |
| B                                                                                                                                                                                                  | A:達成している                                               | 未派遣のまちのせんせいの活用を充実させていくため、まちのせんせい自身で講座を企画したり、イベントなどで実施してもらうなど、スキルアップや体験講習会を兼ねるような形で活性化を引き続き、図っていく。また、高齢者が多く、辞退者も増えていることから新たな人材の発掘が必要と考える。 |          |          |
|                                                                                                                                                                                                    | B:おおむね達成している                                           |                                                                                                                                          |          |          |
|                                                                                                                                                                                                    | C:一部達成であり、<br>課題が残る                                    |                                                                                                                                          |          |          |
|                                                                                                                                                                                                    | D:達成できていない                                             |                                                                                                                                          |          |          |

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                                            |            |                |                |                |                |                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 構成取組④                                                                                                                                      | 生涯学習推進調整事務 |                |                |                |                |                |
| 計画（Plan）                                                                                                                                   |            |                |                |                |                |                |
| 生涯学習情報誌に「まちのせんせい」の情報を掲載するなどし、内容の充実を図る。また、発行時点での情報が最新のものとなるよう留意する。                                                                          |            |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                   |            |                |                |                |                |                |
| <div>学習情報誌の発行</div> <p>市民の生涯学習活動を支援するため、各種講座やイベントの行政情報を提供する「講座・イベント編」、学習活動を行う団体やサークルの情報を提供する「団体・サークル編」の２種類の生涯学習情報誌（ねやがわ生涯学習あんない）を発行した。</p> |            |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                      | 単位         | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| 学習情報誌への掲載講座数                                                                                                                               | 講座         | 726            | 702            | 701            | 715            | 720            |
|                                                                                                                                            |            |                |                |                |                |                |

## 取組内容（活動状況）

＜生涯学習情報誌発行数・掲載情報数＞

|       | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
|-------|----------|----------|----------|
| 発行冊数  | 5,700 冊  | 5,700 冊  | 5,700 冊  |
| 掲載団体数 | 916 団体   | 947 団体   | 908 団体   |
| 掲載講座数 | 726 講座   | 702 講座   | 701 講座   |

## 評価（Check）

生涯学習情報誌を発行するとともに、その内容を市ホームページや市広報誌に掲載し、市民の生涯学習を支援することができた。

また、「まちのせんせい」の情報を掲載することで、更なる内容の充実を図った。

### 評定

当初の計画に対する進捗や  
評価の内容等を踏まえて記載

### 今後の方向性（Innovation）

A

A:達成している

B:おおむね達成している

C:一部達成であり、課題が残る

D:達成できていない

今後においても、その時々での最新情報に留意しながら、市民の学習活動を促進するため、生涯学習情報誌の内容の充実を図り、学習機会に関する情報を提供していく。

## 平成 28 年度における取組状況

|                                                                                                                                             |  |         |                |                |                |                |                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|---------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 構成取組⑤                                                                                                                                       |  | 学び館管理事業 |                |                |                |                |                |
| 計画（Plan）                                                                                                                                    |  |         |                |                |                |                |                |
| 新たな施設として、指定管理者との連携を密にしながら、効果的な自主事業の展開により、稼働率の向上につなげていく。また、開設に当たり「学び館」の周知啓発を行う。                                                              |  |         |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                    |  |         |                |                |                |                |                |
| <div>学び館の管理運営</div> <p>開設に当たり、指定管理者選定委員会を設置し、特定非営利活動法人 笑顔 を指定管理者に選定した。</p> <p>世代間交流を推進するための効果的な自主事業を展開し、市民の自主学習・自主活動等に必要な場所を提供することができた。</p> |  |         |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                       |  | 単位      | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| 学び館利用者数                                                                                                                                     |  | 人       | —              | —              | 20,226         | 22,125         | 24,337         |
|                                                                                                                                             |  |         |                |                |                |                |                |

| 取組内容（活動状況）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                         |                                                                               |  |  |          |        |                        |         |                         |         |         |         |      |  |         |     |  |          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|--|--|----------|--------|------------------------|---------|-------------------------|---------|---------|---------|------|--|---------|-----|--|----------|
| <p>&lt; 学び館利用状況 &gt;</p> <table> <tr> <th colspan="2"></th><th>平成 28 年度</th></tr> <tr> <td rowspan="3">生涯学習事業</td><td>青少年健全育成講座<br/>(子ども向け講座)</td><td>5,882 人</td></tr> <tr> <td>青少年健全育成成人講座<br/>(大人向け講座)</td><td>1,743 人</td></tr> <tr> <td>世代間交流事業</td><td>3,235 人</td></tr> <tr> <td colspan="2">貸し館等</td><td>9,366 人</td></tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td><td>20,226 人</td></tr> </table> |                         |                                                                               |  |  | 平成 28 年度 | 生涯学習事業 | 青少年健全育成講座<br>(子ども向け講座) | 5,882 人 | 青少年健全育成成人講座<br>(大人向け講座) | 1,743 人 | 世代間交流事業 | 3,235 人 | 貸し館等 |  | 9,366 人 | 合 計 |  | 20,226 人 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                         | 平成 28 年度                                                                      |  |  |          |        |                        |         |                         |         |         |         |      |  |         |     |  |          |
| 生涯学習事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 青少年健全育成講座<br>(子ども向け講座)  | 5,882 人                                                                       |  |  |          |        |                        |         |                         |         |         |         |      |  |         |     |  |          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 青少年健全育成成人講座<br>(大人向け講座) | 1,743 人                                                                       |  |  |          |        |                        |         |                         |         |         |         |      |  |         |     |  |          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 世代間交流事業                 | 3,235 人                                                                       |  |  |          |        |                        |         |                         |         |         |         |      |  |         |     |  |          |
| 貸し館等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                         | 9,366 人                                                                       |  |  |          |        |                        |         |                         |         |         |         |      |  |         |     |  |          |
| 合 計                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                         | 20,226 人                                                                      |  |  |          |        |                        |         |                         |         |         |         |      |  |         |     |  |          |
| 評価（Check）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                         |                                                                               |  |  |          |        |                        |         |                         |         |         |         |      |  |         |     |  |          |
| <p>新たに開設した施設であり、学び館の場所の周知啓発や事業内容の情報発信を市広報誌・ホームページ等で積極的に行い、多くの市民に利用していただくことができた。</p> <p>複合施設のため、指定管理者と施設管理者(東障害福祉センター)と定期的に意見交換を行い、連携を密にすることで、市民ニーズへの対応や効率的・効果的な管理運営に努めた。</p>                                                                                                                                                                                                                    |                         |                                                                               |  |  |          |        |                        |         |                         |         |         |         |      |  |         |     |  |          |
| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                         | 今後の方向性（Innovation）                                                            |  |  |          |        |                        |         |                         |         |         |         |      |  |         |     |  |          |
| <b>B</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | A:達成している                | 指定管理者との連携を密にし、利用者の満足度の向上や、市民ニーズに対応するため、新たな自主事業の企画・運営を展開することにより、利用率の向上につなげていく。 |  |  |          |        |                        |         |                         |         |         |         |      |  |         |     |  |          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | B:おおむね達成している            |                                                                               |  |  |          |        |                        |         |                         |         |         |         |      |  |         |     |  |          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | C:一部達成であり、課題が残る         |                                                                               |  |  |          |        |                        |         |                         |         |         |         |      |  |         |     |  |          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | D:達成できていない              |                                                                               |  |  |          |        |                        |         |                         |         |         |         |      |  |         |     |  |          |

## 平成 28 年度における取組状況

| 構成取組⑥ 利用者サービス事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |    |               |               |               |               |               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |    |               |               |               |               |               |
| <p>図書館サービスの維持向上、専門性の継承を図るため、図書館運営の在り方を検討する。</p> <p>施設及び備品の老朽化が著しい中央図書館の長寿命化及びリニューアルについて、時期・規模・レイアウト等を、今後の人口推計等の社会情勢を含め年次計画策定に向けて検討する。</p>                                                                                                                                                                                      |    |               |               |               |               |               |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |    |               |               |               |               |               |
| <p><b>中央図書館学習室リニューアル事業</b></p> <p>中央図書館学習室（110席）を学習の場として市民に提供している。<br/>毎月第1金曜日及び年末年始6日間を除く毎日開室。</p> <p><b>東図書館リニューアル事業</b></p> <p>東図書館において、安全で快適な読書環境を提供している。<br/>毎月第2月曜日及び年末年始6日間を除く毎日開館。</p> <p>中央図書館における長寿命化等については、施設や備品の老朽化に伴う改修が必要な箇所を点検・確認し、長寿命化及びリニューアル計画の策定準備を進めた。<br/>市民の利便性向上を図るため、移動図書館おきがる号の巡回派遣先に大型商業施設を追加した。</p> |    |               |               |               |               |               |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 単位 | 26年度<br>（実績値） | 27年度<br>（実績値） | 28年度<br>（実績値） | 29年度<br>（見込値） | 30年度<br>（見込値） |
| 貸出延べ利用者数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 人  | 302,129       | 299,358       | 303,619       | 303,500       | 303,800       |
| 学習室利用者数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 人  | —             | —             | 31,278        | 31,500        | 32,500        |



## 取組内容（活動状況）

### 【図書館貸出冊数】

| 館別 \ 年度 | H26       | H27       | 対前年比   | H28       | 対前年比   |
|---------|-----------|-----------|--------|-----------|--------|
| 中央図書館   | 463,339   | 525,031   | 113.3% | 465,185   | 88.6%  |
| 東図書館    | 216,860   | 51,342    | 23.7%  | 170,712   | 332.5% |
| 駅前図書館   | 353,886   | 428,232   | 121.0% | 372,368   | 86.95% |
| 全館      | 1,242,475 | 1,214,068 | 97.7%  | 1,168,832 | 96.3%  |

※耐震工事により東図書館は平成 27 年度 9 か月間休館していた。

※全館には、中央・東・駅前図書館のほかコミュニティセンター 4 分室・移動図書館を含む。

## 評価（Check）

利用者サービスの数値については、情報メディアの多様化等の社会的要因により、貸出冊数は減少傾向だが、移動図書館の派遣先を増やす等の利用サービス充実により、貸出延利用者数を増やすことができた。

また、リニューアル事業については、使いやすさに配慮したレイアウト等を行うことで、利用者から高い評価を受けている。

### 評定

当初の計画に対する進捗や  
評価の内容等を踏まえて記載

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                 |                                                                                                     |
|----------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>B</b> | A:達成している        | <p>図書館サービスの維持向上、専門性の継承を図るため、図書館運営の在り方を検討する。</p> <p>中央図書館の長寿命化及びリニューアルについて、市公共施設の在り方等も視野に入れ検討する。</p> |
|          | B:おおむね達成している    |                                                                                                     |
|          | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                                     |
|          | D:達成できていない      |                                                                                                     |

## 平成 28 年度における取組状況

| 構成取組⑦ ICT化推進事業                                                                                                                                                                                    |    |                |                |                |                |                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                          |    |                |                |                |                |                |
| <p>市民ニーズの多様化、ICT化等の社会情勢を踏まえ、更なる利用者の利便性の向上や図書館業務の効率化に向けて図書館システムのあり方を検討する。</p> <p>ICT化を進めるために、新たな技術についても検討を続ける。</p> <p>WEB予約促進に向けて、更に周知を図る。</p>                                                     |    |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                          |    |                |                |                |                |                |
| <div>図書館システムの更新</div> <p>現行の図書館システムの老朽化に伴う対応と、市民の利便性の向上及び読書活動の活性化を目指し、費用対効果等の視点やセキュリティ性能を考慮したクラウド型図書館システムを設計した。</p> <p>また、利用者の利便性の向上と予約受付事務の軽減に効果が大きいWEB予約利用者拡大のため館内に案内掲示・利用者への声かけ等市民に周知を図った。</p> |    |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                             | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
| 貸出予約に占める<br>WEB予約率                                                                                                                                                                                | %  | 48.0           | 49.0           | 50.6           | 51.0           | 51.5           |
| 個人貸出冊数                                                                                                                                                                                            | 冊  | 1,199,387      | 1,173,725      | 1,168,832      | 1,236,400      | 1,237,600      |

## 取組内容（活動状況）

### ＜WEB予約サービスの状況＞

|            | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
|------------|----------|----------|----------|
| 予約受付数（件）   | 209,837  | 211,655  | 212,206  |
| 内WEB予約数(件) | 100,760  | 103,625  | 107,344  |

### ＜個人貸出冊数＞

（単位：冊）

|       | 平成 26 年度  | 平成 27 年度  | 平成 28 年度  |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 中央図書館 | 463,339   | 525,031   | 465,185   |
| 東図書館  | 216,860   | 51,342    | 170,712   |
| 駅前図書館 | 353,886   | 428,232   | 372,368   |
| 分 室   | 150,474   | 154,554   | 145,571   |
| 移動図書館 | 14,828    | 14,566    | 14,996    |
| 総 計   | 1,199,387 | 1,173,725 | 1,168,832 |

分室は西北・南・東北・西南4分室の合計冊

## 評価（Check）

図書館業務の効率化、市民サービスの維持向上のための図書館システム更新に向けた設計作業を行った。

WEB予約の利用拡大に周知を図ったことで、WEB予約率が増加した。

| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載 |                 | <b>今後の方向性（Innovation）</b>                                                                                       |
|----------------------------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>B</b>                               | A:達成している        | 利用者の利便性の向上や図書館業務の効率化・インターネットによる読書推進機能の充実、セキュリティ強化のためのクラウド型の図書館システムに更新する。<br>また、WEB予約促進に向けて、ホームページ等に掲載し、更に周知を図る。 |
|                                        | B:おおむね達成している    |                                                                                                                 |
|                                        | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                                                 |
|                                        | D:達成できていない      |                                                                                                                 |

## 平成 28 年度における取組状況

### 構成取組⑧ 子ども読書活動推進事業

#### 計画（Plan）

第 2 次子ども読書活動推進計画に基づき、更なる子どもの読書活動推進のため、事業を実施していく。

特に、学校教育分野への連携も深め、学校司書研修等の支援を通じて児童生徒の読書活動を推進する。

#### 取組内容（Do）

##### 第 2 次寝屋川市子ども読書活動推進計画の策定

子どもが読書の楽しさに気づく切っ掛けをつくり、更に子どもが自ら進んで本を読みたくなるような読書環境の整備を地域・家庭・学校など社会全体で支援する仕組みを総合的、計画的に推進するため、「第 2 次寝屋川市子ども読書活動推進計画（第 2 次計画）」を策定した。

※計画期間：平成 28 年度～平成 32 年度（5 か年）

##### 子ども読書活動の推進

第 2 次計画に基づき、「第 1 次計画」から継続している「ブックスタート事業」など就学前の子どもを対象とした読書活動推進施策を継続実施している。新たな取組では、学齢期の子どもを対象とした読書活動推進事業として、学校教育部と連携した学校司書研修を中央図書館で行った。また、平成 29 年度から本格実施する事業については、効果的な事業となるよう、詳細内容の検討を行った。

| 活動指標等    | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
|----------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 児童書の貸出冊数 | 冊  | 380,387        | 385,409        | 390,721        | 397,000        | 398,400        |
|          |    |                |                |                |                |                |

## 取組内容（活動状況）

### ＜子ども読書活動推進事業実績＞

| 事業名                       | 開催回数 | 参加者数/贈呈数 |
|---------------------------|------|----------|
| 子ども読書活動推進啓発講座<br>(4回×3講座) | 12回  | 延べ232人   |
| 絵本で子育てにこにこ赤ちゃん            | 51回  | 1,054人   |
| 保育所でのブックスタート              | 48回  | 3,396人   |
| 絵本を贈ろう事業（4か月児）            | 30回  | 1,748冊   |

### ＜団体貸出の貸出冊数＞

|          | 平成26年度  | 平成27年度  | 平成28年度  |
|----------|---------|---------|---------|
| 貸出冊数     | 43,088冊 | 40,343冊 | 38,039冊 |
| 学校園所     | 38校園所   | 45校園所   | 42校園所   |
| 地域文庫の団体数 | 1団体     | 1団体     | 1団体     |
| その他の団体数  | 49団体    | 51団体    | 50団体    |

## 評価（Check）

子どもの読書活動の推進については、学校教育部と連携し、学校司書研修を実施するなど、学齢期の子ども読書を更に進めるための学校連携を進めることができた。

全体としての貸出冊数については、児童書の貸出冊数は増加しているが、団体貸出の主な対象である学校園所の利用団体が減少したことで、団体貸出し数が減少した。

### 評価

当初の計画に対する進捗や  
評価の内容等を踏まえて記載

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                 |                                                                       |
|----------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------|
| <b>A</b> | A:達成している        | 第1次計画に基づき就学前の子どもの施策は継続実施するとともに、第2次計画に基づき、読書通帳の配布など学齢期の子どもの読書活動の推進を図る。 |
|          | B:おおむね達成している    |                                                                       |
|          | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                       |
|          | D:達成できていない      |                                                                       |

## 平成 28 年度における取組状況

### 構成取組⑨ 読書普及啓発事業

#### 計画（Plan）

ビジネス支援講座等、市民の読書活動の推進に努める。

#### 取組内容（Do）

##### 読書普及啓発イベント実施

本展（時期に応じたテーマごとの本を展示紹介）の実施や新刊本・ベストリーダー（最も読まれている本のランキング）の紹介等を行った。

図書館を活用して講演会等を開催し、より多くの市民に図書館を知ってもらうことで、市民の読書活動へつながる取組を行った。

また、市内在住の作家、門井慶喜氏が2年連続直木賞候補となったことや、平成28年秋場所で全勝優勝した豪栄道関と関係する本展を実施するなど、市民への読書普及を推進するためのイベントを実施した。

| 活動指標等       | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(見込値) |
|-------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 講座・講演会の参加者数 | 人  | 103            | 117            | 22             | 60             | 60             |
|             |    |                |                |                |                |                |

|            |
|------------|
| 取組内容（活動状況） |
|------------|

＜講座・講演会等参加者数＞

| 年 度      | 名 称                                                                                                | 参加者数  |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 平成 27 年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビジネス支援講座</li> <li>・ 歴史講演会</li> <li>・ コンサート 2 回</li> </ul> | 332 人 |
| 平成 28 年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビジネス支援講座</li> </ul> 「高齢化時代におけるネットビジネスのチャンス」               | 22 人  |

|            |  |
|------------|--|
| 評価 (Check) |  |
|------------|--|

他課でも行っている類似のイベント等は、他課と調整して整理し、読書の推進につながりやすいイベントに絞り込むことで、より効率的・効果的な読書推進を行うことができた。

## **評定** 当初の計画に対する進捗や 評価の内容等を踏まえて記載

|          |                 |
|----------|-----------------|
| <b>B</b> | A:達成している        |
|          | B:おおむね達成している    |
|          | C:一部達成であり、課題が残る |
|          | D:達成できていない      |

## 今後の方向性 (Innovation)

今後も効果的な講座を企画するとともに、市民ニーズに応じたイベント等を行うことで市民の読書活動の推進を図る。

## 平成 28 年度における取組状況

| 構成取組⑩ 障害者・高齢者・多文化サービス事業                                                                                                                                                                                                                                                          |    |                |                |                |                |                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 計画（Plan）                                                                                                                                                                                                                                                                         |    |                |                |                |                |                |
| 視覚障害者向け点字・録音図書の作成を市民団体との協働で行い、作成した点字・録音図書の目録を視覚障害者や視覚障害者団体に配付し、利用促進を図る。                                                                                                                                                                                                          |    |                |                |                |                |                |
| 取組内容（Do）                                                                                                                                                                                                                                                                         |    |                |                |                |                |                |
| <div>点字・録音図書の作成</div> <p>視覚障害者向け点字・録音図書の作成を市民団体との協働で行い、平成 28 年度は、点字図書 28 巻、デージー図書 38 巻（テープ図書の作成なし）を作成した。</p> <p>また、作成した点字・録音図書の目録を視覚障害者や視覚障害者団体に配付し、利用促進を図ることができた。</p> <p>点字・録音図書について、全巻ごとに資料登録しバーコードを貼付したことにより、1 巻ごとの蔵書検索が可能になり、予約・貸出・返却が中央図書館だけでなく、市内図書館分館・図書室でもできるようになった。</p> |    |                |                |                |                |                |
| <div>外国語資料の収集</div> <p>外国語を母語とする人が図書館に来館してもらえるよう、外国語原書の資料収集に努め、313 冊増やすことができた。</p>                                                                                                                                                                                               |    |                |                |                |                |                |
| 活動指標等                                                                                                                                                                                                                                                                            | 単位 | 26 年度<br>（実績値） | 27 年度<br>（実績値） | 28 年度<br>（実績値） | 29 年度<br>（見込値） | 30 年度<br>（見込値） |
| 点字・録音図書の貸出                                                                                                                                                                                                                                                                       | 巻  | 1,519          | 1,508          | 2,116          | 2,200          | 2,200          |
| 外国語資料の冊数                                                                                                                                                                                                                                                                         | 冊  | 1,143          | 1,173          | 1,486          | 1,736          | 1,900          |



| 取組内容（活動状況）                                                                            |                 |                                                                                                 |          |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|--|
| ＜点字・録音図書貸出数＞                                                                          |                 |                                                                                                 |          |  |
|                                                                                       | 平成 26 年度        | 平成 27 年度                                                                                        | 平成 28 年度 |  |
| 点字図書                                                                                  | 51              | 151                                                                                             | 266      |  |
| テープ図書                                                                                 | 1, 288          | 1, 024                                                                                          | 1, 350   |  |
| デイジー図書                                                                                | 180             | 333                                                                                             | 500      |  |
| ※各数値は、巻数                                                                              |                 |                                                                                                 |          |  |
| 評価（Check）                                                                             |                 |                                                                                                 |          |  |
| 視覚障害者向け点字・録音図書の作成を市民団体との協働で行い、作成した点字・録音図書の目録を視覚障害者や視覚障害者団体に配付し、利用促進を図り、貸出数を増やすことができた。 |                 |                                                                                                 |          |  |
| <b>評定</b><br>当初の計画に対する進捗や評価の内容等を踏まえて記載                                                |                 | <b>今後の方向性（Innovation）</b>                                                                       |          |  |
| <b>A</b>                                                                              | A:達成している        | 視覚障害者向け点字・録音図書の作成を市民団体との協働で行い、作成した点字・録音図書の目録を視覚障害者や視覚障害者団体に配付し、更に利用促進を図る。<br>また、外国語原書の資料の充実を図る。 |          |  |
|                                                                                       | B:おおむね達成している    |                                                                                                 |          |  |
|                                                                                       | C:一部達成であり、課題が残る |                                                                                                 |          |  |
|                                                                                       | D:達成できていない      |                                                                                                 |          |  |

## 教育大綱重点取組の総合評価

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |            |                                                                                                  |          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| ① 日本語よみかき促進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | B          | ⑨読書普及啓発事業                                                                                        | B        |
| ② 成人教育講座事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | A          | ⑩障害者・高齢者・多文化サービス事業                                                                               | A        |
| ③ まちのせんせい活用事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | B          | ⑪                                                                                                |          |
| ④ 生涯学習推進調整事務                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | A          | ⑫                                                                                                |          |
| ⑤ 学び館管理事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | B          | ⑬                                                                                                |          |
| ⑥ 利用者サービス事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | B          | ⑭                                                                                                |          |
| ⑦ ICT化推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | B          | ⑮                                                                                                |          |
| ⑧ 子ども読書活動推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | A          | ⑯                                                                                                |          |
| 上記については、重点取組内の構成取組における評<br>定を記入し、評定平均を計算。<br><u>評定点数</u><br><u>A = 5、B = 3、C = 2、D = 1</u>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |            | 総合評価基準<br>A：取組評価平均 4.0 以上<br>B：取組評価平均 2.5 以上 4.0 未満<br>C：取組評価平均 1.5 以上 2.5 未満<br>D：取組評価平均 1.5 未満 |          |
| <b>評定平均</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <b>3.8</b> | <b>総合評価</b>                                                                                      | <b>B</b> |
| <b>アドバイザーからの意見</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |            |                                                                                                  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語よみかき促進事業については、子どもに対しては学校教育等で十分な教育をしていると感じるが、保護者についても、学校を通じて学習ができる場があることを周知する必要がある。</li> <li>成人教育については、市民ニーズに対応する場合、多くは教養講座となり、趣味の域を超えないものになってしまう。成人教育のあるべき姿を市として示すなどし、施策を進めていく必要がある。</li> <li>まちのせんせい活動事業については、成人教育の最たるものであり、教えるものと教えられるものが共に成長していくことができる重要な事業である。情報を掲載し、一覧にするだけでなく、イベントを企画し、活動内容を披露できる場を作ることによって多くの市民参画につなげている事例もある。</li> <li>子どもの読書活動については、本を読まない世代が親になった場合に、子に対して読書を進めていくことができるかといえ難い。子だけでなく、親世代への取組みも必要である。また、実績を見ても、全体の本の貸出件数は減少傾向となっており、この事実については、十分に危機感を持つ必要がある。資本を投入し、不読率の低下に努めていただきたい。</li> </ul> |            |                                                                                                  |          |
| <b>総 合 評 価</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |            |                                                                                                  |          |
| 市民ニーズに対応した日本語よみかき学級・成人教育講座・まちのせんせい活用事業を実施し、生涯学習を推進することができた。<br>また、学び館の開設に伴い、指定管理者と連携を図りながら、学習機会の提供を行うなど、市民サービスの向上につなげることができた。<br>読書活動の推進については、第2次子ども読書活動推進計画を策定した。また、学校読書推進のため、新たに配置された学校司書に対する研修を実施した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |            |                                                                                                  |          |

平成28年度  
教育に関する事務の点検・評価  
報告書（概要版）

平成29年9月

寝屋川市教育委員会

# 点検・評価方法

## 1 趣旨

効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、教育に関する事務の点検・評価を行うものです。

## 2 点検・評価の対象

点検評価の対象は、『寝屋川市教育大綱実施計画』の推進体制に基づいて実施した、平成 28 年度の主な事業としており、実施計画の進行管理を意識した取組とします。

## 3 点検・評価の方法

- (1) 点検・評価に当たっては、教育大綱重点取組を構成する具体的な取組内容ごとの取組実績等を分析し、教育大綱重点取組における取組指標の達成度を明らかにするとともに、評価を示すこととします。
- (2) 点検・評価に当たっては、教育委員会に「教育行政事務の点検及び評価に関する会議」を設け、点検・評価を行いました。また、客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方にも会議に入ってください、御意見や御助言をいただきました。

### 【学識経験者】

|        |       |     |
|--------|-------|-----|
| 大阪国際大学 | 田中 優  | 教授  |
| 兵庫県立大学 | 竹内 和雄 | 准教授 |

## 4 点検評価結果の構成（概要版）

教育大綱重点取組に対する評価結果を主に掲載しており、教育大綱重点取組名及び推進する体制（構成取組）、教育大綱実施計画における取組概要（平成 27 年度～30 年度）、アドバイザーからの意見、総合評価を記載しています。

※ 詳細については、平成 28 年度教育に関する事務の点検・評価報告書を御覧ください。

寝屋川市教育大綱推進体制一覧表

| 教育大綱<br>4つの基本方針 | 教育大綱重点取組                   | 総合評価 | 総合計画における構成取組（平成28年度）  | 評価 |
|-----------------|----------------------------|------|-----------------------|----|
| 生きる力、学ぶ力を育む     | 小中一貫教育の推進<br>（特色ある中学校区づくり） | B    | 小中一貫教育推進事業            | B  |
|                 |                            |      | 小中一貫校の設置事務            | A  |
|                 |                            |      | 寝屋川教育フォーラム開催事業        | B  |
|                 |                            |      | 教育関係職員研修事業            | B  |
|                 |                            |      | ドリームプラン推進事業           | A  |
|                 | 自ら学ぶ力の育成                   | A    | 英検受検料補助事業             | B  |
|                 |                            |      | 外国人英語講師派遣事業           | A  |
|                 |                            |      | イングリッシュプレゼンテーションコンテスト | A  |
|                 |                            |      | 英語村（英語力向上プラン）事業       | A  |
|                 |                            |      | 学園ICT化構想事業            | B  |
|                 |                            |      | 中学校休業日等学習支援事業         | A  |
|                 |                            |      | 少人数教育推進事業             | A  |
|                 |                            |      | 少人数学級推進事業             | A  |
|                 |                            |      | 学力向上支援人材事業            | A  |
|                 |                            |      | 学習到達度調査事業             | B  |
|                 |                            |      | 教育相談事業                | A  |
|                 |                            |      | 教育活動支援人材活用事業          | A  |
|                 |                            |      | 児童生徒支援人材派遣事業          | A  |
|                 | 特色ある就学前教育の推進               | B    | スクールソーシャルワーカー配置事業     | B  |
|                 |                            |      | スクールカウンセラー配置事業        | A  |
|                 |                            |      | 特色ある幼稚園づくり事業          | B  |
| 安心して学べる環境で育む    | 教育環境の支援・充実                 | A    | 子育てステップ活用事業           | B  |
|                 |                            |      | 地域人材活用事業              | A  |
|                 |                            |      | 小学校給食運営事業             | A  |
|                 |                            |      | 小学校調理業務委託事業           | A  |
|                 |                            |      | 中学校給食運営事業             | A  |
|                 |                            |      | 義務教育就学援助事業            | B  |
|                 |                            |      | 私立幼稚園就園奨励費補助金支給事業     | A  |
|                 | 教育環境の整備                    | A    | 通学路安全対策事業             | A  |
|                 |                            |      | プール改修事業               | A  |
|                 |                            |      | 屋内運動場改修事業             | A  |
| 地域の絆で育む         | 地域教育力の活性化                  | A    | 小中学校施設改修事業            | A  |
|                 |                            |      | 地域教育協議会活動推進事業         | A  |
|                 |                            |      | 学校安全体制整備推進事業          | B  |
|                 |                            |      | ねやがわ子どもフォーラム事業        | A  |
|                 |                            |      | 家庭教育サポートチーム派遣事業       | A  |
|                 |                            |      | 家庭教育学級事業              | B  |
|                 |                            |      | 子どもへの暴力防止プログラム        | A  |
|                 | 青少年の健全育成                   | A    | 学校支援地域本部事業            | B  |
|                 |                            |      | 放課後子供教室推進事業           | A  |
|                 |                            |      | 留守家庭児童会児童健全育成事業       | A  |
|                 |                            |      | 青少年リーダー育成事業           | B  |
|                 |                            |      | 青少年の居場所づくり事業          | A  |
|                 |                            |      | 成人式事業                 | A  |
|                 |                            |      | 青少年健全育成事業             | B  |
| 生涯の学びを育む        | 文化芸術の振興                    | B    | アルカスホール管理             | B  |
|                 |                            |      | 文化施策振興事業              | B  |
|                 | スポーツ活動の振興                  | A    | 生涯スポーツ事業              | A  |
|                 |                            |      | 競技スポーツ事業              | A  |
|                 |                            |      | 市民体育館管理運営事業           | A  |
|                 | 学習活動の充実                    | B    | 日本語よみかき促進事業           | B  |
|                 |                            |      | 成人教育講座事業              | A  |
|                 |                            |      | まちのせんせい活用事業           | B  |
|                 |                            |      | 生涯学習推進調整事務            | A  |
|                 |                            |      | 学び館管理事業               | B  |
|                 |                            |      | 利用者サービス事業             | B  |
|                 |                            |      | ICT化推進事業              | B  |
|                 |                            |      | 子ども読書活動推進事業           | A  |
|                 |                            |      | 読書普及啓発事業              | B  |
|                 |                            |      | 障害者・高齢者・多文化サービス事業     | A  |

| 教育大綱重点取組                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                    |              |   |                 |   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---|-----------------|---|
| 小中一貫教育の推進（特色ある中学校区づくり）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                    |              |   |                 |   |
| 教育大綱重点取組を推進する体制（構成取組）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                    |              |   |                 |   |
| ①小中一貫教育推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | B                                                                                                                                                                                                                                                  | ②小中一貫校の設置事務  | A | ③寝屋川教育フォーラム開催事業 | B |
| ④教育関係職員研修事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | B                                                                                                                                                                                                                                                  | ⑤ドリームプラン推進事業 | A |                 |   |
| 教育大綱実施計画における取組概要（平成 27 年度～平成 30 年度）                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                    |              |   |                 |   |
| <p>平成17年度から小中一貫教育の下、各中学校区において9年間で目指す子ども像を明確にし、特色ある中学校区づくりを推進する中で、子どもたちの学力、心力、体力の向上を図っている。</p> <p>これまでの取組の成果や法改正の動き、国における調査報告等を踏まえ、家庭・地域等との連携の下、更なる小中一貫教育の推進を図る。</p>                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                    |              |   |                 |   |
| アドバイザーからの意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                    |              |   |                 |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力については、様々な施策によって向上してきているが、そのことを市民や保護者へ広報していくことが重要であるとともに、どの施策が特に効果的であったかを検証することも必要である。</li> <li>・ 教職員研修については、即座に研修結果をシステムで集計するなどの手法を用いて負担感を減らし、効果測定に基づく改善を進めていく必要があり、講師に結果をフィードバックする仕組みも重要である。</li> <li>・ 特色ある中学校づくりは非常に素晴らしい取組であるが、長く続けていくと、行うことが目的化してしまう恐れもあるため、引き続き事業の検証を進めていただきたい。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                    |              |   |                 |   |
| 総合評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                    |              |   |                 |   |
| B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | <p>本市の 11 年間にわたる小中一貫教育の取組についての検証を行うとともに、今後の小中一貫教育の方向性を定めた「小中一貫教育の検証並びに今後について」を策定したほか、小中一貫教育を推進するに当たり、ドリームプラン等の各種取組を引き続き行った。</p> <p>また、教育フォーラムや教職員に対する研修の実施により、本市が目指す小中一貫教育の方針を市全体で共有することができた。</p> <p>今後については、全市的な小中一貫校へ移行し、義務教育全体の質の向上を目指していく。</p> |              |   |                 |   |

| 教育大綱重点取組                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                    |                    |   |                        |   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---|------------------------|---|
| 自ら学ぶ力の育成                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                    |                    |   |                        |   |
| 教育大綱重点取組を推進する体制（構成取組）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                    |                    |   |                        |   |
| ①英検受検料補助事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | B                                                                                                                                                  | ②外国人英語講師派遣事業       | A | ③イングリッシュプレゼンテーションコンテスト | A |
| ④英語村（英語力向上プラン）事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | A                                                                                                                                                  | ⑤学園 I C T 化構想事業    | B | ⑥中学校休業日等学習支援事業         | A |
| ⑦少人数教育推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | A                                                                                                                                                  | ⑧少人数学級推進事業         | A | ⑨学力向上支援人材事業            | A |
| ⑩学習到達度調査事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | B                                                                                                                                                  | ⑪教育相談事業            | A | ⑫教育活動支援人材活用事業          | A |
| ⑬児童生徒支援人材派遣事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | A                                                                                                                                                  | ⑭スクールソーシャルワーカー配置事業 | B | ⑮スクールカウンセラー配置事業        | A |
| 教育大綱実施計画における取組概要（平成 27 年度～平成 30 年度）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                    |                    |   |                        |   |
| <p>児童生徒の学力向上を図るため、少人数教育の推進、I C T を活用した授業、放課後などの学習の場の充実、生活改善などを通して、きめ細かな指導を実現することで、学ぶ習慣・意欲の向上、学力向上を目指す。また、英語村事業、外国人英語講師の配置、英検受検料の補助、イングリッシュプレゼンテーションコンテスト等により、英語力の向上に努めるとともに、児童生徒の国際理解を深め、コミュニケーション力の育成を図る。さらに、支援人材等を有効活用することで、不登校、いじめ等の問題行動の早期発見・早期対応を図るとともに、未然防止のための開発的生徒指導を推進する。市立学校の教職員の資質向上を図り、学校教育内容の充実に努める。</p>                                         |                                                                                                                                                    |                    |   |                        |   |
| アドバイザーからの意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                    |                    |   |                        |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学生の不登校については、以前は中一ギャップが取りざたされていたが、小学生の早い段階からアプローチする視点が重要であり、検証を進めていく必要がある。</li> <li>・ 中学校休業日等学習支援事業については、非常に良い取組であり、インターネットコンテンツにおいても多く利用されている。今後も利用促進のための広報と、事業の成果を市民の方々に P R する必要がある。</li> <li>・ 教育相談事業については、他市の相談件数から比較しても、事業が活用されていると判断できるが、相談する機会を拡充するためにも、相談受付に S N S 等を利用するなど、先進事例の調査研究を進めていただきたい。</li> </ul> |                                                                                                                                                    |                    |   |                        |   |
| 総合評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                    |                    |   |                        |   |
| A                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <p>ICT 機器の充実や少人数教育推進人材等の活用により、きめ細かな指導が充実し、学ぶ習慣や学習意欲の向上につながった。また、中学校休業日等学習支援事業等を活用した、家庭学習の定着のための支援を行うことで、家庭学習習慣の意識向上につながり、児童生徒の学力にも着実に成果が表れている。</p> |                    |   |                        |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <p>外国人英語講師の配置や、英語村の取組により、各小中学校の授業改善が進み児童生徒が更に英語に興味を持ったり、英語を使つてのコミュニケーションに自信を持って取り組んだりできるようになった。</p>                                                |                    |   |                        |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <p>また、「チーム学校」として、教職員と各支援人材、家庭・地域、更には「子どもを守る課」等の庁内連携や関係機関との連携を進めることで、いじめや不登校、問題行動等の未然防止につながるとともに、各校の特色ある取組を推進することができた。</p>                          |                    |   |                        |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <p>今後は、各事業を効果的に連動させていく中で、児童生徒の自ら学ぶ力の育成を図っていく必要がある。</p>                                                                                             |                    |   |                        |   |

| 教育大綱重点取組                                                                                                                                                                           |                                                                                                      |              |   |           |   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---|-----------|---|
| 特色ある就学前教育の推進                                                                                                                                                                       |                                                                                                      |              |   |           |   |
| 教育大綱重点取組を推進する体制（構成取組）                                                                                                                                                              |                                                                                                      |              |   |           |   |
| ①特色ある幼稚園づくり事業                                                                                                                                                                      | B                                                                                                    | ②子育てステップ活用事業 | B | ③地域人材活用事業 | A |
| 教育大綱実施計画における取組概要（平成 27 年度～平成 30 年度）                                                                                                                                                |                                                                                                      |              |   |           |   |
| 異年齢交流や年齢に応じた体力づくり等を推進する「特色ある幼稚園づくり事業」や、幼児の成長と保護者の子育てを支援する「子育てステップ」の活用、地域社会との連携を深める「地域人材活用事業」の実施などにより、特色ある就学前教育を推進する。                                                               |                                                                                                      |              |   |           |   |
| アドバイザーからの意見                                                                                                                                                                        |                                                                                                      |              |   |           |   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 保護者が育児に関する知識をスマートフォンから得ることが多くなった時代に、人と関わりを持って子育てのサポートを行う事業の重要性は高まっている。</li><li>・ 教育委員会の所管外である保育所等を含めた就学前を対象とした広い視点で取組を進めていただきたい。</li></ul> |                                                                                                      |              |   |           |   |
| 総合評価                                                                                                                                                                               |                                                                                                      |              |   |           |   |
| B                                                                                                                                                                                  | 絵本の読み聞かせや遊び、スポーツを通じた小学生と園児との交流等の対象学年を広げるなどの推進を図った。今後も、他の幼稚園や小中学生、未就園児、地域の方と計画的に交流を行うことで、心の成長につなげていく。 |              |   |           |   |
|                                                                                                                                                                                    | また、「保育所園・こども園・幼稚園連携の集い」、「教育研究員活動」等により教員の連携及び情報共有を通して、小学校への円滑な接続にさらにつなげられるよう取組んでいく。                   |              |   |           |   |
|                                                                                                                                                                                    | 今後の公立幼稚園の在り方については、子ども子育て支援の観点から、関係部局と調整を図りながら、検討を行っていく。                                              |              |   |           |   |



| 教育大綱重点取組                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                               |                    |   |            |   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---|------------|---|
| 教育環境の支援・充実                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                               |                    |   |            |   |
| 教育大綱重点取組を推進する体制（構成取組）                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                               |                    |   |            |   |
| ①小学校給食運営事業                                                                                                                                  | A                                                                                                                                                                                                                                                             | ②小学校調理業務委託事業       | A | ③中学校給食運営事業 | A |
| ④義務教育就学援助事業                                                                                                                                 | B                                                                                                                                                                                                                                                             | ⑤私立幼稚園就園奨励費補助金支給事業 | A | ⑥通学路安全対策事業 | A |
| 教育大綱実施計画における取組概要（平成 27 年度～平成 30 年度）                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                               |                    |   |            |   |
| <p>経済的事情によって幼稚園、小学校、中学校への就学（園）が困難な子どもの保護者に対して必要な援助を行い、より円滑な就学（園）を支援するとともに、通学路の安全対策の実施や栄養バランスのとれたおいしい学校給食の提供により子どもたちの安全と健康をサポートする。</p>       |                                                                                                                                                                                                                                                               |                    |   |            |   |
| アドバイザーからの意見                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |                    |   |            |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年次的な計画を基に実施している事業が多く、指標等の設定が難しいと思われるが、他市の実績をベンチマークにして比較するなどして、市民に分かりやすい指標を設定することが重要である。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                               |                    |   |            |   |
| 総合評価                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                               |                    |   |            |   |
| A                                                                                                                                           | <p>児童生徒が円滑に就学し、安心して学べる教育環境の充実は、刻々と変化する社会情勢等を踏まえ、適時検討し、適切に取組を展開する必要がある。</p> <p>その中で、私立幼稚園就園奨励費補助金の支給や、経済的事情により就学が困難な児童生徒の保護者に対する義務教育就学奨励費の支給により、円滑な就学や就園を推進できており、評価できる。</p> <p>また、経済支援のみならず、学校生活を支える通学や給食の環境についても、必要な改善を図るほか、費用対効果を意識した、効率的運営を目指すことが必要である。</p> |                    |   |            |   |

| 教育大綱重点取組                                                                               |                                                                                                      |            |   |             |   |
|----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---|-------------|---|
| 教育環境の整備                                                                                |                                                                                                      |            |   |             |   |
| 教育大綱重点取組を推進する体制（構成取組）                                                                  |                                                                                                      |            |   |             |   |
| ①プール改修事業                                                                               | A                                                                                                    | ②屋内運動場改修事業 | A | ③小中学校施設改修事業 | A |
| 教育大綱実施計画における取組概要（平成 27 年度～平成 30 年度）                                                    |                                                                                                      |            |   |             |   |
| 児童生徒が安全で快適な学校生活が送れるよう、プール改修事業、屋内運動場改修事業、小中学校施設改修事業等に取り組み、教育環境の充実を目指し、計画的に学校施設の整備に取り組む。 |                                                                                                      |            |   |             |   |
| アドバイザーからの意見                                                                            |                                                                                                      |            |   |             |   |
| ・ 今後とも各事業の推進に努めていただきたい。                                                                |                                                                                                      |            |   |             |   |
| 総合評価                                                                                   |                                                                                                      |            |   |             |   |
| A                                                                                      | 学校施設の経年化対策として、引き続き、プール、屋内運動場屋根・床、校舎棟トイレを洋式等に改修し、児童生徒が安全で快適に学べるとともに、避難所としての役割も果たせるよう教育環境を整備していく必要がある。 |            |   |             |   |

| 教育大綱重点取組                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                   |               |   |                 |   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---|-----------------|---|
| 地域教育力の活性化                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                   |               |   |                 |   |
| 教育大綱重点取組を推進する体制（構成取組）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                   |               |   |                 |   |
| ①地域教育協議会活動推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | A                                                                                                                                                                                                                 | ②学校安全体制整備推進事業 | B | ③ねやがわ子どもフォーラム事業 | A |
| ④家庭教育サポートチーム派遣事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | A                                                                                                                                                                                                                 | ⑤家庭教育学級事業     | B | ⑥子どもへの暴力防止プログラム | A |
| ⑦学校支援地域本部事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | B                                                                                                                                                                                                                 |               |   |                 |   |
| 教育大綱実施計画における取組概要（平成 27 年度～平成 30 年度）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                   |               |   |                 |   |
| <p>地域コミュニティを更に活性化するために、講演会やイベント、子ども安全見守り隊等を活用し、学校・家庭・地域・行政が連携して社会全体で子どもを守る環境を構築する。</p> <p>また、子育て等に不安や悩みを抱える保護者に対し、家庭教育サポーターを派遣し、支援を行うことや、講演会等を通じて、学校・家庭・地域の在り方を考える機会を提供する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                   |               |   |                 |   |
| アドバイザーからの意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                   |               |   |                 |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>安全見守り隊等による見守り活動については、単体でも効果的であるが、他部署の事業と合わせて、市として子どもの安全対策について力を入れている事を市民、保護者へ広報していくことも重要であり、犯罪の抑止力にも繋がっていくと考える。</li> <li>学校安全体制整備推進事業については、登下校中の見守り活動等により声かけ事案の件数が減っている等の具体的な効果を把握していく必要がある、他市では検証している取組もあるため、寝屋川市でも検証を進めていただきたい。</li> <li>地域教育協議会の活動について、中学校区ごとに特色がある取組が進められているが、他校区による取組や、自校区の弱み強みを知ることで、次への展望が見えていくと考えるため、情報共有を進めていただきたい。</li> <li>家庭教育サポートチーム派遣事業については、重要な事業であると認識しており、今後も継続していく必要があるが、活動回数のような量的側面だけではなく、具体的にどのような効果があつた等の質的な評価をしていく必要がある。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                   |               |   |                 |   |
| 総合評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                   |               |   |                 |   |
| A                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <p>子育てに不安や悩みを持つ保護者に対して、訪問型支援や講座・講演会を通じて、子育てへの不安等の解消を図るとともに、学校と連携したサポート体制を継続して実施できた。</p> <p>学校・家庭・地域と行政が、連携して社会全体で「子どもを守る」ことの重要性を認識し、見守り活動や地域パトロールを実施した。また、「社会マナー」を学ぶ事業として、自転車利用のマナー教室や茶道教室など、礼儀礼節をも学ぶ機会を提供した。</p> |               |   |                 |   |

| 教育大綱重点取組                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                               |                  |   |              |   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|---|--------------|---|
| 青少年の健全育成                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                               |                  |   |              |   |
| 教育大綱重点取組を推進する体制（構成取組）                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                               |                  |   |              |   |
| ①放課後子供教室推進事業                                                                                                                                                                                                                                                               | A                                                                                                                                                                                                                                             | ②留守家庭児童会児童健全育成事業 | A | ③青少年リーダー育成事業 | B |
| ④青少年の居場所づくり事業                                                                                                                                                                                                                                                              | A                                                                                                                                                                                                                                             | ⑤成人式事業           | A | ⑥青少年健全育成事業   | B |
| 教育大綱実施計画における取組概要（平成 27 年度～平成 30 年度）                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                               |                  |   |              |   |
| <p>全ての児童にとって安全・安心な放課後の居場所づくりを推進するため、「放課後子供教室事業」及び「留守家庭児童会事業」を実施する。</p> <p>子ども・子育て支援新制度により対象児童が小学 6 年生までに拡充されたことを受け、入会児童の増加に伴う、環境整備を実施する。</p> <p>市内在住・在学の小学生からおおむね 30 歳までの若者が、社会体験、ボランティア活動やキャンプ活動を通じて、次代を担う青少年リーダーを育成する。</p> <p>中学生以上の青少年が、安全・安心に集える場所として青少年の居場所を増設する。</p> |                                                                                                                                                                                                                                               |                  |   |              |   |
| アドバイザーからの意見                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                               |                  |   |              |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 留守家庭児童会健全育成事業については、入会児童の対象を 6 年生まで拡充したことによる成果と課題についても把握・分析が必要である。</li> <li>・ 成人式事業について、実行委員会が SNS 等を利用し広く周知したことも出席率の上昇につながったと考える。SNS はトラブルがあった際の対処が難しい点はあるが、若者に周知する際には特に効果的である。</li> </ul>                                        |                                                                                                                                                                                                                                               |                  |   |              |   |
| 総合評価                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                               |                  |   |              |   |
| A                                                                                                                                                                                                                                                                          | <p>留守家庭児童会については、小学校全校で 6 年生まで受け入れを拡大し、入会児童数の増加に伴う施設の整備を行い、保育サービスの充実を行った。</p> <p>放課後子ども総合プランの施行に伴い、小学校 24 校の中から 6 校のモデル校を選定し、留守家庭児童会を含めた一体型事業を推進した。</p> <p>青少年の居場所については、居場所スペースの拡充及び開設時間の延長、駅前での居場所の開設を行うことにより、青少年が気軽に立ち寄り、交流できる場所の充実を図った。</p> |                  |   |              |   |

| 教育大綱重点取組                                                                                                                                                    |                                                                                                                                          |           |   |  |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---|--|--|
| 文化芸術の振興                                                                                                                                                     |                                                                                                                                          |           |   |  |  |
| 教育大綱重点取組を推進する体制（構成取組）                                                                                                                                       |                                                                                                                                          |           |   |  |  |
| ①アルカスホール管理                                                                                                                                                  | B                                                                                                                                        | ②文化施策振興事業 | B |  |  |
| 教育大綱実施計画における取組概要（平成 27 年度～平成 30 年度）                                                                                                                         |                                                                                                                                          |           |   |  |  |
| <p>地域交流や文化振興の拠点としてアルカスホールをより一層活用するとともに、文化に関するきめ細かな情報発信を行い、文化振興のための環境づくりを推進する。</p> <p>また、活動・発表・鑑賞の機会の充実を図るとともに、文化芸術活動を担う人材の育成や新たな参加者の確保など、文化芸術活動の活性化を図る。</p> |                                                                                                                                          |           |   |  |  |
| アドバイザーからの意見                                                                                                                                                 |                                                                                                                                          |           |   |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>今後とも各事業の推進に努めていただきたい。</li></ul>                                                                                       |                                                                                                                                          |           |   |  |  |
| 総合評価                                                                                                                                                        |                                                                                                                                          |           |   |  |  |
| B                                                                                                                                                           | <p>多種多様な文化振興事業の実施や地域交流の拠点としてアルカスホールを活用することで、市民の活動・発表・鑑賞の機会の充実を図り、文化に関する情報提供を行うとともに、団体などを育成・支援するなど、市民が自主的に文化活動を行うための環境づくりを推進することができた。</p> |           |   |  |  |

| 教育大綱重点取組                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |           |   |              |   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---|--------------|---|
| スポーツ活動の振興                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |           |   |              |   |
| 教育大綱重点取組を推進する体制（構成取組）                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |           |   |              |   |
| ①生涯スポーツ事業                                                                               | A                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ②競技スポーツ事業 | A | ③市民体育館管理運営事業 | A |
| 教育大綱実施計画における取組概要（平成 27 年度～平成 30 年度）                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |           |   |              |   |
| <p>誰もがそれぞれのライフスタイルや目的に合わせ、生涯にわたり、スポーツに親しめる環境の充実を図るとともに、競技スポーツの普及、競技力向上を目指した取組を推進する。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |           |   |              |   |
| アドバイザーからの意見                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |           |   |              |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後とも各事業の推進に努めていただきたい。</li> </ul>               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |           |   |              |   |
| 総合評価                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |           |   |              |   |
| A                                                                                       | <p>生涯スポーツ・競技スポーツに関わらず、市民がスポーツに親しむ機会や学ぶ機会を充実し、本市スポーツの振興を図ることができた。また様々なスポーツに関する情報を積極的に提供するとともに、スポーツリーダーズバンクやスポーツ推進委員を活用することで、市域におけるスポーツ活動の活性化に努めることができた。</p> <p>今後は、更に様々なスポーツを体験する機会を充実し、スポーツ基本計画に基づき、成人の週 1 回以上のスポーツ実施率を 3 人に 2 人に、週 3 回以上のスポーツ実施率を 3 人に 1 人となるような施策の検討、並びに市民体育館を含めた社会体育施設において、利用者が安全に快適に活動できるよう環境整備にも努めていく。</p> |           |   |              |   |

| 教育大綱重点取組                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                        |              |   |              |   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---|--------------|---|
| 学習活動の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                        |              |   |              |   |
| 教育大綱重点取組を推進する体制（構成取組）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                        |              |   |              |   |
| ①日本語よみかき促進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | B                                                                                                                                                                                                                      | ②成人教育講座事業    | A | ③まちのせんせい活用事業 | B |
| ④生涯学習推進調整事務                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | A                                                                                                                                                                                                                      | ⑤学び館管理事業     | B | ⑥利用者サービス事業   | B |
| ⑦ICT化推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | B                                                                                                                                                                                                                      | ⑧子ども読書活動推進事業 | A | ⑨読書普及啓発事業    | B |
| ⑩障害者・高齢者・多文化サービス事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | A                                                                                                                                                                                                                      |              |   |              |   |
| 教育大綱実施計画における取組概要（平成27年度～平成30年度）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                        |              |   |              |   |
| <p>誰もが、いつでも、どこでも学習活動に取り組むことができる学習の場を整備するとともに、幅広い学習情報を提供し、学習機会の確保に取り組む。</p> <p>また、地域人材の養成や市民が学び得た成果を通じて地域に還元していく取組を進める。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                        |              |   |              |   |
| アドバイザーからの意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                        |              |   |              |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語よみかき促進事業については、子どもに対しては学校教育等で十分な教育をしていると感じるが、保護者についても、学校を通じて学習ができる場があることを周知する必要がある。</li> <li>成人教育については、市民ニーズに対応する場合、多くは教養講座となり、趣味の域を超えないものになってしまう。成人教育のあるべき姿を市として示すなどし、施策を進めていく必要がある。</li> <li>まちのせんせい活動事業については、成人教育の最たるものであり、教えるものと教えられるものが共に成長していくことができる重要な事業である。情報を掲載し、一覧にするだけでなく、イベントを企画し、活動内容を披露できる場を作ることによって多くの市民参画につなげている事例もある。</li> <li>子どもの読書活動については、本を読まない世代が親になった場合に、子に対して読書を進めていくことができるかといえは難しい。子だけでなく、親世代への取組みも必要である。また、実績を見ても、全体の本の貸出件数は減少傾向となっており、この事実については、十分に危機感を持つ必要がある。資本を投入し、不読率の低下に努めていただきたい。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                        |              |   |              |   |
| 総合評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                        |              |   |              |   |
| B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <p>市民ニーズに対応した日本語よみかき学級・成人教育講座・まちのせんせい活用事業を実施し、生涯学習を推進することができた。</p> <p>また、学び館の開設に伴い、指定管理者と連携を図りながら、学習機会の提供を行うなど、市民サービスの向上につなげることができた。</p> <p>読書活動の推進については、第2次子ども読書活動推進計画を策定した。また、学校読書推進のため、新たに配置された学校司書に対する研修を実施した。</p> |              |   |              |   |